

本章では、都市構造や施策効果を把握し、都市計画に関するマスタープラン等の進捗管理や変更の必要性等にかかる技術的評価を行うためのツールを記載しています。

Check

3章 技術的評価

3-1 都市計画基礎調査について

3-2 都市構造可視化について

3-3 データの入手方法について

3-1 都市計画基礎調査について

(1) 都市計画基礎調査実施要領について

都市計画は長期的な見通しに基づいて策定される計画であり、その合理性を確保するとともに都市計画に伴う権利制限の公平性・公正性を担保することが重要です。

この都市計画の運用に際して、都市における人口、産業、土地利用、交通などの現況及び将来の見通しを定期的に把握するための手法として、基礎調査が位置付けられています。

県又は市町村が都市計画を決定、変更、廃止等を行うにあたっては、この基礎調査の結果や社会経済状況の変化を踏まえて、その必要性を吟味することが重要です。

また、基礎調査は調査結果のデータやその変化を把握するのみにとどまらず、都市の持続性や生活の質について、現況及び将来の見通しを客観的に評価するために活用することも重要であると考えられます。

都市計画法第6条に基づき、県が行う都市計画に関する基礎調査について、その実施の方法、調査項目、関係市町との作業分担等について、都市計画基礎調査実施要領（国土交通省H25.6）に準拠し、調査の高度化及び効率化を図ることを目的として、これまでの要領の見直しを行ったものです。

都市計画法（第6条）都市計画に関する基礎調査

都道府県は、都市計画区域について、おおむね5年ごとに、都市計画に関する基礎調査として、国土交通省令で定めるところにより、人口規模、産業分類別の就業人口の規模、市街地の面積、土地利用、交通量その他国土交通省令で定める事項に関する現況及び将来の見通しについての調査を行うものとする。

2 略

3 都道府県は、前二項の規定による基礎調査を行うため必要があると認めるときは、関係市町村に対し、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

4 都道府県は、第一項又は第二項の規定による基礎調査の結果を、国土交通省令で定めるところにより、関係市町村長に通知しなければならない。

都市計画法（第13条）都市計画基準

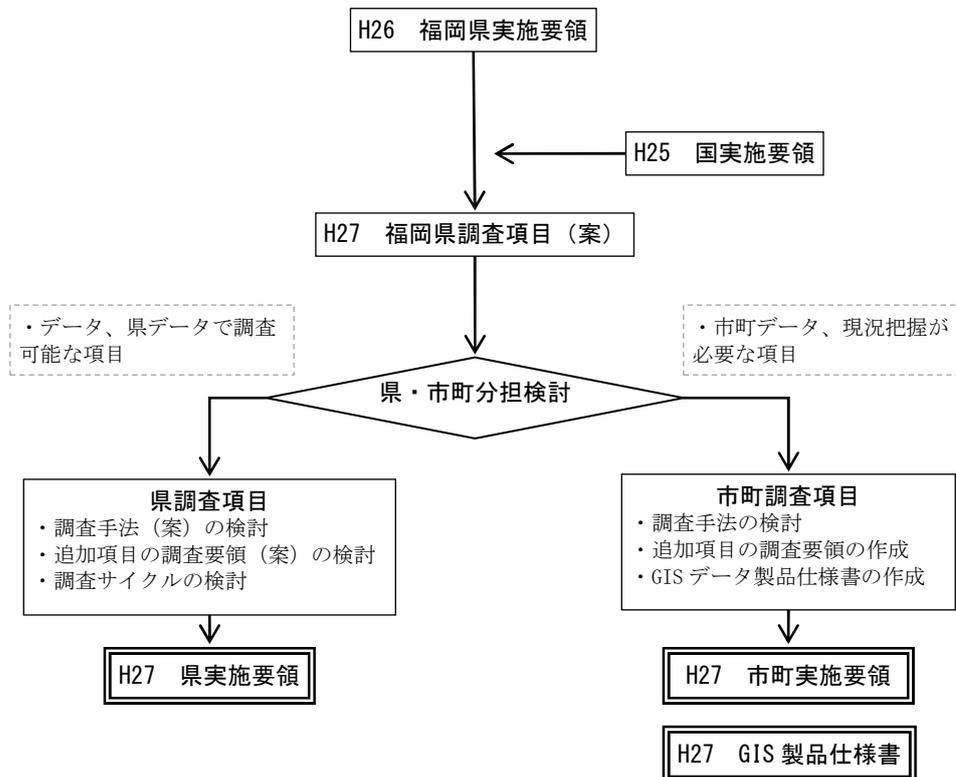
19 前各号の基準を適用するについては、第6条第一項の規定による都市計画に関する基礎調査の結果に基づき、かつ、政府が法律に基づき行う人口、産業、住宅、建築、交通、工場立地その他の調査の結果について配慮すること。

(2) 見直し内容

- ①国のデータベースのリストを作成しています。(提供元、アドレス、形式、年度、価格等)
- ②国のデータを整理し、県独自の調査項目を洗い出しています。
- ③国の都市計画基礎調査実施要領に準じた調査項目リストを作成、基礎調査の高度化及び効率化を考慮し、県及び市町村それぞれの実施要領として取りまとめています。

(3) 見直しの流れ

下図に示すフローにしたがって見直しを実施しています。



(4) 国のデータベースのリスト

データの提供元及びデータリストは、次の表に示すとおりです。

提供元	アドレス	形式	年度(時点)	価格等
独立行政法人 統計センター(e-stat 政府統計の総合窓口)	http://www.e-stat.go.jp/	ArcView シェープ、CSV	調査による(国勢調査は5年毎)	無償
国立社会保障・人口問題研究所	http://www.ipss.go.jp/	エクセル、CSV	データによる(将来人口は平成25年3月推計)	無償
国土交通省 国土政策局 国土情報課(国土数値情報ダウンロードサービス)	http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/	JPGIS、ArcView シェープ・GML、CSV	データ項目による(DIDは5年毎)	無償
国土地理院(基盤地図情報サイト)	http://www.gsi.go.jp/kiban/	JPGIS(GML)	データ項目による	無償
環境省 自然環境局 生物多様性センター 調査科	http://www.vegetation.biodic.go.jp/index.html	Jpeg、PDF、ArcView シェープ	自然環境保全基礎調査は、概ね5年毎	無償
国土交通省 国土政策局 国土情報課	http://nrb-www.mlit.go.jp/kokjo/inspect/inspect.html	ArcView シェープ、エクセル、Tiff	地形分類図(福岡)は昭和57年調査。	無償
国土交通省 国土政策局 国土情報課(街区レベル位置参照情報)	http://nlftp.mlit.go.jp/isj/	CSV	平成25年	無償
一般財団法人 日本地図センター	http://www.jmc.or.jp/buy.html	TIFF	随時	データによる。数値地図25000(土地条件)は175円/1ファイル
(財)統計情報研究開発センター	http://www.sinfonica.or.jp/index.html	ArcView シェープ、ArcInfo カバレッジ、エクセル、CSV、テキスト	調査による(国勢調査は5年毎)	有償
経済統計情報センター	http://www.chosakai.or.jp/center/	エクセル、テキスト	工業統計、商業統計は3年毎	有償
国土交通省 気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html	CSV	ダウンロードは昨日時点	無償

データ	集計単位	データ項目	関連する調査項目
総務省統計局 国勢調査 (人口等基本集計)	市区町村	男女別人口(総数)	
		世帯数	
		世帯人員(男)	
		世帯人員(女)	
		年齢別(各歳)人口	
		年齢別(5歳階級)人口	
		平均年齢	
		年齢中位数	
		出生の月(4区分)	
		世帯主との続柄(12区分)	
		配偶関係(4区分)	
		国籍(12区分)	
		世帯の種類(22区分)	
		世帯の家族類型(22区分)	
		高齢世帯員の有無による世帯の類型(17区分)	
		母子・父子世帯	
		外国人のいる世帯の類型(4区分)	
		世帯人員(7区分)	
		住居の種類・住宅の所有の関係(7区分)	
		延べ面積(14区分)	
		住宅の建て方(8区分)	
		建物全体の階数(5区分)	
		世帯が住んでいる階(5区分)	
		平成17年～22年の人口増減数	
面積(km2)			
人口密度(1km2当たり)			
総務省統計局 国勢調査 (産業等基本集計)	市区町村	労働力人口	
		労働力状態(8区分)	
		労働力状態・産業大分類	
		就業の状態(4区分)	
		居住期間(6区分)	
		従業上の地位(8区分)	
		産業(大分類)	C0201 産業・職業分類別就業者数
		教育(7区分)	
		都市計画の地域区分(47区分)	
		都市計画の地域区分(9区分)	
総務省統計局 国勢調査 (職業等基本集計)	市区町村	労働力状態・職業大分類	
		職業(大分類)	C0201 産業・職業分類別就業者数
総務省統計局 国勢調査 (従業地・通学地による人口・産業等集計)	市区町村	常住地又は従業地・通学地による年齢(5歳階級), 男女別人口及び就業者数	
		常住地による従業・通学市区町村, 男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数	C0105 通勤・通学移動
		従業地・通学地による常住市区町村, 男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数	C0106 昼間人口
		常住地又は従業地による産業(大分類), 男女別15歳以上就業者数	C0106 昼間人口
		従業地による産業(大分類), 年齢(5歳階級), 男女別15歳以上就業者数	
		常住地又は従業地・通学地による利用交通手段(16区分)別15歳以上自宅外就業者・通学者数	
		常住地又は従業地・通学地による利用交通手段(9区分)別15歳以上自宅外就業者・通学者数	
総務省統計局 国勢調査 (移動人口の男女・)	市区町村	5年前の常住地A(50万以上の区)	
		5年前の常住地(6区分・県)	
		現住地A(県)	

データ	集計単位	データ項目	関連する調査項目
総務省統計局 国勢調査 (移動人口の男女・ 年齢等集計)	市区町村	現住地 A(市)	
		地域名(5年前の常住市区町村)	
		世帯の移動類型(4区分)	
		現住都道府県	
		5年前の常住都道府県	
総務省統計局 国勢調査	小地域	男女別人口(総数)	C0101 人口規模
		世帯数	C0101 人口規模
		年齢別(5歳階級)人口	C0101 人口規模
		配偶関係(3区分)	
		世帯の種類(2区分)	
		世帯人員(7区分)別一般世帯数	
		一般世帯人員	
		1世帯当たり人員	
		施設等の世帯数	
		施設等の世帯人員	
		世帯の家族類型(6区分)別一般世帯数	
		住居の種類・住宅の所有の関係(6区分)別一般世帯数	
		住宅の建て方(7区分)別住宅に住む主世帯数	
		住居の種類・延べ面積(7区分)別一般世帯数	
		労働力状態(2区分)	
		従業上の地位(3区分)	
		産業(大分類)	
		男女別 15歳以上就業者数	
		居住期間(6区分)	
		在学か否かの別・最終卒業学校の種類(6区分)	C0106 昼間人口
		在学学校・未就学の種類(7区分)	
		男女別在学者数	
		未就学者数	C0106 昼間人口
		世帯の経済構成(12区分)別一般世帯数	
		常住地による従業地・通学地(5区分)	C0106 昼間人口
		男女別 15歳以上就業者数及び 15歳以上通学者数	C0106 昼間人口
		利用交通手段(9区分)	
		5年前の常住地(6区分)	
		男女別人口(転入)	
		総務省統計局 国勢調査	メッシュ
世帯数			
経済産業省 工業統計調査	市区町村	事業所数	
		従業者数	
		現金給与総額	
		原材料使用額等	
		製造品出荷額等	
		粗付加価値額	
		有形固定資産年末現在高	
経済産業省 商業統計調査	市区町村	産業分類小分類別の事業所数	
		産業分類小分類別の従業者数	
		産業分類小分類別の年間商品販売額	C0202 事業所数・従業者数・売上金額
		産業分類小分類別の商品手持額	
		産業分類小分類別の売場面積	

データ	集計単位	データ項目	関連する調査項目
総務省統計局 経済センサスー基礎調査	町丁・大字別	経営組織(2区分), 産業(大分類)・従業者規模(6区分)別全事業所数	
		経営組織(2区分), 産業(大分類)・従業者規模(6区分)別男女別従業者数	
	メッシュ	全産業事業所数及び全産業従業者数	
総務省統計局 経済センサスー活動調査	メッシュ	事業所数及び従業者数	C0202 事業所数・従業者数・売上金額
総務省統計局 住民基本台帳人口 移動報告	市区町村	男女, 移動前の住所地(都道府県, 21 大都市及びその他)別転入者数	
		年齢(5歳階級), 男女別他市区町村への転出者数	C0104 人口増減
総務省統計局 学校基本調査	市町村	学校調査(幼稚園): 学校数, 学級数, 在園者数, 入園者数, 教員数, 職員数	C0106 昼間人口
		学校調査(小学校): 学校数, 学級数, 児童数, 教員数, 職員数	C0106 昼間人口
		学校調査(中学校): 学校数, 学級数, 生徒数, 教員数, 職員数	C0106 昼間人口
		学校調査(高等学校 全日制・定時制): 学校数, 生徒数, 教員数(本務者)、教員数(兼務者), 職員数	C0106 昼間人口
		学校調査(特別支援学校): 学校数, 学級数, 在学者数, 教員数, 職員数	C0106 昼間人口
		学校調査(専修学校): 学校数, 生徒数, 教員数, 職員数	C0106 昼間人口
		学校調査(各種学校): 学校数, 生徒数, 教員数, 職員数	C0106 昼間人口
		卒業後の状況調査(中学校): 状況別卒業生数	
		卒業後の状況調査(高等学校 全日制・定時制): 状況別卒業生数	
		卒業後の状況調査(特別支援学校 中学部): 状況別卒業生数	
		卒業後の状況調査(特別支援学校 高等部): 状況別卒業生数	
		農林水産省 農林業センサスー 農山村地域調査	調査区
DIDまでの所要時間			
実行組合の有無			
寄り合いの開催状況			
地域資源の保全			
農林水産省 農林業センサスー 総農家等	調査区	総農家数等	
		土地持ち非農家の所有耕地及び貸付耕地	
		経営耕地のある農家数と経営耕地面積(総農家、自給的農家)	
		借入耕地のある農家数と借入耕地面積(総農家、自給的農家)	
		貸付耕地のある農家数と貸付耕地面積(総農家、自給的農家)	
		耕作放棄地のある農家(世帯)数と耕作放棄地面積(総農家、自給的農家、土地持ち非農家)	
		林家数と保有山林面積	
農林水産省 農林業センサスー 販売農家	調査区	組織形態別農家数	
		農産物販売金額規模別農家数	
		農産物販売金額1位の部門別農家数	
		単一経営農家数(主位部門が80%以上の農家)	
		準単一複合経営及び複合経営農家数	

データ	集計単位	データ項目	関連する調査項目
農林水産省 農林業センサスー 販売農家	調査区	農業経営組織別環境保全型農業に取り組んでいる農家数	
		環境保全型農業に取り組んでいる農家の取組形態別農家数	
		農業生産関連事業を行っている農家の事業種類別農家数	
		水稲作作業を委託した農家数	
		農産物出荷先別農家数	
		農産物の売上1位の出荷先別農家数	
		経営耕地の状況	
		経営耕地面積規模別農家数	
		所有耕地面積規模別農家数	
		借入耕地のある農家数と借入耕地面積	
		貸付耕地のある農家数と貸付耕地面積	
		耕作放棄地のある農家数と耕作放棄地面積	
		耕地以外で採草地・放牧地に利用した土地	
		農業用機械の所有農家数と所有台数	
		雇用者	
		常雇	
		臨時雇	
		販売目的で作付け(栽培)した作物の類別作付(栽培)農家数	
		販売目的で作付け(栽培)した作物の類別作付(栽培)面積	
		販売目的で作付した稲・麦・雑穀の作物別作付農家数と作付面積	
		販売目的で作付したいも類・豆類の作物別作付農家数と作付面積	
		販売目的で栽培している果樹類の栽培農家数と栽培面積	
		家畜等を販売目的で飼養している農家数と飼養頭羽数	
		水稲作受託作業種類別農家数と受託作業面積	
		農作業の受託料金収入規模別農家数	
		主副業別農家数	
		専兼業別農家数	
		年齢別の農業従事者数	
		自営農業従事日数別の農業従事者数	
		年齢別の農業就業人口	
		年齢別の基幹的農業従事者数	
		平均年齢	
		国立社会保障・人口問題研究所 男女・年齢(5歳)階級別の推計人口	市区町村
国土交通省 国土政策局 国土情報課 国土数値情報		海岸線	
		海岸保全施設	
		湖沼	
		河川	
		流域メッシュ	
		ダム	
		標高・傾斜度 5次メッシュ	
		標高・傾斜度 4次メッシュ	
標高・傾斜度 3次メッシュ			

データ	集計単位	データ項目	関連する調査項目
国土交通省 国土 政策局 国土情報 課 国土数値情報		土地利用 3次メッシュ	
		土地利用細分メッシュ	
		都市地域土地利用細分メッシュ	
		森林地域	
		農業地域	
		都市地域	C0301 区域区分の状況
		用途地域	C0301 区域区分の状況
		都道府県地価調査	C0701 地価の状況
		地価公示	C0701 地価の状況
		行政区域	
		DID 人口集中地区	C0102DID
		中学校区	
		小学校区	
		過疎地域	
		離島振興対策実施地域	
		離島振興対策実施地域統計情報	
		振興山村	
		(中山間) 特定農山村地域	
		特殊土壌地帯	
		土砂災害危険箇所	
		浸水想定区域	
		竜巻等の突風	
		土砂災害・雪崩メッシュ	
		平年値(気候)メッシュ	
		避難施設	
		国・都道府県の機関	
		市町村役場等及び公的集会施設	
		公共施設	
		警察署	
		消防署	
		郵便局	
		医療機関	
		福祉施設	
		文化施設	
		学校	
		都市公園	
		上水道関連施設	
		下水道関連施設	
		廃棄物処理施設	
		発電施設	
		燃料給油所	
		ニュータウン	
		工業用地	
	研究機関		
	地場産業関連施設		
	物流拠点		
	世界自然遺産		
	世界文化遺産		
	都道府県指定文化財		
	地域資源		
	観光資源		
	宿泊容量メッシュ	C1001 観光の状況	
	自然公園地域		
	自然保全地域		
	鳥獣保護区		
	高速道路時系列		

データ	集計単位	データ項目	関連する調査項目
国土交通省 国土政策局 国土情報課 国土数値情報		緊急輸送道路	
		道路密度・道路延長メッシュ	
		バスルート	C0604 バスの状況
		バス停留所	C0604 バスの状況
		鉄道	C0603 鉄道・路面電車等の状況
		鉄道時系列	
		駅別乗降客数	C0603 鉄道・路面電車等の状況
		空港	
		空港時系列	
		空港間流通量	
		ヘリポート	
		港湾	
		漁港	
		港湾間流通量・海上経路	
		定期旅客航路	
	交通流動量 貨物・旅客地域流動量		
国土地理院 基盤地図情報サイト	市区町村	測量の基準点	
		海岸線	
		行政区画の境界線及び代表点	
		道路縁	
		軌道の中心線	
		標高点(数値標高モデルを除く)	
		水涯線	
		建築物の外周線	
		市町村の町若しくは字の境界線及び代表点	
		街区の境界線及び代表点	
	メッシュ	数値標高モデル(5m)	
		数値標高モデル(10m)	
環境省 自然環境局 生物多様性センター	2次メッシュ	植生調査(1/25,000 縮尺)	C0805 植生調査
	都道府県	植生調査(1/50,000 縮尺)	
		特定植物群落調査	
		巨樹・巨木林調査	
		河川調査	
		海岸改変状況調査	
		湖沼調査	
		湿地調査	
		藻場調査	
		干潟調査	
		サンゴ調査	
		マングローブ調査	
国土交通省 国土政策局 国土情報課 土地分類調査・水調査	都道府県	5万分の1 都道府県土地分類基本調査	C0801 地形・水系・地質条件

(5) 見直し内容

都市計画基礎調査実施要領（国土交通省H25.6）を踏まえるとともに、調査の効率化、効果的な活用の観点から、以下のように見直しを行っています。

○調査区域

調査項目	見直し内容
調査区域	・都市計画を検討する上で基礎となる区域であるため、GIS データで整備する。

①人口

調査項目	見直し内容
C0101 人口規模	<ul style="list-style-type: none"> ・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 1-1)-(1)、1-2)-(1)、1-2)-(2)、1-2)-(3)、1-2)-(4)、1-3)-(1)、1-1)-(4)を C0101 に整理し、調査を実施する。 ・県は国要領の内容で基礎調査を実施する。 ・ただし、国要領について、世帯数の情報が不足しているため、集計表に世帯数を追加する。 ・国要領の留意事項にも記載のある、住民基本台帳を用いた人口規模の把握について、住民基本台帳のメッシュ化を行う。
C0102 DID	<ul style="list-style-type: none"> ・国の要領の見直しに合わせて、新規の項目として調査を実施する。 ・人口規模をメッシュ化するので、DID のメッシュ化は不要とする。
C0103 将来人口	・調査内容を国要領に合わせて調査を実施する。
C0104 人口増減	<ul style="list-style-type: none"> ・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 1-1)-(2)を調査項目 C0104 に整理し、調査を実施する。 ・県は国要領の内容で基礎調査を実施する。 ・国要領の留意事項にも記載のある、住民基本台帳を用いた人口動態の把握について、住民基本台帳のメッシュ化を行う。
C0105 通勤・通学移動	・国の要領をベースに、経年変化を確認できるように集計票を調整する。
C0106 昼間人口	・国の要領の見直しに合わせて、新規の項目として調査を実施する。

②産業

調査項目	見直し内容
C0201 産業・職業分類別就業者数	<ul style="list-style-type: none"> ・国の要領では、経年比較ができないため、調査内容を旧要領のまま変更せず、調査を実施する。 ・調査項目については、国要領に合わせて、旧調査項目 1-3)-(2)、1-3)-(3)を調査項目 C0201 に整理する。
C0202 事務所数・従業者数・売上金額	<ul style="list-style-type: none"> ・国の要領では、経年比較ができないため、調査内容を旧要領のまま変更せず、調査を実施する。 ・調査項目については、国要領に合わせて、旧調査項目 2-(1)、2-(2)、2-(3)を調査項目 C0202 に整理する。

③土地利用

調査項目		見直し内容
C0301	区域区分の状況	・国の要領の見直しに合わせて、調査を実施する。
C0302	土地利用現況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 4-2)-(1)、4-2)-(2)、4-2)-(5)、4-2)-(6)、4-4)-(1)、7-1)-(5)を C0302 に整理し、調査を実施する。 ・旧調査項目 4-4)-(1)で作成していた帳票は、国の要領に合わせて不要とする。 ・独自の調査項目であった旧調査項目 4-2)-(6)未利用地現況は今後も必要なため、C0302 に整理し、引き続き調査を実施する。 ・旧調査項目 7-1)-(5)で作成していた図及び帳票は、国の要領に合わせて作成する。
C0303	国公有地の状況	・国の要領の見直しでは調査内容に変更はない。 ・任意項目を必須項目として調査を実施する。
C0304	宅地開発状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 4-3)-(1)、4-3)-(2)、4-3)-(4)を C0304 に整理し、調査を実施する。 ・市街地開発事業等は市、開発許可による開発は県(福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市は市)が調査を実施する。 ・旧調査項目 4-3)-(4) で作成していた帳票は、国要領に合わせて不要とする。(担当部署は別台帳で管理しているため)
C0305	農地転用状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 4-3)-(3)を調査項目 C0305 に整理し、調査を実施する。 ・調査範囲は旧調査要領の範囲である都市計画区域を必須とし、国 H25 要綱の範囲である行政区域を任意とする。 ・エリアで状況を把握するため、点データをメッシュで集計する。
C0306	林地転用状況	・国の要領の見直しに合わせて、新規の項目として調査を実施する。 ・エリアで状況を把握するため、点データをメッシュで集計する。
C0307	新築動向	・国の要領の見直しに合わせて、調査を実施する。 ・建築確認申請の位置の特定(建物との突合)は、調査項目 C0302 で実施する。 ・エリアで状況を把握するため、点データをメッシュで集計する。 ・実施要領の変更に伴い、調査費を見直し
C0308	条例・協定	・国の要領の見直しに合わせて、調査を実施する。 ・開発条例は、県が調査を実施する。 ・建築協定は、県(福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市は市)が調査を実施する。 ・景観協定、緑地協定は、市町が調査を実施する。
C0309	農林漁業関係施策適用状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 4-4)-(2)を調査項目 C0309 に整理する。
		・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 4-6)-(2)を削除する。

④建物

調査項目		見直し内容
C0401	建物利用状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 5-1)-(1)、5-1)-(2)、5-3)-(1)～5-3)-(5)、5-3)-(7)を調査項目 C0401 に整理し、調査を実施する。 ・調査範囲は国要領に合わせて都市計画区域とする。旧調査要領で範囲が市街化区域であった調査項目についても範囲を都市計画区域に拡大する。 ・旧調査項目 5-3)-(2)、5-3)-(3)は、国要領と同様に調査は不要である。(必要なときに必要な箇所を調査する方が良いため) ・新築動向の把握のため、建築確認申請の位置の特定(建物との突合)を実施する。
C0402	大規模小売店舗等の立地状況	・国の要領では、商業・娯楽施設以外を調査しないため、旧調査項目 5-4)-(1)を引き続き、実施する。
C0403	住宅の所有関係別・建て方別世帯数	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 3-(1)を調査項目 C0403 に整理し、調査を実施する。 ・集計は小地域データを活用するが、小地域ごとの数量を調書として追加する。
		・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 3-(3)、3-(4)を削除する。

⑤都市施設

調査項目		見直し内容
C0501	都市施設の位置・内容等	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 9-1)-(1)、9-3)-(1)、9-4)-(1)を調査項目 C0501 に整理する。
C0502	道路の状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 9-2)-(1)を調査項目 C0502 に整理し、調査を実施する。 ・図面の凡例について、国要領の内容に国、県、市町村道の凡例を追加し、計画区間は点線とする。

⑥交通

調査項目		見直し内容
C0601	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 10-1)-(2)を調査項目 C0601 に整理し、調査を実施する。
C0602	自動車流動量	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 10-1)-(1)を調査項目 C0602 に整理し、調査を実施する。 ・なお、集計表の他県については、山口、佐賀、熊本、大分とする。
C0603	鉄道・路面電車の状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 10-2)-(1)を調査項目 C0603 に整理し、調査を実施する。
C0604	バスの状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 10-2)-(2)を調査項目 C0604 に整理し、調査を実施する。 ・運輸局からの入手よりも市町が各交通事業者(市町が運営主体であるものを含む)へ資料収集する方が借用できると想定されるため、市町で調査を実施する。

⑦地価

調査項目		見直し内容
C0701	地価の状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 8-1)-(1)、8-2)-(1)を調査項目 C0701 に整理し、調査を実施する。 ・地価の変動については引き続き調査する。調書は、後列に過去の価格を整理し、地価の変動を把握できるようにする。

⑧自然環境等

調査項目		見直し内容
C0801	地形・水系・地質条件	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 4-1)-(1)、7-1)-(2)を調査項目 C0801 に整理し、調査を実施する。
C0802	気象調査	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 7-1)-(1)を調査項目 C0802 に整理し、調査を実施する。
C0803	緑の状況	・調査の内容から C0302 に整理する。
C0804	レクリエーション施設の状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 7-2)-(1)を調査項目 C0804 に整理し、調査を実施する。
C0805	動植物調査	・植物調査を必須項目、動物調査を任意項目とする。

⑨公害及び災害

調査項目		見直し内容
C0901	災害の発生状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 4-5)-(1)を調査項目 C0901 に整理し、調査を実施する。 ・他の項目とクロス集計するため、500m メッシュに分割する。
C0902	防災拠点・避難場所の位置	・国の要領の見直しに合わせて、新規の項目として調査を実施する。
C0903	公害の発生状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 4-5)-(3)を調査項目 C0903 に整理し、国 H25 要綱の内容で調査を実施する。

⑩景観・歴史資源等

調査項目		見直し内容
C1001	観光の状況	・国の要領の見直しに合わせて、新規の項目として調査を実施する。
C1002	景観・歴史資源等の状況	・国の要領の見直しに合わせて、旧調査項目 6-2)-(1)、6-2)-(2)を調査項目 C1002 に整理する。
C1003	市街地の形成	・歴史に関する内容であることと、一度調査した後、再調査することはあまりない(負担が小さい)ため、引き続き実施する。

(6) 調査項目及び調査主体

調査項目リスト及び調査主体は、次の一覧表のとおりであり、調査の詳細については、別添の県及び市の調査実施要領に示すものとします。

分野	調査項目 調査名	調査主体	
		県	市町
0 区域	行政区域		○
	都市計画区域		○
	区域区分(市街化区域、市街化調整区域)		○
	用途地域		○
1 人口	C0101 人口規模	○	○
	C0102 DID	○	
	C0103 将来人口	○	
	C0104 人口増減	○	○
	C0105 通勤・通学移動	○	
	C0106 昼間人口	○	
2 産業	C0201 産業・職業分類別就業者数	○	
	C0202 事業所数・従業者数・売上金額	○	
3 土地利用	C0301 区域区分の状況	○	
	C0302 土地利用現況		○
	C0303 国公有地の状況		○
	C0304 宅地開発状況	○	○
	C0305 農地転用状況	○	
	C0306 林地転用状況	○	
	C0307 新築動向	○	
	C0308 条例・協定	○	○
	C0309 農林漁業関係施策適用状況		○
4 建物	C0401 建物利用現況		○
	C0402 大規模小売店舗等の立地状況		○
	C0403 住宅の所有関係別・建て方別世帯数	○	
5 都市施設	C0501 都市施設の位置・内容等		○
	C0502 道路の状況		○
6 交通	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	○	
	C0602 自動車流動量	○	
	C0603 鉄道・路面電車等の状況	○	
	C0604 バスの状況		○
7 地価	C0701 地価の状況	○	
8 自然環境等	C0801 地形・水系・地質条件	○	
	C0802 気象調査	○	
	C0804 レクリエーション施設の状況		○
	C0805 動植物調査	○	
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	○	○
	C0902 防災拠点・避難場所の位置		○
	C0903 公害の発生状況		○
10 景観・歴史資源等	C1001 観光の状況	○	
	C1002 景観・歴史資源等の状況		○
	C1003 市街地の形成		○

(7) 調査項目の新旧対応

調査項目の新旧対応表は以下のとおりです。

H26要領		H27要領との対応		H27要領		
大項目	中項目	分野	データ項目	分野	実施主体	
	小項目			データ項目	県 市町	
01-人口	1).人口規模	(1) 人口総数及び増加数	⊕人口 C0101	⊕人口	○	
		(2) 人口増減の内訳	⊕人口 C0104		○	
		(3) 人口の将来の見直し	⊕人口 C0103		○	
		(4) 男女・年齢別人口の内訳	⊕人口 C0101		○	
	2).人口分布	(1) 市街地区別人口	⊕人口 C0101		○	
		(2) 地区別人口	⊕人口 C0101		○	
		(3) 地区別人口密度状況	⊕人口 C0101		○	
	3).人口構成	(2) 産業大分類人口	⊕産業 C0201		○	
		(3) 職業大分類人口	⊕産業 C0201		○	
		(4) 流出・流入人口	⊕人口 C0105		○	
	02-産業	(1) 産業大分類事業所数及び従業員数	⊕産業 C0202		○	
(2) 産業中分類別工業出荷額		⊕産業 C0202	○			
(3) 産業中分類別商販売上額		⊕産業 C0202	○			
03-住宅	(1) 地区別住宅の所有関係別世帯数	⊕建物 C0403	○			
	(2) 地区別一般世帯の延べ床面積					
	(3) 地区別普通世帯の1人当たり延べ床面積					
	(4) 地区別普通世帯の1人当たり延べ床面積					
04-土地利用及び土地利用条件	1).地形条件	(1) 地形及び水系	⊕自然環境 C0801	⊕土地利用	○	
	2).土地利用	(1) 土地利用現況	⊕土地利用 C0302		○	
		(2) 土地利用別面積	⊕土地利用 C0302		○	
		(4) 圃公用地現況	⊕土地利用 C0303		○	
		(5) 非可住地現況	⊕土地利用 C0302		○	
		(6) 未利用地現況	⊕土地利用 C0302		○	
	3).宅地開発等の状況	(1) 宅地開発等の状況	⊕土地利用 C0304		○	
		(2) 農地転用状況	⊕土地利用 C0305		○	
		(3) 農地転用状況	⊕土地利用 C0305		○	
		(4) 市街化調整区域内開発	⊕土地利用 C0304		○	
	4).農林漁業に関する土地利用	(1) 農地・山林現況(農地現況表)	⊕土地利用 C0302		○	
		(2) 農林漁業関係施設	⊕土地利用 C0308		○	
	5).災害及び公害	(1) 既往水害の分布(水害被害調査)が大きい、地すべり発生状況調査	⊕公害及び災害 C0901		○	
		(2) 既往水災の分布	⊕公害及び災害 C0901		○	
		(3) 公害現況	⊕公害及び災害 C0903		○	
	6).法適用状況	(1) 法適用現況	⊕土地利用 C0308		○	
		(2) 再開発・高度利用	⊕土地利用 C0308		○	
		(3) 説明・協定等	⊕土地利用 C0308		○	
		(4) 地区計画等	⊕土地利用 C0308		○	
05-建物	1).建物用途別現況	(1) 建物用途別現況	⊕建物 C0401	⊕建物	○	
	2).建物新築状況	(1) 地区別新築状況	⊕土地利用 C0307		○	
	3).中心市街地の建物現況	(1) 建物種別別・階数別現況	⊕建物 C0401		○	
		(2) 地区別延べ床面積	⊕建物 C0401		○	
		(3) 地区別容積率現況	⊕建物 C0401		○	
		(4) 地区別・用途別の建物延べ床面積現況	⊕建物 C0401		○	
		(5) 建物年齢別現況	⊕建物 C0401		○	
		(6) 建物年齢別現況	⊕建物 C0401		○	
		(7) 地区別敷地規模現況	⊕建物 C0401		○	
	4).大規模商業寄立地現況	(1) 大規模商業寄立地現況	⊕建物 C0402		○	
06-都市の歴史と景観	1).市街地形成の沿革	(1) 市街地の形成	⊕景観歴史 C1003	⊕景観歴史	○	
	2).景観・文化財等の分布	(1) 良好景観要素の分布	⊕景観歴史 C1002		○	
		(2) 文化財等の分布	⊕景観歴史 C1002		○	
07-都市の緑とオープンスペース	1).土地の自然的環境	(1) 気象調査	⊕自然環境 C0802	⊕自然環境	○	
		(2) 地質土壌調査	⊕自然環境 C0801		○	
		(3) 植生調査	⊕自然環境 C0805		○	
		(4) 動物相調査	⊕自然環境 C0805		○	
		(5) 緑地調査	⊕自然環境 C0302		○	
	2).レクリエーション施設	(1) レクリエーション施設	⊕自然環境 C0804		○	
08-地価	(1) 地価分布	⊕地価 C0701	○			
	(2) 地価の変動	⊕地価 C0701	○			
09-都市建設	(1) 都市建設の整備状況	⊕都市建設 C0501	○			
	(2) 道路調査	⊕都市建設 C0502	○			
	(3) 下水道調査	⊕都市建設 C0501	○			
	(4) 上水道の整備状況	⊕都市建設 C0501	○			
10-交通	1).自動車交通	(1)ゾーン間自動車交通量	⊕交通 C0602	⊕交通	○	
		(2) 主要道路断面交通量	⊕交通 C0601		○	
	2).交通施設の利用状況	(1) 主要駅乗降人員	⊕交通 C0603		○	

※1 C0302土地利用現況の調査で実施

(8) 調査実施要領の構成

■平成 27 年度都市計画基礎調査実施要領（県調査）の構成

1. 調査項目一覧
2. 作成要領
 - (1) 図書作成の共通仕様
 - (2) データ品質
 - (3) 提出形式
3. 実施要領

■平成 27 年度都市計画基礎調査実施要領（市町調査）の構成

1. 調査項目一覧
2. 作成要領
 - (1) 図書作成の共通仕様
 - (2) データ品質
 - (3) 提出形式
3. 実施要領

平成28年度都市計画基礎調査

実施要領

(県調査)

福岡県

目次

1. 調査項目一覧.....	3-1-19
2. 作成要領.....	3-1-20
(1) 図書作成の共通仕様.....	3-1-20
(2) データ品質.....	3-1-27
(3) 提出形式.....	3-1-29
3. 実施要領.....	3-1-31

1. 調査項目一覧

平成 28 年度都市計画基礎調査 調査項目一覧表

調査項目		調査主体	
分野	調査名	県	市町
0 区域	行政区域		○
	都市計画区域		○
	区域区分(市街化区域、市街化調整区域)		○
	用途地域		○
1 人口	C0101 人口規模	○	○
	C0102 DID	○	
	C0103 将来人口	○	
	C0104 人口増減	○	○
	C0105 通勤・通学移動	○	
	C0106 昼間人口	○	
2 産業	C0201 産業・職業分類別就業者数	○	
	C0202 事業所数・従業者数・売上金額	○	
3 土地利用	C0301 区域区分の状況	○	
	C0302 土地利用現況		○
	C0303 国公有地の状況		○
	C0304 宅地開発状況	○	○
	C0305 農地転用状況	○	
	C0306 林地転用状況	○	
	C0307 新築動向	○	
	C0308 条例・協定	○	○
	C0309 農林漁業関係施策適用状況		○
4 建物	C0401 建物利用現況		○
	C0402 大規模小売店舗等の立地状況		○
	C0403 住宅の所有関係別・建て方別世帯数	○	
5 都市施設	C0501 都市施設の位置・内容等		○
	C0502 道路の状況		○
6 交通	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	○	
	C0602 自動車流動量	○	
	C0603 鉄道・路面電車等の状況	○	
	C0604 バスの状況		○
7 地価	C0701 地価の状況	○	
8 自然環境等	C0801 地形・水系・地質条件	○	
	C0802 気象調査	○	
	C0804 レクリエーション施設の状況		○
	C0805 動植物調査	○	
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	○	○
	C0902 防災拠点・避難場所の位置		○
	C0903 公害の発生状況		○
10 景観・歴史資源等	C1001 観光の状況	○	
	C1002 景観・歴史資源等の状況		○
	C1003 市街地の形成		○

2. 作成要領

(1) 図書作成の共通仕様

1) 調書の作成

- ・シート名は調査項目_調書名としています。
- ・セルの結合は行わないものとします。
- ・特に記載がない場合は、㎡の表示は1㎡未満を切り捨て、ha、%の表示は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示します。

調書一覧表

調査項目		調書名
分野	調査名	
1 人口	C0101 人口規模	C0101 人口規模 集計表
	C0102 DID	C0102 DID 調書
	C0103 将来人口	C0103 将来人口 集計表
	C0104 人口増減	C0104 人口増減 集計表
	C0105 通勤・通学移動	C0105 通勤・通学移動 集計表
2 産業	C0201 産業・職業分類別就業者数	C0201 産業大分類別人口 集計表
		C0201 職業分類別就業者数 集計表
	C0202 事業所数・従業者数・売上金額	C0202 産業大分類別事業所数及び従業者数 集計表
		C0202 産業中分類別工業出荷額 集計表 C0202 産業中分類別商業販売額 集計表
3 土地利用	C0301 区域区分の状況	C0301 区域区分の状況 調書
	C0304 宅地開発状況	C0304 開発許可による開発 調書
		C0304 宅地開発状況 集計表
	C0305 農地転用状況	C0305 農地転用状況 調書
		C0305 農地転用状況 集計表
	C0306 林地転用状況	C0306 林地転用状況 調書
		C0306 林地転用状況 集計表
C0307 新築動向	C0307 新築動向 調書	
	C0307 新築動向 集計表	
C0308 条例・協定	C0308 条例・協定 調書	
4 建物	C0403 住宅の所有関係別・建て方別世帯数	C0403 住宅の所有関係別世帯数 調書
		C0403 住宅の建て方別世帯数 調書
		C0403 住宅の所有関係別世帯数 集計表
		C0403 住宅の建て方別世帯数 集計表
6 交通	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度 調書
	C0602 自動車流動量	C0602 自動車流動量 集計表
	C0603 鉄道・路面電車等の状況	C0603 鉄道・路面電車等の状況 調書
7 地価	C0701 地価の状況	C0701 地価の状況 調書
		C0701 地価の状況 集計表
8 自然環境等	C0802 気象調査	C0802 気象調査 調書
10 景観・歴史資源等	C1001 観光の状況	C1001 観光入込客数・消費額(観光目的) 集計表
		C1001 観光入込客数・消費額(ビジネス目的) 集計表
		C1001 宿泊施設の状況 集計表

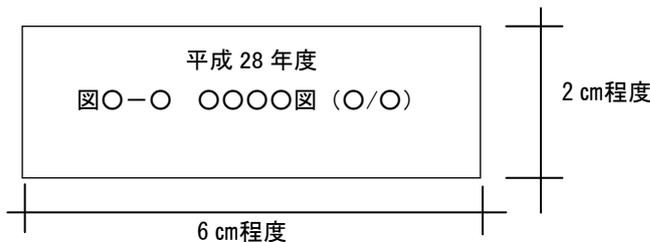
2) 図面の作成

- ・色彩の設定値については、都市計画基礎調査実施要領に示す値を用いることとします。
- ・表示方法で「塗りつぶし」とあるものについては、地形がわかるように透過色の着彩とします。
- ・都市計画区域や区域区分、地区界などの境界線の表示については、図上での視認性に配慮し、適当な線幅を設定することとします。
- ・図面タイトル及び凡例は、図面の表示内容が確認できるよう、すべての図面に配置することとします。

①図面（データ）の作成

- ・図面は、縮尺に応じた図面サイズ（A3判）のPDFファイルとします。
- ・ファイル名は、「図面一覧表」に示す名称とします。
- ・図面が複数枚になる場合であっても、1ファイルにまとめて作成します。

図面タイトル作成イメージ（A3判図面でのサイズ）



図面一覧表

分野	調査項目	
	調査名	図面名
1 人口	C0101 人口規模	C0101 人口分布図(小地域)
	C0101 人口規模	C0101 人口分布図(メッシュ)
	C0102 DID	C0102 DID 位置図
	C0105 通勤・通学移動	C0105 流入・流出状況図
	C0106 昼間人口	C0106 昼間人口分布図
2 産業	C0201 産業・職業分類別就業者数	C0201 従業者数分布図
	C0202 事業所数・従業者数・売上金額	C0202 事業所数・従業者数・売上金額
3 土地利用	C0301 区域区分の状況	C0301 区域区分の状況位置図
	C0304 宅地開発状況	C0304 宅地開発状況位置図
	C0305 農地転用状況	C0305 農地転用状況位置図
	C0306 林地転用状況	C0306 林地転用状況位置図
	C0307 新築動向	C0307 新築動向位置図
	C0308 条例・協定	C0308 条例・協定位置図
6 交通	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	C0601 混雑時平均旅行速度分布図
	C0603 鉄道・路面電車等の状況	C0603 路線・駅位置図
7 地価	C0701 地価の状況	C0701 地価の状況位置図
8 自然環境等	C0801 地形・水系・地質条件	C0801 地形図
		C0801 水系図
	C0805 動植物調査	C0805 植生図 C0805 動物分布図(任意)
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	C0901 がけ崩れ発生回数図
10 景観・歴史資源等	C1001 観光の状況	C1001 宿泊施設総数メッシュ図

3) GISデータの作成

- ・世界測地系第2系で作成します。
- ・提出データは、GISデータ (*.shp、*.dbf、*.shx、*.prj、*.lyr の5ファイル) とするします。
- ・提出データの*.lyr (レイヤファイル) はGISにおいて、シンボルの形状や色・ラベルのフォントサイズ等の表示に関する情報を保存しているファイルです。
- ・データ定義書等の作成についての詳細は、「福岡県都市計画基礎調査データベース製品仕様書」に基づき作成します。
- ・ファイル名は、「GISデータ及びメタデータ一覧表」に示す「GISデータ、メタデータ」とします。
(例 C03021_土地利用現況.shp) ※数字、記号は半角

4) メタデータの作成

- ・GISデータについてのメタデータ (*.xml) をJMP2.0に準拠し作成します。
- ・メタデータの記載項目は、「福岡県都市計画基礎調査データベース製品仕様書」に示す「メタデータ記載項目一覧表」に則り作成します。
- ・ファイル名は、「GISデータ及びメタデータ一覧表」に示す「GISデータ、メタデータ」とします。
(例 C01061_昼間人口_小地域.xml) ※数字、記号は半角

GISデータ、メタデータ一覧表

調査項目		GISデータ、メタデータ
分野	調査名	
1 人口	C0106 昼間人口	C01061_昼間人口_小地域
		C01062_昼間人口_500mメッシュ
2 産業	C0202 事業所数・従業者数・売上金額	C02021_事業所数及び従業者数_500mメッシュ
3 土地利用	C0301 区域区分の状況	C03041_区域区分_500mメッシュ
	C0304 宅地開発状況	C03043_開発許可_点
		C03051_農地転用状況
	C0305 農地転用状況	C03052_農地転用状況_500mメッシュ
		C03061_林地転用状況
	C0306 林地転用状況	C03062_林地転用状況_500mメッシュ
		C03071_新築動向
	C0307 新築動向	C03072_新築動向_500mメッシュ
C03083_建築協定		
C0308 条例・協定	C03084_開発条例	
	4 建物	C04031_住宅の所有関係別・建て方別世帯数
C04032_住宅の所有関係別・建て方別世帯数_500mメッシュ		
6 交通	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	C06011_主要幹線
		C06031_駅の状況
	C0603 鉄道・路面電車等の状況	C06032_路線の状況
		C06033_駅利用圏_500mメッシュ
7 地価	C0701 地価の状況	C07011_地価の状況_500mメッシュ
8 自然環境等	C0805 動植物調査	C08051_植物調査
		C08052_動物調査
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	C09011_災害の発生状況_500mメッシュ
10 景観・歴史資源等	C1001 観光の状況	C10011_宿泊容量_500mメッシュ

5) GISデータのダウンロード

- ・ダウンロードしたGISデータはフォルダに格納します。
- ・ファイル名は、「ダウンロードデータ一覧表」に示す「ダウンロードデータ」とする。「ダウンロードデータ一覧表」に記載がないデータは、原典資料のファイル名とします。

(例 C01011_人口規模_町丁目単位_平成 22 年国勢調査. shp) ※数字、記号は半角

ダウンロードデータ一覧表

調査項目		ダウンロードデータ
分野	調査名	
1 人口	C0101 人口規模	C01011_人口規模_町丁目単位_平成 22 年国勢調査
		C01012_人口規模_メッシュ単位_平成 22 年国勢調査
	C0102 DID	C01021_DID_平成 22 年国勢調査
2 産業	C0202 事業所数・従業者数・売上金額	C02022_事業所数及び従業者数_メッシュ単位_平成 24 年経済センサス活動調査
3 土地利用	C0301 区域区分の状況	C03011_都市地域_平成 23 年度
		C03012_市街化区域_平成 23 年度
		C03013_市街化調整区域_平成 23 年度
		C03014_その他用途地域_平成 23 年度
7 地価	C0701 地価の状況	C07011_地価公示_平成 17 年度
		：
		C07011_地価公示_平成 26 年度
		C07012_都道府県地価調査_平成 17 年度
：		
C07012_都道府県地価調査_平成 26 年度		
8 自然環境等	C0805 動植物調査	C08051_植物調査
		C08051_動物調査
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	C09011_土砂災害・雪崩メッシュデータ_平成 23 年度
10 景観・歴史資源等	C1001 観光の状況	C10011_宿泊容量メッシュデータ_平成 22 年度

6) メッシュデータの作成

- ・調査結果について 500mメッシュ単位に集計したメッシュデータを作成します。
- ・メッシュデータ一覧表に示す全ての項目について、メッシュデータを作成するものとし、作成したメッシュデータは都市構造可視化サイト (<http://mieruka.city/>) 等を利用して調査結果を公開する。なお、調査結果の公開については、提出形式において後述します。
- ・メッシュデータのフォーマットは CSV 形式とし、各列には「メッシュデータフォーマット」に示す内容を記載し、1 行目には列名を記載するものとします。
- ・ファイル名は、「メッシュデータ一覧表」に示す「調査名」と年度、「高さ」、「色」をアンダーバーでつなぐものとします。

(例 C0101_人口規模_住民基本台帳人口総数_H28_住民基本台帳人口総数密度.csv) ※数字、記号は半角

- ・「メッシュデータ」の「色」における区域区分はメッシュ内の一番面積が広い区域区分の分類コードを入力するものとし、分類コードは「区域区分分類コード表」に示す値とします。
- ・1 つの GIS データが複数のメッシュに跨る場合に、特に記載がない場合は、件数については GIS データの幾何学的重心位置を基準に集計し、合計については GIS データと各メッシュが重なる面積で按分するものとします。

メッシュデータ一覧表

調査項目		メッシュデータ	
分野	調査名	高さ	色
1 人口	C0101 人口規模	国勢調査人口総数	国勢調査人口総数密度
		国勢調査人口(5歳別)	国勢調査人口密度(5歳別)
		国勢調査人口(65歳以上)	65歳以上人口割合
		国勢調査人口(1995年、15～19歳)、 国勢調査人口(2005年、25～29歳)	国勢調査人口密度(1995年、15～19歳)、 国勢調査人口密度(2005年、25～29歳)
		国勢調査人口総数	駅・バス利用圏
		国勢調査人口(65歳以上)	駅・バス利用圏
	C0103 将来人口	夜間人口総数(推計値)	夜間人口密度(推計値)
		65歳以上人口(推計値)	65歳以上人口割合(推計値)
		夜間人口減少数(推計値)	夜間人口減少割合(推計値)
	C0105 通勤・通学移動	通勤通学時公共交通等利用人口	通勤通学時公共交通等利用割合
	C0106 昼間人口	昼間人口	昼間人口密度
		昼夜間人口比	昼夜間人口比
2 産業	C0201 産業・職業分類別就業者数	第2次産業従業者数	第2次産業従業者密度
		第3次産業従業者数	第3次産業従業者密度
	C0202 事業所数・従業者数・売上金額	小売業年間販売額	小売業年間販売額密度
		事業所従業者数	駅・バス利用圏
	小売業年間販売額	駅・バス利用圏	
3 土地利用	C0301 区域区分の状況		区域区分
	C0304 宅地開発状況	開発許可(件数)	区域区分
		開発許可の面積(合計)	区域区分
	C0305 農地転用状況	農地転用状況(件数)	区域区分
		農地転用状況の面積(合計)	区域区分
	C0306 林地転用状況	林地転用状況(件数)	区域区分
		林地転用状況の面積(合計)	区域区分
	C0307 新築動向	新築動向(件数)	区域区分
新築動向の開発面積(合計)		区域区分	
4 建物	C0403 住宅の所有関係別、建て方別世帯数	持ち家世帯数	持ち家世帯数密度
		公営・都市機構・公社の借家世帯数	公営・都市機構・公社の借家世帯数密度
		民営の借家世帯数	民営の借家世帯数密度
		一戸建世帯数	一戸建世帯数密度
		共同住宅世帯数	共同住宅世帯数密度
6 交通	C0603 鉄道・路面電車等の状況		駅利用圏
7 地価	C0701 地価の状況	住宅地の価格(平均)	住宅地の価格区分
10 景観・歴史資源等	C1001 観光の状況	収容人数	収容人数

メッシュデータフォーマット

列	列名	内容	入力例
1 列目	MESH1_ID	当該メッシュが所属する 1 次メッシュのメッシュコード	4930
2 列目	MESH2_ID	当該メッシュが所属する 2 次メッシュのコード	43
3 列目	MESH3_ID	当該メッシュが所属する 3 次メッシュのコード	1
4 列目	MESH4_ID	当該メッシュが所属する 4 次メッシュのコード	2
5 列目	CITY_CD	40 から始まる 5 桁の市町村コード 区は使用せず、北九州市は 40100、福岡市は 40130 を使用する	40130
6 列目	※高さの表題	高さの値を記載し、列名には「国勢調査人口総数」等の高さの項目を記載する	10
7 列目	※色の表題	色の値を記載し、列名には「国勢調査人口総数密度」等の色の項目を記載する	1

区域区分分類コード表

分類コード	区域区分
1	非線引き白地地域
2	市街化区域
3	市街化調整区域
4	非線引き用途地域
0	都市計画区域外

(2) データ品質

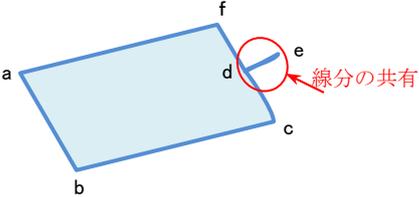
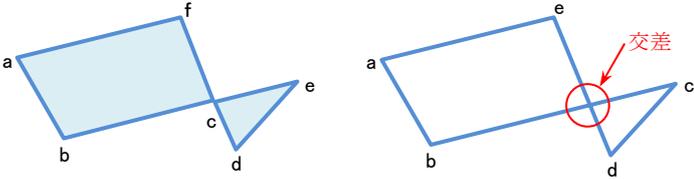
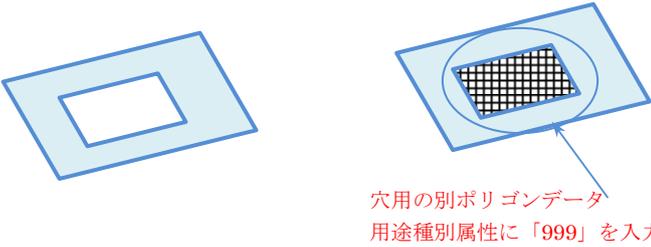
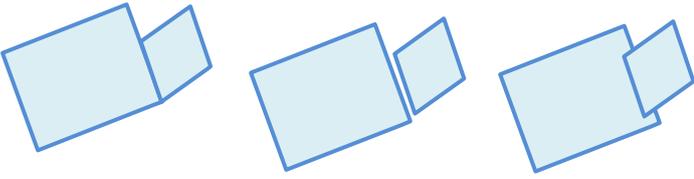
1) 品質要求

- ・GISデータは、以下に示す品質要求を満たすよう作成します。
- ・作成したデータごとに、「福岡県都市計画基礎調査データベース製品仕様書」にある「品質評価書」に記載された項目に則り品質評価を行うこととします。
- ・品質評価の報告については「品質評価書」に「評価日」「評価者」を記入し、品質評価報告書として提出します。

品質要素	品質副要素	適用範囲	品質評価基準	品質評価手法
完全性	過剰・漏れ	全ての図形データ	箇所数把握可 ・データの数を集計して比較を行い、過剰・漏れがないか	●コンピュータによる検査 ・図面及び調書に記載されている調査結果が全て図形データに反映されていることを確認
			箇所数把握不可 ・図形データの出力図を作成し、図面との比較を行い、過剰・漏れがないか	●目視による検査 ・図面に記載されている調査結果が全て図形データに反映されていることを確認
論理一貫性	定義域一貫性	全ての図形データ	・属性値の定義域に対して、実際に入力された値は正しいか	●コンピュータによる検査 ・属性の定義及び関連するコード表の値が反映されていることを確認
		全ての図形データ	・指定された「参照系」データとして作成されているか	●目視による検査 ・空間参照情報ファイル(prj)を確認
	書式一貫性	全ての図形データ	・Shape ファイルフォーマット形式で作成されているか	●目視による検査 ・shp,shx,dbf,prj 拡張子のファイルが揃っていることを確認
			・図形データファイル名	●目視による検査 ・「図形データ定義書」に示すファイル名で正しく作成されていることを確認
			・図形データの型	●目視による検査 ・「図形データ定義書」のデータ形式で正しく作成されていることを確認
	位相一貫性	Polygon 型の図形データ	・「2) 図形データ作成の注意点」で示した図形データが存在していないか	●コンピュータによる検査 ・図形データが正しく作成されていることを確認
Line 型の図形データ		・図形データが対象の中心線に沿って作成されているか	●目視による検査 ・図形データが正しく作成されていることを確認	
Point 型の図形データ		・図形データが対象の中心点付近に作成されているか	●目視による検査 ・図形データが正しく作成されていることを確認	
位置正 精度	絶対正確度又は外部正確度	全ての図形データ	・「平成28年度都市計画基礎調査実施要領」に示された地形図縮尺相当の位置正確性があるか	●目視による検査 ・使用地形図と図形データを重ね、ずれを確認
時間正 精度	時間妥当性	全ての図形データ	・地形図データは最新のものを利用しているか	●目視による検査 ・地形図データを確認
主題正確度	分類の正しさ	全ての図形データ	図形データが正しいデータ管理単位で作成されているか	●目視による検査 ・図形データの出力図を作成し、図面との比較により、図形データに正しく反映されていることを確認
	非定量的属性の正しさ	非定量的属性を持つ図形データ	入力した属性値に誤りがないか	●コンピュータによる検査 ・原典資料との比較により妥当性を確認
	定量的属性の正確度	定量的属性を持つ図形データ	入力した属性値に誤りがないか	●コンピュータによる検査 ・原典資料との比較により妥当性を確認

2) 図形データ作成の注意点

G I Sの図形データが正確に作成されていない場合、システム上で図形が正確に表示・解析されない可能性があるため、以下に注意してデータを作成することとします。

作図イメージ	注意点
 <p>○閉じている ×閉じていない</p>	<p>各図形は、起終点座標が一致した閉じた図形として作成。</p>
 <p>×線分を共有している図形 (a→b→c→d→e→d→f→a の順番で入力)</p>	<p>線分を共有しない図形とする。</p>
 <p>○線分が交差していない2つの図形 (a→b→c→f, c→d→e の順番で入力)</p> <p>×線分が交差している1つの図形 (a→b→c→d→e→a の順番で入力)</p>	<p>線分が交差していない図形とする。</p>
 <p>中抜き穴のある図形</p>	<p>図形に中抜き穴がある場合は、穴と同じ形状の図形を別途作成。</p>
 <p>○ ×(隙間がある) ×(重なっている)</p>	<p>隣り合う図形は、隙間ができたり、重なり合ったりしないよう作成する。</p>

(3) 提出形式

1) 提出資料

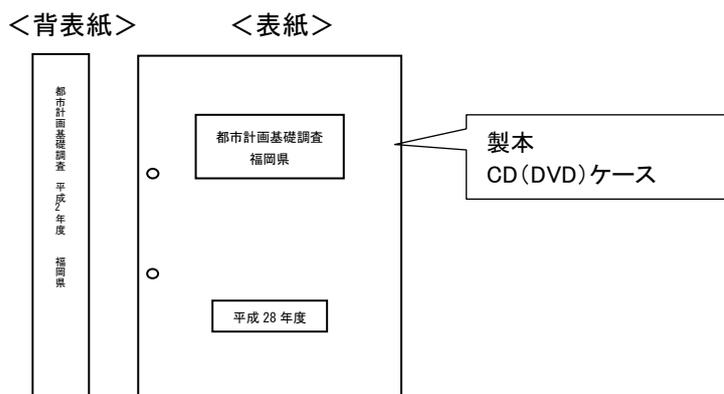
- ・提出部数は1部とします。

調書	エクセルファイル
図面	PDF ファイル
GIS データ	シェイプファイル、メタデータファイル、レイヤファイル
品質評価報告書	PDF ファイル
電子媒体	上記データを格納した電子媒体

2) ファイリング（綴り方、表紙、背表紙）

- ・提出図書はA4縦のファイル（パイプ式）にて作成します。
- ・背表紙、表紙を以下のように作成し、貼付します。
- ・調査データ入りCD（DVD）は、専用ケースに入れ、綴じます。

作成例



3) 電子ファイル

- ・作成した電子データについては、電子媒体（CD、DVD）にて提出します。
- ・ラベルは、以下のように作成します。
- ・作成データは、以下のように調書（エクセル）、図面（PDF）、GIS データ（シェイプ）、メタデータ（xml）、メッシュデータ（csv）のフォルダを作成し電子媒体に格納します。
- ・各フォルダ内には、調査の分野名（ダウンロードデータは調査名）のフォルダを作成し、該当するデータを格納します。
- ・各ファイルの名称は、命名規則に従うものとします。
- ・提出時点ごとに、提出資料リストを作成し電子媒体に格納します。（調書や図面と同じ階層へ）

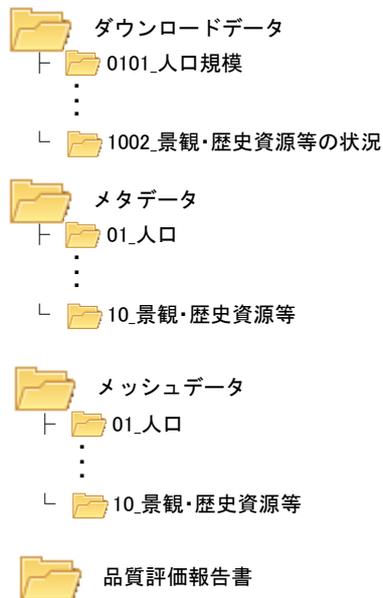
電子媒体の作成イメージ



作成例



フォルダ構成



4) 都市構造可視化計画サイト等へのアップロード

- 都市構造可視化サイト (<http://mieruka.city/>)、または同等のサイトを使用して、調査結果を公開します。
- 公開する調査項目は福岡県建築都市部都市計画課監督員との協議の上、決定します。

3. 実施要領

□収集データ項目一覧

分類	データ項目		頁
① 人口	C0101	人口規模	13
	C0102	DID	15
	C0103	将来人口	16
	C0104	人口増減	17
	C0105	通勤・通学移動	18
	C0106	昼間人口	19
② 産業	C0201	産業・職業分類別就業者数	21
	C0202	事業所数・従業者数・売上金額	22
③ 土地利用	C0301	区域区分の状況	25
	C0304	宅地開発状況	27
	C0305	農地転用状況	29
	C0306	林地転用状況	31
	C0307	新築動向	33
	C0308	条例・協定	35
④ 建物	C0403	住宅の所有関係別・建て方別世帯数	36
⑥ 交通	C0601	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	38
	C0602	自動車流動量	39
	C0603	鉄道・路面電車等の状況	40
⑦ 地価	C0701	地価の状況	41
⑧ 自然的環境等	C0801	地形・水系・地質条件	43
	C0802	気象状況	44
	C0805	動植物調査	45
⑨ 公害及び災害	C0901	災害の発生状況	46
⑩ 景観・歴史資源等	C1001	観光の状況	47

□留意事項

- ・非線引き都市計画区域については、市街化区域を用途地域指定区域、市街化調整区域を用途地域指定外地域として読み替えるものとする。
- ・小地域やメッシュのデータと集計範囲が一致しない場合については、面積等により按分し集計する。
- ・収集単位については、必要に応じて区分や地域を統合／細分化する。
- ・特別区については、市町村として読み替えるものとする。
- ・市町村単位での収集データに関し、合併のあった市町村で合併前の市町村単位のデータが取得可能なものは、合併前の市町村単位のデータを併せて収集する。

①人口

データ項目	C0101 人口規模									
収集方法	<p>【収集項目】 年齢階級別(5歳)、性別人口</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 町丁目単位(国勢調査の小地域単位)及びメッシュ単位(基準地域メッシュ(1kmメッシュ)、2分の1地域メッシュ(500mメッシュ))</p> <p>【収集方法】 国勢調査から収集 ※地図で見る統計(統計GIS)[政府統計の総合窓口(独立行政法人 統計センター)]が活用可能。 ※メッシュ単位の年齢階級別データは総務省統計局に申請もしくは、総務省統計図書館において電子データの入手が可能。</p> <p>【調査基準日】 平成22年国勢調査</p> <p>【留意事項】 ・小地域データは統計調査を実施するために設定された基本単位区の境界を基礎としており、住居表示等に用いられている町丁・字境界・名称と一致しない場合があることに注意が必要。 ・国勢調査の産業等基本集計において、都市計画の区分による人口・世帯数(総数)が公表されている。 ・GISデータについては、平成7年度以降は世界測地系データが収集可能であり、世界測地系のデータを活用する。</p>									
データ作成方法	<p><ダウンロードデータ></p> <table border="1" data-bbox="395 1061 1334 1187"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>人口規模_町丁目単位_平成22年国勢調査</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>人口規模_メッシュ単位_平成22年国勢調査</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><人口分布図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域・メッシュ単位のデータから、人口密度の区分に応じて色分けするとともに、都市計画区域や市街化区域、行政区等をあわせて表示して図面を作成する。 ・1メッシュの面積は緯度によって変わるが、1kmメッシュを1k㎡として人口密度を算出する。 ・市町村別に図面を作成する。 <div data-bbox="392 1473 1347 1854"> <p>人口密度(人/km²)</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 100 101 500 501 1000 1001 2000 2001 4000 4001 - <ul style="list-style-type: none"> 行政区 都市計画区域 市街化区域 </div>		データ項目	データ型	①	人口規模_町丁目単位_平成22年国勢調査	面	②	人口規模_メッシュ単位_平成22年国勢調査	面
	データ項目	データ型								
①	人口規模_町丁目単位_平成22年国勢調査	面								
②	人口規模_メッシュ単位_平成22年国勢調査	面								

・人口分布図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
人口密度(人/k ㎡)		
0 - 100	250,240,230	なし
101 - 500	250,200,180	なし
501- 1000	250,140,110	なし
1001 - 2000	250,80,60	なし
2001 - 4000	200,20,20	なし
4001 -	100,0,0	なし
行政区域	なし	□ 0,0,0
都市計画区域	なし	□ 150,150,150
市街化区域	なし	□ 255,130,40

集計方法

< 集計表 >

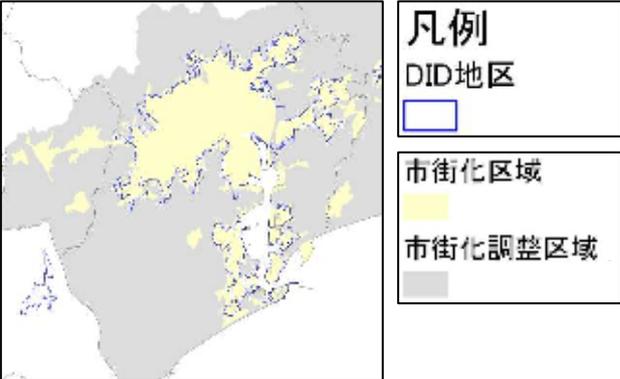
- ・市町村別、都市計画の区分別に男女別・年齢階級(5歳階級)別にとりまとめる。
- ・集計は、小地域データの活用を基本とし、小地域の境界が区域区分の境界と合致しない場合については、国勢調査時の区分による方法や、面積、可住地、建物数、世帯数等により按分する方法により適宜分割し集計する。

	男				女				総計	世帯数
	0-4 歳	5-9 歳	…	合計	0-4 歳	5-9 歳	…	合計		
行政区域	人	人	…	人	人	人	…	人	人	
都市計画区域										
市街化区域										
市街化調整区域										
非線引き用途地域										
非線引き用途白地										
都市計画区域外										

<メッシュデータ>

- H22 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- 下表の(5歳別)については、調書項目と合わせて(0-4歳)から(100歳以上)まで作成し、ファイル名についてはそれぞれ置き換える。

	データ項目	高さ	色
①	C0101_人口規模_H22_国勢調査人口総数_国勢調査人口総数密度	国勢調査人口総数	国勢調査人口総数密度
②	C0101_人口規模_H22_国勢調査人口(5歳別)_国勢調査人口密度(5歳別)	国勢調査人口(5歳別)	国勢調査人口密度(5歳別)
③	C0101_人口規模_H22_国勢調査人口(65歳以上)_65歳以上人口割合	国勢調査人口(65歳以上)	65歳以上人口割合
④	C0101_人口規模_H22_国勢調査人口(1995年、15～19歳)_国勢調査人口密度(1995年、15～19歳)、 C0101_人口規模_H22_国勢調査人口(2005年、25～29歳)_国勢調査人口密度(2005年、25～29歳)	国勢調査人口(1995年、15～19歳)、 国勢調査人口(2005年、25～29歳)	国勢調査人口密度(1995年、15～19歳)、 国勢調査人口密度(2005年、25～29歳)
⑤	C0101_人口規模_H22_国勢調査人口総数_駅・バス利用圏	国勢調査人口総数	駅・バス利用圏
⑥	C0101_人口規模_H22_国勢調査人口(65歳以上)_駅・バス利用圏	国勢調査人口(65歳以上)	駅・バス利用圏

データ項目	C0102 DID																																		
収集方法	<p>【収集項目】 位置、面積、人口 【収集範囲】 福岡県 【収集単位】 DID 地区毎 【収集方法】 国勢調査から収集 ※国土数値情報ダウンロードサービス[国土政策局 HP]の人口集中地区(面)データの活用が可能。 ※総務省統計局に申請を行うことにより GIS データの入手が可能。</p> <p>【調査基準日】 平成 22 年国勢調査 【留意事項】</p>																																		
データ作成方法	<p><ダウンロードデータ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>DID_平成 22 年国勢調査</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>面積</th> <th>人口</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><位置図></p> <p>・福岡県全域を 1 枚の図面に作成する。</p>  <p>凡例 DID地区 市街化区域 市街化調整区域</p> <p>・DID 位置図凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色指定 (R,G,B)</th> <th>縁 色指定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DID 地区</td> <td>なし</td> <td>□ 50,50,170</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	DID_平成 22 年国勢調査	面	位置	面積	人口	備考	①	ha			②				:				項目	面 色指定 (R,G,B)	縁 色指定 (R,G,B)	DID 地区	なし	□ 50,50,170	市街化区域	255,250,190	なし	市街化調整区域	220,220,220	なし
	データ項目	データ型																																	
①	DID_平成 22 年国勢調査	面																																	
位置	面積	人口	備考																																
①	ha																																		
②																																			
:																																			
項目	面 色指定 (R,G,B)	縁 色指定 (R,G,B)																																	
DID 地区	なし	□ 50,50,170																																	
市街化区域	255,250,190	なし																																	
市街化調整区域	220,220,220	なし																																	
集計方法	—																																		

データ項目	C0103 将来人口																																																																									
収集方法	<p>【収集項目】 年齢階級別(5歳)、性別</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 市町村毎</p> <p>【収集方法】 日本の市区町村別将来推計人口〔国立社会保障・人口問題研究所〕から収集</p> <p>【調査基準日】 公表されている2040年までのデータを収集する。</p> <p>【留意事項】 ・推計による市区町村の人口の合計は『日本の将来推計人口』の出生中位・死亡中位、純移動考慮で推計。</p>																																																																									
データ作成方法	—																																																																									
集計方法	<p><集計表></p> <p>・市町村別、年齢階級別(5歳)に将来人口をとりまとめる。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">●年</th> <th colspan="3">●年</th> <th rowspan="2">…</th> </tr> <tr> <th>総数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>総数</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">年齢階級別</td> <td>0-4歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5-9歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10-14歳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>…</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><メッシュデータ></p> <p>・500mメッシュ単位に調査結果を集計した各年度のメッシュデータを作成する。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>高さ</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>C0103_将来人口_H27 基準_夜間人口総数(推計値)_夜間人口密度(推計値)</td> <td>夜間人口総数(推計値)</td> <td>夜間人口密度(推計値)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>C0103_将来人口_H27 基準_65歳以上人口(推計値)_65歳以上人口割合(推計値)</td> <td>65歳以上人口(推計値)</td> <td>65歳以上人口割合(推計値)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C0103_将来人口_H27 基準_夜間人口減少数(推計値)_夜間人口減少割合(推計値)</td> <td>夜間人口減少数(推計値)</td> <td>夜間人口減少割合(推計値)</td> </tr> </tbody> </table>			●年			●年			…	総数	男	女	総数	男	女	総数		人	人	人	人	人	人	人	年齢階級別	0-4歳								5-9歳								10-14歳								…									データ項目	高さ	色	①	C0103_将来人口_H27 基準_夜間人口総数(推計値)_夜間人口密度(推計値)	夜間人口総数(推計値)	夜間人口密度(推計値)	②	C0103_将来人口_H27 基準_65歳以上人口(推計値)_65歳以上人口割合(推計値)	65歳以上人口(推計値)	65歳以上人口割合(推計値)	③	C0103_将来人口_H27 基準_夜間人口減少数(推計値)_夜間人口減少割合(推計値)	夜間人口減少数(推計値)	夜間人口減少割合(推計値)
				●年			●年				…																																																															
		総数	男	女	総数	男	女																																																																			
総数		人	人	人	人	人	人	人																																																																		
年齢階級別	0-4歳																																																																									
	5-9歳																																																																									
	10-14歳																																																																									
	…																																																																									
	データ項目	高さ	色																																																																							
①	C0103_将来人口_H27 基準_夜間人口総数(推計値)_夜間人口密度(推計値)	夜間人口総数(推計値)	夜間人口密度(推計値)																																																																							
②	C0103_将来人口_H27 基準_65歳以上人口(推計値)_65歳以上人口割合(推計値)	65歳以上人口(推計値)	65歳以上人口割合(推計値)																																																																							
③	C0103_将来人口_H27 基準_夜間人口減少数(推計値)_夜間人口減少割合(推計値)	夜間人口減少数(推計値)	夜間人口減少割合(推計値)																																																																							

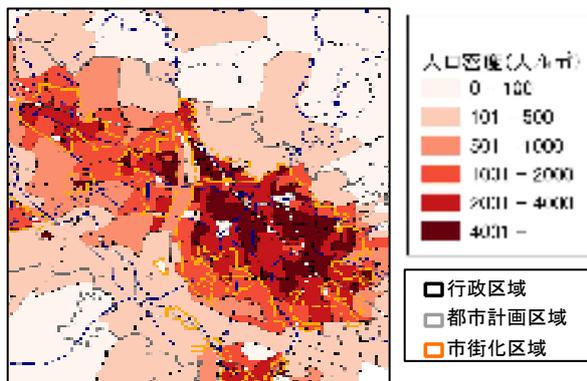
データ項目	C0104 人口増減																																				
収集方法	<p>【収集項目】 自然増減(出生数、死亡者数)、社会増減(転入者数、転出者数、その他増減)</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 市町村毎</p> <p>【収集方法】 出生数及び死亡数は人口動態調査統計から、転入者数・転出者数は住民基本台帳人口移動報告からそれぞれ収集する。[いずれも政府統計の総合窓口(独立行政法人 統計センター)のデータが利用可能]</p> <p>【調査基準日】 平成12年、平成17年、平成22年国勢調査</p> <p>【留意事項】</p>																																				
データ作成方法	—																																				
集計方法	<p><集計表></p> <p>・市町村別、人口増減の要因別にとりまとめる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H12年</th> <th>H17年</th> <th>H22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然増減</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td> 出生数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 死亡者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会増減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 転入者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 転出者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> (その他増減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人口増減計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他増減は、職権による消除・修正や国籍取得・帰化等。</p>		H12年	H17年	H22年	自然増減	人	人	人	出生数				死亡者数				社会増減				転入者数				転出者数				(その他増減)				人口増減計			
	H12年	H17年	H22年																																		
自然増減	人	人	人																																		
出生数																																					
死亡者数																																					
社会増減																																					
転入者数																																					
転出者数																																					
(その他増減)																																					
人口増減計																																					

データ項目	C0105 通勤・通学移動																																																																																																																																																																																																																																																						
収集方法	【収集項目】 15歳以上就業者、15歳以上通学者 【収集範囲】 福岡県 【収集単位】 市町村毎 【収集方法】 国勢調査から収集 【調査基準日】 昭和60年から平成22年までの国勢調査 【留意事項】																																																																																																																																																																																																																																																						
データ作成方法	—																																																																																																																																																																																																																																																						
集計方法	<p><集計表></p> <p>・市町村別に、国勢調査の従業地・通学地集計結果により、1日の就業・通学者の流出入状況を下表のようにまとめる。</p> <p style="text-align: center;">流出率＝流出就業・通学者数／常住地による就業・通学者数</p> <p style="text-align: center;">流入率＝流入就業・通学者数／従業・通学地による就業・通学者数</p> <p style="text-align: center;">就業者比率＝従業・通学地による就業・通学者数／常住地による就業・通学者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="7">従業地・通学地</th> <th rowspan="2">常住地における就業・通学者数計</th> <th colspan="2">流出</th> <th colspan="2">流入</th> <th rowspan="2">就業・通学者比率</th> </tr> <tr> <th>県全体</th> <th>A市</th> <th>B市</th> <th>...</th> <th>県外</th> <th>不詳</th> <th>就業・通学者数</th> <th>流出率</th> <th>就業・通学地による就業・通学者数</th> <th>就業・通学者数</th> <th>流入率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">常住地</td> <td>県全体</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>%</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">A市</td> <td>昭和60年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成2年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成7年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成12年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成17年</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">B市</td> <td>平成22年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>昭和60年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成2年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成7年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成12年</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">:</td> <td>平成17年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・常住地による就業・通学者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)15才以上の就業・通学者数をいう。</p> <p>・従業・通学地による就業・通学者数とは、当該都市に従業・通学する(昼間人口ベース)15才以上の就業・通学者数をいう。</p> <p><メッシュデータ></p> <p>・H22を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>高さ</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>C0105_通勤・通学移動_H22_通勤通学時公共交通等利用人口_通勤通学時公共交通等利用割合</td> <td>通勤通学時公共交通等利用人口</td> <td>通勤通学時公共交通等利用割合</td> </tr> </tbody> </table>															従業地・通学地							常住地における就業・通学者数計	流出		流入		就業・通学者比率	県全体	A市	B市	...	県外	不詳	就業・通学者数	流出率	就業・通学地による就業・通学者数	就業・通学者数	流入率	常住地	県全体	人	人	人	人	人	人	人	人	%	人	人	%	%	A市	昭和60年														平成2年														平成7年														平成12年														平成17年														B市	平成22年														昭和60年														平成2年														平成7年														平成12年														:	平成17年														平成22年														県外		-					-	-							データ項目	高さ	色	①	C0105_通勤・通学移動_H22_通勤通学時公共交通等利用人口_通勤通学時公共交通等利用割合	通勤通学時公共交通等利用人口	通勤通学時公共交通等利用割合
		従業地・通学地							常住地における就業・通学者数計	流出		流入				就業・通学者比率																																																																																																																																																																																																																																							
		県全体	A市	B市	...	県外	不詳	就業・通学者数		流出率	就業・通学地による就業・通学者数	就業・通学者数	流入率																																																																																																																																																																																																																																										
常住地	県全体	人	人	人	人	人	人	人	人	%	人	人	%	%																																																																																																																																																																																																																																									
	A市	昭和60年																																																																																																																																																																																																																																																					
		平成2年																																																																																																																																																																																																																																																					
		平成7年																																																																																																																																																																																																																																																					
		平成12年																																																																																																																																																																																																																																																					
		平成17年																																																																																																																																																																																																																																																					
	B市	平成22年																																																																																																																																																																																																																																																					
		昭和60年																																																																																																																																																																																																																																																					
		平成2年																																																																																																																																																																																																																																																					
		平成7年																																																																																																																																																																																																																																																					
		平成12年																																																																																																																																																																																																																																																					
	:	平成17年																																																																																																																																																																																																																																																					
		平成22年																																																																																																																																																																																																																																																					
		県外		-					-	-																																																																																																																																																																																																																																													
	データ項目	高さ	色																																																																																																																																																																																																																																																				
①	C0105_通勤・通学移動_H22_通勤通学時公共交通等利用人口_通勤通学時公共交通等利用割合	通勤通学時公共交通等利用人口	通勤通学時公共交通等利用割合																																																																																																																																																																																																																																																				

データ項目	C0106 昼間人口									
収集方法	<p>【収集項目】昼間人口</p> <p>【収集範囲】福岡県</p> <p>【収集単位】町丁目単位(国勢調査の小地域単位)及びメッシュ単位(基準地域メッシュ(1kmメッシュ)、2分の1地域メッシュ(500mメッシュ))</p> <p>【収集方法】国勢調査、事業所・企業統計調査(経済センサス)、学校基本調査から収集</p> <p>【調査基準日】平成22年国勢調査、平成21年経済センサス、学校基本調査は最新のもの</p> <p>【留意事項】メッシュ単位の昼間人口は(財)統計情報研究開発センターより有償で提供されている</p>									
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="399 645 1337 770"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>昼間人口_小地域</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>昼間人口_500mメッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p>・以下の式により小地域等の昼間人口を算定する。</p> <p style="padding-left: 40px;">昼間人口＝昼間従業者＋昼間通学者＋昼間に従業も通学もしない者</p> <p>○昼間従業者</p> <p>・事業所・企業統計調査や経済センサスから、町丁・字等別に従業者数（農林漁業従業者除く）を算出。町丁・字等ごとの従業者数構成比を求め、その比率で国勢調査の区市町村別昼間従業者数を按分して設定する。</p> <p>○昼間通学者</p> <p>・学校基本調査から、町丁・字等別に通学者数を算出。町丁・字等ごとの通学者数構成比を求め、その比率で国勢調査の区市町村別昼間通学者数を按分して設定する。</p> <p>○昼間に従業も通学もしないもの</p> <p>・国勢調査から以下により集計する。</p> <p style="padding-left: 40px;">昼間に従業も通学もしないもの＝15歳以上就業も通学もしないもの ＋15歳未満就業も通学もしない者 ＋農林漁業従業者</p> <p style="padding-left: 40px;">15歳以上就業も通学もしないもの＝ 15歳以上非労働力人口 －15歳以上通学者 ＋完全失業者</p> <p style="padding-left: 40px;">15歳未満就業も通学もしないもの＝ 未就学者数(全年齢) －15歳以上未就学者</p>		データ項目	データ型	①	昼間人口_小地域	面	②	昼間人口_500mメッシュ	面
	データ項目	データ型								
①	昼間人口_小地域	面								
②	昼間人口_500mメッシュ	面								

<昼間人口分布図>

・市町村別に図面を作成する。



・昼間人口分布図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
人口密度(人/k㎡)		
0 - 100	250,240,230	なし
101 - 500	250,200,180	なし
501 - 1000	250,140,110	なし
1001 - 2000	250,80,60	なし
2001 - 4000	200,20,20	なし
4001 -	100,0,0	なし
行政区域	なし	<input type="checkbox"/> 0,0,0
都市計画区域	なし	<input type="checkbox"/> 150,150,150
市街化区域	なし	<input type="checkbox"/> 255,130,40

<平成 22 年度国勢調査に基づく算出例>

○町丁・字等別昼間従業者(d)

		平成22年度国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・産業等集計	平成21年 経済センサス
		第7表 常住地又は従業地による産業(大分類)、男女別15歳以上就業者数(雇用人者一特掲)一全国、都道府県、市町村	経営組織(2区分)、産業(大分類)・従業者規模(6区分)別全事業所数及び男女別従業者数一市区町村、町丁・大字
従業者数総数(a)		112,974	118,174
A 農業、林業+B 漁業(b)		192	38
非農林漁業(c)=(a)-(b)		112,782	118,136
小地域別従業者数		1,389	1,920
(d)=(c)×経済センサス等の町丁・字等ごとの従業者数構成比		856	894
		942	983
		448	468
		990	1,034

○町丁・字等別昼間通学者(f)

		平成22年度国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・産業等集計	平成22年度 学校基本調査
		第3表 従業地・通学地による常住市区町村、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数(15歳未満通学者を含む通学者一特掲)一都道府県、市町	小学校+中学校+高等学校 全日制・定時制+特別支援学校+専修学校+各種学校
区市町村別昼間通学者数(e)		14,412	15,600
小地域別従業者数		432	468
(f)=(e)×学校基本調査による町丁・字等ごとの通学者数構成比		144	156
		0	0
		0	0
		216	234

○昼間に従業も通学もしないもの(○○-丁目)(r)

		項目	人数	H22国勢調査データ項目
15歳以上就業も通学もしない者(i)	完全失業者	15歳以上非労働力人口(g)	380	第18表 常住地による従業地・通学地(5区分)、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数一町丁・字等
		15歳以上通学者(h)	56	第18表 常住地による従業地・通学地(5区分)、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数一町丁・字等
		労働力人口(i)	968	第18表 常住地による従業地・通学地(5区分)、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数一町丁・字等
		常住地による15歳以上就業者数(j)	903	第18表 常住地による従業地・通学地(5区分)、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数一町丁・字等
		(k)=(i)-(j)	65	
計(i)=(g)-(h)+(k)			389	
15歳未満就業も通学もしない者(o)		未就学者数(m)	44	第15表 在学学校・未就学の種類(7区分)、男女別在学者数及び未就学者数一町丁・字等
		15歳以上未就学者(n)	-	第14表 在学か否かの別・最終卒業学校の種類(6区分)、男女別15歳以上人口一町丁・字等
		計(o)=(m)-(n)	44	
農林漁業従事者(p)	A 農業、林業+B 漁業	1	第12表 産業(大分類)、男女別15歳以上就業者数一町丁・字等	
昼間に従業も通学もしないもの(q)=(i)+(o)+(p)			434	
小地域昼間人口(r)=(d)+(f)+(q)			2,705	

集計方法

<メッシュデータ>

- ・H22 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- ・昼間人口_500m メッシュの作成については、小地域の昼間人口をメッシュ毎に面積で案分し、集計する。

	データ項目	高さ	色
①	C0106_昼間人口_H22_昼間人口_昼間人口密度	昼間人口	昼間人口密度
②	C0106_昼間人口_H22_昼夜間人口比_昼夜間人口比	昼夜間人口比	昼夜間人口比

②産業

データ項目	C0201 産業・職業分類別就業者数
収集方法	<p>【収集項目】 常住地別就業者数、従業地別就業者数(産業大分類別、職業別大分類)</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 市町村毎</p> <p>【収集方法】 国勢調査から収集</p> <p>【調査基準日】 平成22年国勢調査</p> <p>【留意事項】 産業分類は随時改定が行われているため、経年比較を行う際には分類の確認が必要となる。</p>

データ作成方法	—
---------	---

集計方法	<p><集計表></p> <p>・市町村別、産業分類別、職業分類別に常住地別就業者数、従業地別就業者数をとりまとめる。</p> <p>【産業大分類別人口】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">産業大分類(旧)</th> <th colspan="2">昭和60年</th> <th colspan="2">平成2年</th> <th colspan="2">平成7年</th> <th colspan="2">平成12年</th> <th rowspan="2">産業大分類</th> <th colspan="2">平成17年</th> <th colspan="2">平成22年</th> </tr> <tr> <th>就業者数(人)</th> <th>構成比(%)</th> <th>就業者数(人)</th> <th>構成比(%)</th> <th>就業者数(人)</th> <th>構成比(%)</th> <th>就業者数(人)</th> <th>構成比(%)</th> <th>就業者数(人)</th> <th>構成比(%)</th> <th>就業者数(人)</th> <th>構成比(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>農 業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A・ 農 業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>林業、狩猟業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B・ 林 業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>漁業、水産養殖業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>C・ 漁 業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>第1次産業合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>第1次産業合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鉱 業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>D・ 鉱 業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>建設業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>E・ 建設業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>製造業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>F・ 製造業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>第2次産業合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>第2次産業合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>電気、ガス、水道</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>G・ 電気・ガス・ 熱供給・水道業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>運輸、通信業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>H・ 情報通信業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>卸売業、小売業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>I・ 運 輸 業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>金融・保険業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>J・ 卸売・小売業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>不動産業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>K・ 金融・保険業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>L・ 不動産業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>M・ 飲食店・宿泊業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>N・ 医療、福祉</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>O・ 教育、学習支援業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>P・ 複合サービス業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Q・ サービス業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>サービス業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>R・ 公 務</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>公 務</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>第3次産業合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>第3次産業合計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>S・ 分類不能の産業</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>分類不能の産業</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>合 計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合 計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	産業大分類(旧)	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		産業大分類	平成17年		平成22年		就業者数(人)	構成比(%)	農 業									A・ 農 業					林業、狩猟業									B・ 林 業					漁業、水産養殖業									C・ 漁 業					第1次産業合計									第1次産業合計					鉱 業									D・ 鉱 業					建設業									E・ 建設業					製造業									F・ 製造業					第2次産業合計									第2次産業合計					電気、ガス、水道									G・ 電気・ガス・ 熱供給・水道業					運輸、通信業									H・ 情報通信業					卸売業、小売業									I・ 運 輸 業					金融・保険業									J・ 卸売・小売業					不動産業									K・ 金融・保険業														L・ 不動産業														M・ 飲食店・宿泊業														N・ 医療、福祉														O・ 教育、学習支援業														P・ 複合サービス業														Q・ サービス業					サービス業									R・ 公 務					公 務									第3次産業合計					第3次産業合計									S・ 分類不能の産業					分類不能の産業									合 計					合 計																							
産業大分類(旧)	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		産業大分類	平成17年		平成22年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)		就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
農 業									A・ 農 業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
林業、狩猟業									B・ 林 業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
漁業、水産養殖業									C・ 漁 業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
第1次産業合計									第1次産業合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
鉱 業									D・ 鉱 業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
建設業									E・ 建設業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
製造業									F・ 製造業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
第2次産業合計									第2次産業合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
電気、ガス、水道									G・ 電気・ガス・ 熱供給・水道業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
運輸、通信業									H・ 情報通信業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
卸売業、小売業									I・ 運 輸 業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
金融・保険業									J・ 卸売・小売業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
不動産業									K・ 金融・保険業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
									L・ 不動産業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
									M・ 飲食店・宿泊業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
									N・ 医療、福祉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
									O・ 教育、学習支援業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
									P・ 複合サービス業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
									Q・ サービス業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
サービス業									R・ 公 務																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
公 務									第3次産業合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
第3次産業合計									S・ 分類不能の産業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分類不能の産業									合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
合 計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

【職業分類別就業者数】

職業大分類	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	就業者数(人)	構成比(%)										
A. 専門的・技術的職業従業者		%		%		%		%		%		%
B. 管理的職業従業者		%		%		%		%		%		%
C. 事務従業者		%		%		%		%		%		%
D. 販売従業者		%		%		%		%		%		%
E・F. 農林・漁業従業者		%		%		%		%		%		%
G. 採鉱・採石従業者		%		%		%		%		%		%
H. 運輸・通信従業者		%		%		%		%		%		%
I. 技能工・包屋工従業者及び臨時労働者		%		%		%		%		%		%
J. 採石労働従業者		%		%		%		%		%		%
K. サービス従業者		%		%		%		%		%		%
L. 分類不能の職業		%		%		%		%		%		%
合 計	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%	0	%

注) Gの採鉱・採石従業者の平成2年及び平成7年の数値は、I.の技能工、包屋工従業者及び臨時労働者に含まれているため、表示していない。

資料:国勢調査

<メッシュデータ>

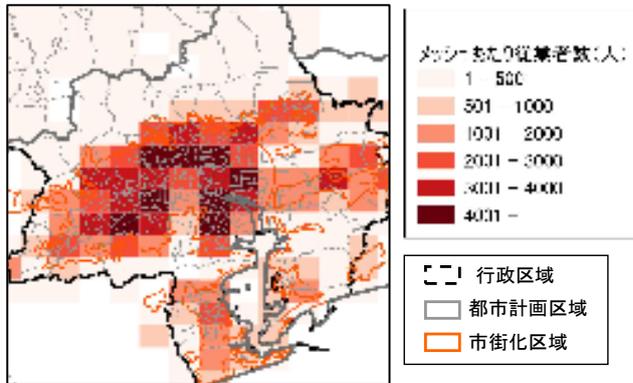
・H22を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。

	データ項目	高さ	色
①	C0201_産業・職業分類別就業者数_H22_第2次産業従業者数_第2次産業従業者密度	第2次産業従業者数	第2次産業従業者密度
②	C0201_産業・職業分類別就業者数_H22_第3次産業従業者数_第3次産業従業者密度	第3次産業従業者数	第3次産業従業者密度

データ項目	C0202 事業所数・従業者数・売上金額												
収集方法	<p>【収集項目】 事業所数、従業者数、小売販売額、製造品出荷額等</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 市町村単位及びメッシュ単位(基準地域メッシュ(1km メッシュ)、2 分の 1 地域メッシュ(500m メッシュ))</p> <p>【収集方法】 事業所統計、経済センサス、工業統計、商業統計から収集</p> <p>【調査基準日】 昭和 60 年～平成 18 年事業所統計統計調査、平成 21 年、平成 24 年経済センサス、昭和 60 年～平成 25 年工業統計調査、昭和 60 年～平成 19 年商業統計調査</p> <p>【留意事項】 「卸売・小売業」は商業統計、「製造業」は工業統計で経年的に売上高を把握できるが、それ以外の産業については、過去のデータは収集できない。今後は経済センサス(活動調査)で産業別の売上金額が把握できる。</p> <p>※メッシュ単位データについて、事業所数、従業者数については、地図で見る統計(統計GIS)[政府統計の総合窓口(独立行政法人 統計センター)]が活用可能。</p> <p>※小売販売額および製造品出荷額については、商業統計メッシュ検索システムおよび工業統計メッシュ検索システム[経済産業省 HP]が活用可能。</p> <p>【留意事項】 ・総務省、経済産業省に申請を行うことにより原票データの入手が可能。 ・財団法人 経済産業調査会 経済統計情報センターにおいて、商業統計、工業統計それぞれの1kmメッシュデータの購入が可能。</p>												
データ作成方法	<p><ダウンロードデータ></p> <table border="1" data-bbox="400 1093 1337 1216"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>事業所数及び従業者数_メッシュ単位_平成 24 年 経済センサス活動調査</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="400 1294 1337 1384"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>事業所数及び従業者数_500m メッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	事業所数及び従業者数_メッシュ単位_平成 24 年 経済センサス活動調査	面		データ項目	データ型	①	事業所数及び従業者数_500m メッシュ	面
	データ項目	データ型											
①	事業所数及び従業者数_メッシュ単位_平成 24 年 経済センサス活動調査	面											
	データ項目	データ型											
①	事業所数及び従業者数_500m メッシュ	面											

<従業員数分布図>

- ・1kmメッシュ単位、500mメッシュ単位のデータから、従業員数等に応じて色分けするとともに、都市計画区域や市街化区域、行政区域等をあわせて表示して図面を作成する。
- ・市町村別に図面を作成する。



・従業員数分布図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)	縁 パターン
メッシュあたり従業員数(人)			
1 - 500	250,240,230	なし	
501 - 1000	250,200,180	なし	
1001 - 2000	250,140,110	なし	
2001 - 3000	250,80,60	なし	
3001 - 4000	200,20,20	なし	
4001 -	100,0,0	なし	
行政区域	なし	□ 0,0,0	破線
都市計画区域	なし	□ 150,150,150	
市街化区域	なし	□ 255,130,40	

集計方法

<集計表>

- ・市町村別に、行政区域単位のデータから、事業所数、従業員数、売上金額等のそれぞれについて、産業分類別にとりまとめる。

【産業大分類別事業所数及び従業員数】

産業大分類	事業所 総数	平成24年 従業員規模別事業所数(民営)					国県市等公共 団体事業所数	従業員 総数
		1~4	5~9	10~19	20~29	30~		
A, B, C, 農林水産業								
D, 鉱業								
E, 建設業								
F, 製造業								
G, 電気・ガス・熱供給・水道業								
H, 情報通信業								
I, 運輸業								
J, 卸売・小売業								
K, 金融・保険業								
L, 不動産業								
M, 飲食店・宿泊業								
N, 医療・福祉								
O, 教育・学習支援業								
P, 複合サービス業								
Q, サービス業								
R, 公務								
S, 分類不能の産業								
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

【産業中分類別工業出荷額】

産業中分類	昭和60年		…		…		平成25年	
	出荷額 (100万円)	デフレ→補正値 (100万円)	出荷額 (100万円)	デフレ→補正値 (100万円)	出荷額 (100万円)	デフレ→補正値 (100万円)	出荷額 (100万円)	デフレ→補正値 (100万円)
合計								
9.食料品（製造業）								
10.飲料・たばこ								
11.繊維（工業）								
12.衣服その他繊維製品								
13.木材・木製品								
14.家具・装備品								
15.パルプ・紙・紙加工品								
16.印刷・関連連								
17.化学								
18.石油製品・石炭製品								
19.プラスチック製品								
20.ゴム製品								
21.なめし皮・同製品・毛皮								
22.窯業・土石製品								
23.鉄鋼								
24.非鉄金属								
25.金属製品								
26.一般機械器具								
27.電気機械器具								
28.情報通信機器								
29.電子・デバイス								
30.輸送用機械器具								
31.精密機械器具								
32.その他の製造業								

【産業中分類別商業販売額】

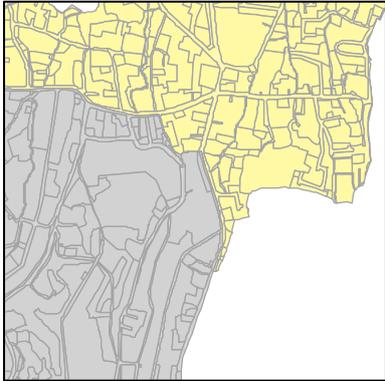
産業中分類	昭和60年		…		平成19年	
	販売額 (100万円)	デフレ→補正値 (100万円)	販売額 (100万円)	デフレ→補正値 (100万円)	販売額 (100万円)	デフレ→補正値 (100万円)
合計						
卸売業小計						
49.各種商品卸売業						
50.繊維・衣服等卸売業						
51.飲食料品卸売業						
52.建築材料、鉱物・金属材料 等卸売業						
53.機械器具卸売業						
54.その他卸売業						
小売業小計						
55.各種商品小売業						
56.織物・衣服身の回り品 小売業						
57.飲食料品小売業						
58.自動車・自転車小売業						
59.家具・じゅう器 小売業						
60.その他小売業						

<メッシュデータ>

・H24を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。

	データ項目	高さ	色
①	C0202_事業所数・従業者数・売上金額 _H24_小売業年間販売額_小売業年間販売 額密度	小売業年間販 売額	小売業年間販 売額密度
②	C0202_事業所数・従業者数・売上金額 _H24_事業所従業者数_駅・バス利用圏	事業所従業者 数	駅・バス利用圏
③	C0202_事業所数・従業者数・売上金額 _H24_小売業年間販売額_駅・バス利用圏	小売業年間販 売額	駅・バス利用圏

③土地利用

データ項目	C0301 区域区分の状況																																														
収集方法	<p>【収集項目】 位置、面積 【収集範囲】 都市計画区域 【収集単位】 区域毎 【収集方法】 区域区分の調査(市町調査)、国土数値情報から収集 ※都市計画区域・市街化区域・市街化調整区域の区域は、国土数値情報ダウンロードサービス[国土政策局 HP]の都市地域(面)データの活用が可能。 ※市町調査で都市計画区域、区域区分、用途地域の GIS データが整備されている場合は使用する。 【調査基準日】国土数値情報の最新時点 【留意事項】</p>																																														
データ作成方法	<p><ダウンロードデータ></p> <table border="1" data-bbox="395 772 1337 981"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>都市地域_平成 23 年度</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>市街化区域_平成 23 年度</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>市街化調整区域_平成 23 年度</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>その他用途地域_平成 23 年度</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="395 1059 1337 1144"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>区域区分_500 m メッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1" data-bbox="395 1223 863 1435"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市街化区域</td> <td>①</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">市街化調整区域</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">都市計画区域</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><位置図></p> <p>・福岡県全域を 1 枚の図面に作成する。</p>  <p>・区域区分の状況位置図凡例</p> <table border="1" data-bbox="395 1989 1169 2089"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色指定(R,G,B)</th> <th>縁 色指定(R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	都市地域_平成 23 年度	面	②	市街化区域_平成 23 年度	面	③	市街化調整区域_平成 23 年度	面	④	その他用途地域_平成 23 年度	面		データ項目	データ型	①	区域区分_500 m メッシュ	面			面積	市街化区域	①	ha	②		:		市街化調整区域			都市計画区域			項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)	市街化区域	255,250,190	なし	市街化調整区域	220,220,220	なし
	データ項目	データ型																																													
①	都市地域_平成 23 年度	面																																													
②	市街化区域_平成 23 年度	面																																													
③	市街化調整区域_平成 23 年度	面																																													
④	その他用途地域_平成 23 年度	面																																													
	データ項目	データ型																																													
①	区域区分_500 m メッシュ	面																																													
		面積																																													
市街化区域	①	ha																																													
	②																																														
	:																																														
市街化調整区域																																															
都市計画区域																																															
項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)																																													
市街化区域	255,250,190	なし																																													
市街化調整区域	220,220,220	なし																																													

集計方法	<メッシュデータ作成> ・H23 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。 ・区域区分_500 m メッシュの作成については、メッシュ毎に非線引き白地地域、市街化区域、市街化調整区域、非線引き用途地域、都市計画区域外の面積を集計し、メッシュ内の一番広い分類を判定する。			
		データ項目	高さ	色
	①	C0301_区域区分の状況_H23_区域区分		区域区分

データ項目	C0304 宅地開発状況																																							
収集方法	<p>【収集項目】 位置、事業方法、面積、用途等 ・開発許可による開発を対象とする。</p> <p>【収集範囲】 福岡県内市町村(福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市を除く)</p> <p>【収集単位】 事業毎</p> <p>【収集方法】 開発登録簿(開発許可申請)から収集、市町村地番図を使用して位置の特定を行う。</p> <p>【調査基準日】 調査期間は前回調査から平成28年3月までとする。集計の単位(1年間)は4月1日から翌年3月31日までを基準とする。</p> <p>【留意事項】</p>																																							
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="395 696 1334 779"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>開発許可</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <p>【開発許可による開発】</p> <table border="1" data-bbox="395 898 1129 1032"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>事業面積</th> <th>事業期間</th> <th>主な用途</th> <th>進捗状況^{※1}</th> <th>備考^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 以下の分類に沿って記載する。 a:調査実施時点で完了しているもの b:現在施行中のもの、又は開発審査会による開発許可を受けたもの</p> <p>※2 市街化調整区域内の開発については、その旨を記す。</p> <p><位置図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発許可による開発についてはポイントデータでの作成を基本とする。 ・アンマッチについては机上で目視確認を行うが、解明できない場合は街区レベル等までの位置の特定とする。 ・市町村別に図面を作成する。 <div data-bbox="395 1435 1086 1816"> </div> <p>・開発許可による開発位置図凡例</p> <table border="1" data-bbox="395 1872 1145 2029"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開発許可による開発</td> <td>240,150,0</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	開発許可	点	位置	事業面積	事業期間	主な用途	進捗状況 ^{※1}	備考 ^{※2}	①	m ²					...						項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	開発許可による開発	240,150,0	○ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																						
①	開発許可	点																																						
位置	事業面積	事業期間	主な用途	進捗状況 ^{※1}	備考 ^{※2}																																			
①	m ²																																							
...																																								
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																						
開発許可による開発	240,150,0	○ 0,0,0																																						
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																						
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																						
行政区域	なし	□ 0,0,0																																						

集計方法

<集計表>

- 市街化区域、市街化調整区域の別に件数、面積をとりまとめる。

		住宅用地		商業用地		工業用地		公益施設用地		その他	
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
市街化区域	平成 23 年	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市街化調整区域	平成 23 年										
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	平成 23 年										
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<メッシュデータ>

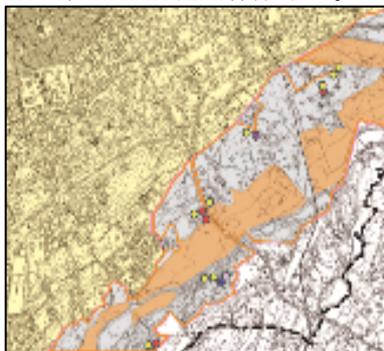
- H23 から H27 の 5 年間を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- 開発許可の件数、面積は 5 年間の値を合計し、H23 から H27 を 1 期間として作成する。
- 区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。

	データ項目	高さ	色
①	C0304_宅地開発状況_H23-H27_開発許可(件数)_区域区分	開発許可(件数)	区域区分
②	C0304_宅地開発状況_H23-H27_開発許可の面積(合計)_区域区分	開発許可の面積(合計)	区域区分

データ項目	C0305 農地転用状況																								
収集方法	<p>【収集項目】 位置、面積、転用年、転用目的、農振法による指定の有無</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 転用区域毎</p> <p>【収集方法】 農地転用申請書、届出書から収集する。届出書は各市町村の農業委員会で管理しているものを使用する。市町村地番図を使用して位置の特定を行う。</p> <p>農地の面積は、都市計画区域内は土地利用現況より、行政区域全体は農林業センサスより収集</p> <p>【調査基準日】平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日</p> <p>【留意事項】 転用用途が「C0302 土地利用現況」の用途の都市的土地利用に分類されるものを対象とする。</p>																								
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" data-bbox="400 768 1337 891"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>農地転用状況</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>農地転用状況_500m メッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <table border="1" data-bbox="395 965 1394 1077"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>面積</th> <th>転用年</th> <th>転用用途^{※1}</th> <th>農用地指定の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 「C0302 土地利用現況」の用途名のうち対応するものを記入する。</p>		データ項目	データ型	①	農地転用状況	点	②	農地転用状況_500m メッシュ	面	位置	面積	転用年	転用用途 ^{※1}	農用地指定の有無	①	m ²				...				
	データ項目	データ型																							
①	農地転用状況	点																							
②	農地転用状況_500m メッシュ	面																							
位置	面積	転用年	転用用途 ^{※1}	農用地指定の有無																					
①	m ²																								
...																									

<位置図>

- ポイントデータでの作成を基本とする。
- アンマッチについては机上で目視確認を行うが、解明できない場合は街区レベル等までの位置の特定とする。
- 市町村別に図面を作成する。



- 住宅用地に転用
- 商業用地に転用
- 工業用地に転用
- 公共施設用地に転用
- その他に転用

- 市街化区域
- 市街化調整区域
- 行政区域
- 農業振興地域
- 農用地区域

・農地転用状況位置図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
農地転用		
住宅用地に転用	240,240,80	○ 0,0,0
商業用地に転用	240,70,70	○ 0,0,0
工業用地に転用	80,80,140	○ 0,0,0
公共施設用地に転用	160,80,140	○ 0,0,0
その他に転用	230,190,220	○ 0,0,0
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230
行政区域	なし	□ 0,0,0
農業振興地域	なし	□ 255,130,40
農用地区域	250,190,130	なし

集計方法

<集計表>

- ・市町村別、市街化区域、市街化調整区域、都市計画区域外の別に件数、面積をとりまとめる。

		転用件数・面積								転用用途						前年 末の 農地
		うち青地		うち白地		住宅用地		商業用地		工業用地		公益施設用地		その他		
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	
市街化区域	平成 23 年	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	件	㎡	㎡
	平成 24 年															
	平成 25 年															
	平成 26 年															
	平成 27 年															
	合計															
市街化調整区域	平成 23 年															
	平成 24 年															
	平成 25 年															
	平成 26 年															
	平成 27 年															
	合計															
都市計画区域外	平成 23 年															
	平成 24 年															
	平成 25 年															
	平成 26 年															
	平成 27 年															
	合計															
合計	平成 23 年															
	平成 24 年															
	平成 25 年															
	平成 26 年															
	平成 27 年															
	合計															

<メッシュデータ作成>

- ・H23 から H27 の 5 年間を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- ・農地転用状況_500 m メッシュの作成については、メッシュ毎に農地転用の件数、面積の合計を集計する。
- ・農地転用状況の件数、面積は 5 年間の値を合計し、H23 から H27 を 1 期間として作成する。
- ・アンマッチになったポイントデータ(街区レベル等まで特定されたデータ)は、特定された区域のデータとして、メッシュに面積案分する。
- ・区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。

	データ項目	高さ	色
①	C0305_農地転用状況_H23-H27_農地転用状況(件数)_区域区分	農地転用状況(件数)	区域区分
②	C0304_農地転用状況_H23-H27_農地転用状況の面積(合計)_区域区分	農地転用状況の面積(合計)	区域区分

データ項目	C0306 林地転用状況																																																																
収集方法	<p>【収集項目】 位置、面積、転用目的</p> <p>【収集範囲】 福岡県(保安林及び地域森林計画対象民有林)</p> <p>【収集単位】 転用林地毎</p> <p>【収集方法】 地域森林計画対象民有林: 林地開発許可申請から収集、市町村地番図を使用して位置の特定を行う。 保安林: 保安林指定(解除)申請書</p> <p>【調査基準日】平成23年4月1日～平成28年3月31日</p> <p>【留意事項】 ・前回の基礎調査実施後に行われた林地における開発を対象とする。 ・転用用途について、「C0302 土地利用現況」に示した用途分類のうち、都市的土地利用に分類されるものを対象とする。</p>																																																																
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="395 730 1334 853"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>林地転用状況</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>林地転用状況_500m メッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1" data-bbox="395 931 1406 1043"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>面積</th> <th>転用目的※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1C0302 土地利用現況の用途名のうち対応するものを記入する。</p> <p><位置図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントデータでの作成を基本とする。 ・アンマッチについては机上で目視確認を行うが、解明できない場合は街区レベル等までの位置の特定とする。 ・市町村別に図面を作成する。 <div data-bbox="395 1330 1046 1671" style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <table border="1" data-bbox="799 1330 1046 1603"> <tr> <td>●</td> <td>住宅用地に転用</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>商業用地に転用</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>工業用地に転用</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>公共施設用地に転用</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>その他に転用</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>市街化区域</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>市街化調整区域</td> </tr> <tr> <td>---</td> <td>行政区域</td> </tr> </table> </div> </div> <p>・林地転用状況位置図凡例</p> <table border="1" data-bbox="395 1727 1193 2051"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林地転用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>住宅用地に転用</td> <td>240,240,80</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>商業用地に転用</td> <td>240,70,70</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>工業用地に転用</td> <td>80,80,140</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>公共施設用地に転用</td> <td>160,80,140</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>その他に転用</td> <td>230,190,220</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	林地転用状況	点	②	林地転用状況_500m メッシュ	面	位置	面積	転用目的※1	①	m ²		...			●	住宅用地に転用	●	商業用地に転用	●	工業用地に転用	●	公共施設用地に転用	●	その他に転用	■	市街化区域	■	市街化調整区域	---	行政区域	項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	林地転用			住宅用地に転用	240,240,80	○ 0,0,0	商業用地に転用	240,70,70	○ 0,0,0	工業用地に転用	80,80,140	○ 0,0,0	公共施設用地に転用	160,80,140	○ 0,0,0	その他に転用	230,190,220	○ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																																															
①	林地転用状況	点																																																															
②	林地転用状況_500m メッシュ	面																																																															
位置	面積	転用目的※1																																																															
①	m ²																																																																
...																																																																	
●	住宅用地に転用																																																																
●	商業用地に転用																																																																
●	工業用地に転用																																																																
●	公共施設用地に転用																																																																
●	その他に転用																																																																
■	市街化区域																																																																
■	市街化調整区域																																																																
---	行政区域																																																																
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																																															
林地転用																																																																	
住宅用地に転用	240,240,80	○ 0,0,0																																																															
商業用地に転用	240,70,70	○ 0,0,0																																																															
工業用地に転用	80,80,140	○ 0,0,0																																																															
公共施設用地に転用	160,80,140	○ 0,0,0																																																															
その他に転用	230,190,220	○ 0,0,0																																																															
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																																															
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																																															
行政区域	なし	□ 0,0,0																																																															

集計方法

<集計表>

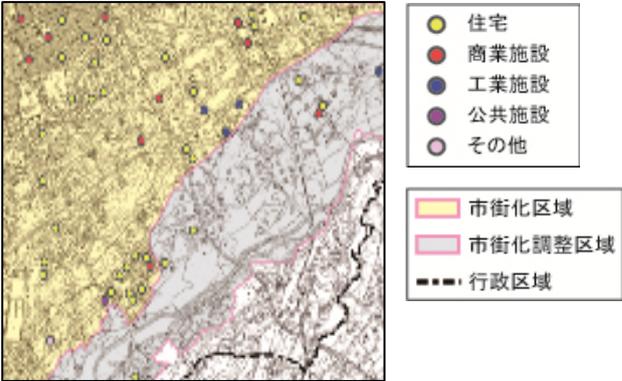
- 市町村別、都市計画区域、都市計画区域外の別に件数、面積をとりまとめる。

		住宅用地		商業用地		工業用地		公益施設用地		その他	
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
都市計画区域	平成23年	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
	平成24年										
	平成25年										
	平成26年										
	平成27年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
都市計画区域外	平成23年										
	平成24年										
	平成25年										
	平成26年										
	平成27年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	平成23年										
	平成24年										
	平成25年										
	平成26年										
	平成27年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<メッシュデータ作成>

- H23 から H27 の 5 年間を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- 林地転用状況_500 m メッシュの作成については、メッシュ毎に林地転用の件数、面積の合計を集計する。
- 林地転用状況の件数、面積は 5 年間の値を合計し、H23 から H27 を 1 期間として作成する。
- アンマッチになったポイントデータ(街区レベル等まで特定されたデータ)は、特定された区域のデータとして、メッシュに面積案分する。
- 区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。

	データ項目	高さ	色
①	C0306_林地転用状況_H23-H27_林地転用状況(件数)_区域区分	林地転用状況(件数)	区域区分
②	C0306_林地転用状況_H23-H27_林地転用状況の面積(合計)_区域区分	林地転用状況の面積(合計)	区域区分

データ項目	C0307 新築動向																																																							
収集方法	<p>【収集項目】 位置、用途、事業主体、面積</p> <p>【収集範囲】 都市計画区域</p> <p>【収集単位】 建築行為毎</p> <p>【収集方法】 C0401 建物利用現況(市町調査)、建築確認申請から収集</p> <p>【調査基準日】平成 22 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日</p> <p>【留意事項】 前回の基礎調査実施後に行われた開発を対象とする。</p>																																																							
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>新築動向</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>新築動向_500m メッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>主な用途※1</th> <th>事業主体</th> <th>開発面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 C0302 土地利用現況の用途区分のうち対応するものを記入する。</p> <p>< 位置図 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントデータとして作成する。 ・市町村別に図面を作成する。  <p>● 住宅 ● 商業施設 ● 工業施設 ● 公共施設 ● その他</p> <p>■ 市街化区域 ■ 市街化調整区域 --- 行政区域</p> <p>・新築動向位置図凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築動向</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>住宅用地に転用</td> <td>240,240,80</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>商業用地に転用</td> <td>240,70,70</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>工業用地に転用</td> <td>80,80,140</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>公共施設用地に転用</td> <td>160,80,140</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>その他に転用</td> <td>230,190,220</td> <td>○ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	新築動向	点	②	新築動向_500m メッシュ	面	位置	主な用途※1	事業主体	開発面積	①			m ²	②				:				項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	新築動向			住宅用地に転用	240,240,80	○ 0,0,0	商業用地に転用	240,70,70	○ 0,0,0	工業用地に転用	80,80,140	○ 0,0,0	公共施設用地に転用	160,80,140	○ 0,0,0	その他に転用	230,190,220	○ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																																						
①	新築動向	点																																																						
②	新築動向_500m メッシュ	面																																																						
位置	主な用途※1	事業主体	開発面積																																																					
①			m ²																																																					
②																																																								
:																																																								
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																																						
新築動向																																																								
住宅用地に転用	240,240,80	○ 0,0,0																																																						
商業用地に転用	240,70,70	○ 0,0,0																																																						
工業用地に転用	80,80,140	○ 0,0,0																																																						
公共施設用地に転用	160,80,140	○ 0,0,0																																																						
その他に転用	230,190,220	○ 0,0,0																																																						
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																																						
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																																						
行政区域	なし	□ 0,0,0																																																						

集計方法

<集計表>

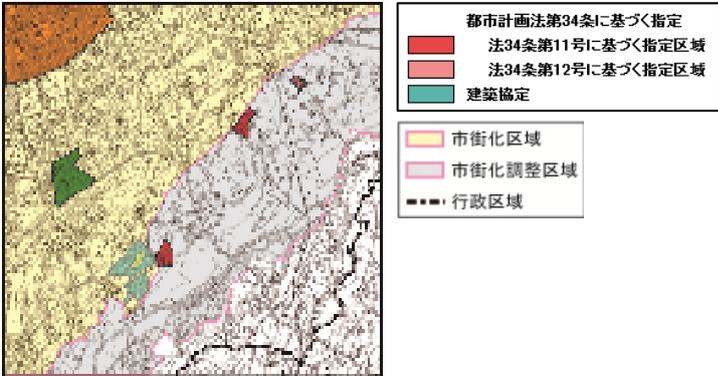
- 市町村別、建物用途別に件数、面積をとりまとめる。

	住宅用地		商業用地		工業用地		公益施設用地		その他	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成 22 年	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
平成 23 年										
平成 24 年										
平成 25 年										
平成 26 年										
平成 27 年										
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<メッシュデータ作成>

- H22 から H26 の 5 年間を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- 新築動向_500mメッシュの作成については、メッシュ毎に新築の件数、開発面積の合計を集計する。
- 新築動向の件数、面積は 5 年間の値を合計し、H22 から H26 を 1 期間として作成する。
- アンマッチになったポイントデータ(街区レベル等まで特定されたデータ)は、特定された区域のデータとして、メッシュに面積案分する。
- 区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。

	データ項目	高さ	色
①	C0307_新築動向_H22-H26_新築動向(件数)_区域区分	新築動向(件数)	区域区分
②	C0307_新築動向_H22-H26_新築動向の開発面積(合計)_区域区分	新築動向の開発面積(合計)	区域区分

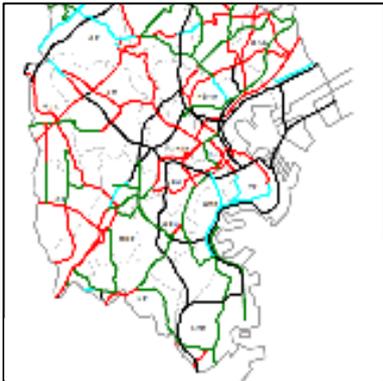
データ項目	C0308 条例・協定																																																					
収集方法	<p>【収集項目】 名称、公示・決定年月日、位置、面積、決定主体、概要、期限 ・調査内容は、建築協定、開発条例とする。</p> <p>【収集範囲】 福岡県(建築協定については、福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市を除く)</p> <p>【収集単位】 適用区域毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】 ・基礎調査実施時点で効力を有するもの全てを対象とする。</p>																																																					
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>建築協定</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>開発条例</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">公示・決定年月日</th> <th rowspan="2">面積</th> <th rowspan="2">決定主体 ※1</th> <th rowspan="2">面積 ※2</th> <th rowspan="2">概要</th> <th rowspan="2">期限 ※3</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初</th> <th>最終</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 都道府県による決定か市町村による決定かを区別する。 ※2 法規制が適用される区域を示す。 ※3 期限を限って定められたものである場合、その期限を記載する。</p> <p>< 位置図 ></p> <p>・市町村別に図面を作成する。</p>  <p>・条例・協定位置図凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>都市計画法第 34 条に基づく指定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>法 34 条第 11 号に基づく指定区域</td> <td>230,70,70</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>法 34 条第 12 号に基づく指定区域</td> <td>240,140,140</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>建築協定</td> <td>90,180,170</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	建築協定	面	②	開発条例	面	名称	公示・決定年月日		面積	決定主体 ※1	面積 ※2	概要	期限 ※3	備考	当初	最終				ha						項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	都市計画法第 34 条に基づく指定			法 34 条第 11 号に基づく指定区域	230,70,70	□ 0,0,0	法 34 条第 12 号に基づく指定区域	240,140,140	□ 0,0,0	建築協定	90,180,170	□ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																																				
①	建築協定	面																																																				
②	開発条例	面																																																				
名称	公示・決定年月日		面積	決定主体 ※1	面積 ※2	概要	期限 ※3	備考																																														
	当初	最終																																																				
			ha																																																			
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																																				
都市計画法第 34 条に基づく指定																																																						
法 34 条第 11 号に基づく指定区域	230,70,70	□ 0,0,0																																																				
法 34 条第 12 号に基づく指定区域	240,140,140	□ 0,0,0																																																				
建築協定	90,180,170	□ 0,0,0																																																				
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																																				
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																																				
行政区域	なし	□ 0,0,0																																																				
集計方法	—																																																					

④建物

データ項目	C0403 住宅の所有関係別、建て方別世帯数																																																																																																								
収集方法	<p>【収集項目】 住宅の所有関係別世帯数、住宅の建て方別世帯数</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 小地域毎</p> <p>【収集方法】 国勢調査から収集 ※地図で見る統計(統計GIS)[政府統計の総合窓口(独立行政法人統計センター)]が活用可能</p> <p>【調査基準日】 平成 22 年国勢調査</p> <p>【留意事項】</p>																																																																																																								
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="438 649 1380 772"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>住宅の所有関係別・建て方別世帯数</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>住宅の所有関係別・建て方別世帯数_500mメッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域毎に世帯数をとりまとめる。 <p>【住宅の所有関係別世帯数】</p> <table border="1" data-bbox="438 974 1348 1265"> <thead> <tr> <th rowspan="2">小地域</th> <th rowspan="2">住宅に居住する一般世帯数</th> <th colspan="6">住宅の所有関係別世帯数</th> </tr> <tr> <th>持ち家</th> <th>公営・都市機構・公社の借家</th> <th>民営の借家</th> <th>給与住宅</th> <th>間借り</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇一丁目</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>〇〇二丁目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大字〇〇</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【住宅の建て方別世帯数】</p> <table border="1" data-bbox="438 1332 1444 1624"> <thead> <tr> <th rowspan="2">小地域</th> <th rowspan="2">主世帯数</th> <th rowspan="2">一戸建</th> <th rowspan="2">長屋建</th> <th colspan="4">共同住宅</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>1・2階建</th> <th>3～5階建</th> <th>6～10階建</th> <th>11階建以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇〇一丁目</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>〇〇二丁目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大字〇〇</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	住宅の所有関係別・建て方別世帯数	面	②	住宅の所有関係別・建て方別世帯数_500mメッシュ	面	小地域	住宅に居住する一般世帯数	住宅の所有関係別世帯数						持ち家	公営・都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り	その他	〇〇一丁目	世帯	〇〇二丁目								:								大字〇〇								小地域	主世帯数	一戸建	長屋建	共同住宅				その他	1・2階建	3～5階建	6～10階建	11階建以上	〇〇一丁目	世帯	〇〇二丁目									:									大字〇〇																					
	データ項目	データ型																																																																																																							
①	住宅の所有関係別・建て方別世帯数	面																																																																																																							
②	住宅の所有関係別・建て方別世帯数_500mメッシュ	面																																																																																																							
小地域	住宅に居住する一般世帯数	住宅の所有関係別世帯数																																																																																																							
		持ち家	公営・都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り	その他																																																																																																		
〇〇一丁目	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯																																																																																																		
〇〇二丁目																																																																																																									
:																																																																																																									
大字〇〇																																																																																																									
小地域	主世帯数	一戸建	長屋建	共同住宅				その他																																																																																																	
				1・2階建	3～5階建	6～10階建	11階建以上																																																																																																		
〇〇一丁目	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯																																																																																																	
〇〇二丁目																																																																																																									
:																																																																																																									
大字〇〇																																																																																																									

集計方法	<p><集計表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村別、都市計画の区分毎に世帯数をとりまとめる。 ・集計は、小地域データの活用を基本とし、小地域の境界が区域区分の境界と合致しない場合には、床面積による按分を行い集計する。 <p>【住宅の所有関係別世帯数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">住宅に 居住する一般 世帯数</th> <th colspan="6">住宅の所有関係別世帯数</th> </tr> <tr> <th>持ち家</th> <th>公営・都市 機構・公社 の借家</th> <th>民営の 借家</th> <th>給与住 宅</th> <th>間借り</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街化区域</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市計画区域</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政区域全体</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【住宅の建て方別世帯数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">主 世帯数</th> <th rowspan="2">一戸建</th> <th rowspan="2">長屋建</th> <th colspan="4">共同住宅</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>1・2 階建</th> <th>3～5 階建</th> <th>6～10 階建</th> <th>11 階建 以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街化区域</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市計画区域外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政区域全体</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><メッシュデータ作成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の所有関係別・建て方別世帯数_500m メッシュの作成については、住宅の所有関係別・建て方別世帯数(小地域)の各世帯数をメッシュ毎に面積で案分し、集計する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>高さ</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_持ち家世帯数_持ち家世帯数密度</td> <td>持ち家世帯数</td> <td>持ち家世帯数密度</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_公営・都市機構・公社の借家世帯数_公営・都市機構・公社の借家世帯数密度</td> <td>公営・都市機構・公社の借家世帯数</td> <td>公営・都市機構・公社の借家世帯数密度</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_民営の借家世帯数_民営の借家世帯数密度</td> <td>民営の借家世帯数</td> <td>民営の借家世帯数密度</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_一戸建世帯数_一戸建世帯数密度</td> <td>一戸建世帯数</td> <td>一戸建世帯数密度</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_共同住宅世帯数_共同住宅世帯数密度</td> <td>共同住宅世帯数</td> <td>共同住宅世帯数密度</td> </tr> </tbody> </table>									住宅に 居住する一般 世帯数	住宅の所有関係別世帯数						持ち家	公営・都市 機構・公社 の借家	民営の 借家	給与住 宅	間借り	その他	市街化区域	世帯	市街化調整区								都市計画区域								行政区域全体									主 世帯数	一戸建	長屋建	共同住宅				その他	1・2 階建	3～5 階建	6～10 階建	11 階建 以上	市街化区域	世帯	市街化調整区									都市計画区域外									行政区域全体										データ項目	高さ	色	①	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_持ち家世帯数_持ち家世帯数密度	持ち家世帯数	持ち家世帯数密度	②	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_公営・都市機構・公社の借家世帯数_公営・都市機構・公社の借家世帯数密度	公営・都市機構・公社の借家世帯数	公営・都市機構・公社の借家世帯数密度	③	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_民営の借家世帯数_民営の借家世帯数密度	民営の借家世帯数	民営の借家世帯数密度	④	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_一戸建世帯数_一戸建世帯数密度	一戸建世帯数	一戸建世帯数密度	⑤	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_共同住宅世帯数_共同住宅世帯数密度	共同住宅世帯数	共同住宅世帯数密度													
		住宅に 居住する一般 世帯数	住宅の所有関係別世帯数																																																																																																																												
			持ち家	公営・都市 機構・公社 の借家	民営の 借家	給与住 宅	間借り	その他																																																																																																																							
	市街化区域	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯																																																																																																																							
	市街化調整区																																																																																																																														
	都市計画区域																																																																																																																														
	行政区域全体																																																																																																																														
		主 世帯数	一戸建	長屋建	共同住宅				その他																																																																																																																						
					1・2 階建	3～5 階建	6～10 階建	11 階建 以上																																																																																																																							
	市街化区域	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯																																																																																																																						
市街化調整区																																																																																																																															
都市計画区域外																																																																																																																															
行政区域全体																																																																																																																															
	データ項目	高さ	色																																																																																																																												
①	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_持ち家世帯数_持ち家世帯数密度	持ち家世帯数	持ち家世帯数密度																																																																																																																												
②	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_公営・都市機構・公社の借家世帯数_公営・都市機構・公社の借家世帯数密度	公営・都市機構・公社の借家世帯数	公営・都市機構・公社の借家世帯数密度																																																																																																																												
③	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_民営の借家世帯数_民営の借家世帯数密度	民営の借家世帯数	民営の借家世帯数密度																																																																																																																												
④	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_一戸建世帯数_一戸建世帯数密度	一戸建世帯数	一戸建世帯数密度																																																																																																																												
⑤	C0403_住宅の所有関係別、建て方別世帯数_H22_共同住宅世帯数_共同住宅世帯数密度	共同住宅世帯数	共同住宅世帯数密度																																																																																																																												

⑥交通

データ項目	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度																																																																		
収集方法	<p>【収集項目】 平日・休日 12 時間(24 時間)自動車類交通量、ピーク時間交通量(台/時)、大型車混入率、平均混雑度(平日)、混雑時平均旅行速度</p> <p>【収集範囲】 福岡県(主要幹線道路)</p> <p>【収集単位】 各路線・観測地点</p> <p>【収集方法】 全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)報告書から収集</p> <p>【調査基準日】平成 22 年度道路交通センサス</p> <p>【留意事項】</p>																																																																		
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>主要幹線</td> <td>線</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>観測地点名</th> <th>平日 12 時間交通量</th> <th>平日 24 時間交通量</th> <th>大型車混入率</th> <th>混雑度</th> <th>混雑時平均旅行速度</th> <th>位置図対応番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>台</td> <td>台</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>:</td> </tr> </tbody> </table> <p><混雑時平均旅行速度分布図></p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村別に図面を作成する。 <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>凡 例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">混雑時平均旅行速度 (平日、km/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: red; width: 15px;"></td> <td>20.0 未満</td> </tr> <tr> <td style="background-color: green; width: 15px;"></td> <td>20.0 ~ 24.9</td> </tr> <tr> <td style="background-color: cyan; width: 15px;"></td> <td>25.0 ~ 29.9</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; width: 15px;"></td> <td>30.0 以上</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>出典：都市計画道路網の見直しの方向(案)(平成 19 年 1 月)、横浜市</p> <ul style="list-style-type: none"> 混雑時平均旅行速度分布図凡例 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色指定(R,G,B)</th> <th>縁 色指定(R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>混雑時平均旅行速度(平日)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20.0 km/h 未満</td> <td style="background-color: red;">255,0,0</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>20.0 ~ 24.9 km/h</td> <td style="background-color: green;">0,128,0</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>25.0 ~ 29.9 km/h</td> <td style="background-color: cyan;">0,255,255</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>30.0 km/h 以上</td> <td style="background-color: black;">0,0,0</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	主要幹線	線	路線名	観測地点名	平日 12 時間交通量	平日 24 時間交通量	大型車混入率	混雑度	混雑時平均旅行速度	位置図対応番号			台	台	%			A								B								:	混雑時平均旅行速度 (平日、km/h)			20.0 未満		20.0 ~ 24.9		25.0 ~ 29.9		30.0 以上	項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)	混雑時平均旅行速度(平日)			20.0 km/h 未満	255,0,0	なし	20.0 ~ 24.9 km/h	0,128,0	なし	25.0 ~ 29.9 km/h	0,255,255	なし	30.0 km/h 以上	0,0,0	なし
	データ項目	データ型																																																																	
①	主要幹線	線																																																																	
路線名	観測地点名	平日 12 時間交通量	平日 24 時間交通量	大型車混入率	混雑度	混雑時平均旅行速度	位置図対応番号																																																												
		台	台	%			A																																																												
							B																																																												
							:																																																												
混雑時平均旅行速度 (平日、km/h)																																																																			
	20.0 未満																																																																		
	20.0 ~ 24.9																																																																		
	25.0 ~ 29.9																																																																		
	30.0 以上																																																																		
項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)																																																																	
混雑時平均旅行速度(平日)																																																																			
20.0 km/h 未満	255,0,0	なし																																																																	
20.0 ~ 24.9 km/h	0,128,0	なし																																																																	
25.0 ~ 29.9 km/h	0,255,255	なし																																																																	
30.0 km/h 以上	0,0,0	なし																																																																	
集計方法	—																																																																		

データ項目	C0602 自動車流動量																															
収集方法	<p>【収集項目】 トリップ数(車種別(乗用車、貨物車等))</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 市町村間・都道府県間トリップ毎</p> <p>【収集方法】 全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)(自動車起終点調査)報告書から収集</p> <p>【調査基準日】平成 22 年度道路交通センサス</p> <p>【留意事項】 データ利用の際は、各地方整備局の道路管理者に申請が必要。</p>																															
データ作成方法	◇収集範囲に該当するデータを原典資料より抽出。																															
集計方法	<p><集計表></p> <p>・車種別計、乗用車、貨物車等の車種分類毎に発着地別のトリップ数を取りまとめる。</p> <p style="text-align: right;">トリップ/日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">発地 \ 着地</th> <th colspan="3">〇〇県</th> <th>〇〇県</th> <th rowspan="2">...</th> </tr> <tr> <th>〇〇市</th> <th>〇〇市</th> <th>...</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">〇〇県</td> <td>〇〇市</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>〇〇市</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	発地 \ 着地		〇〇県			〇〇県	...	〇〇市	〇〇市	〇〇県	〇〇市						〇〇市										
発地 \ 着地				〇〇県			〇〇県		...																							
		〇〇市	〇〇市																											
〇〇県	〇〇市																															
	〇〇市																															
...	...																															

データ項目	C0603 鉄道・路面電車等の状況																																							
収集方法	<p>【収集項目】 路線・駅位置、運行本数(本/日(平日))、乗降客数(日平均)</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 路線・駅毎</p> <p>【収集方法】 運行本数、乗降客数は、各交通事業者資料から収集 路線及び駅の位置は、国土数値情報ダウンロードサービス(国土政策局)において提供される鉄道データの GIS データの活用が可能</p> <p>【調査基準日】国土数値情報、各交通事業者資料の時点</p> <p>【留意事項】</p>																																							
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <p>・ダウンロードしたデータをもとに GIS データを整備する。</p> <table border="1" data-bbox="408 696 1347 864"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>駅の状況</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>路線の状況</td> <td>線</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>駅利用圏_500m メッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1" data-bbox="403 943 1414 1043"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>駅名</th> <th>運営会社</th> <th>運行頻度(平日)</th> <th>乗降客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>本/日</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><路線・駅位置></p> <div data-bbox="408 1128 895 1509"> <p>凡例 鉄道駅 鉄道路線 ...</p> </div> <p>・路線・駅位置凡例</p> <table border="1" data-bbox="403 1563 1369 1664"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>面 パターン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道駅</td> <td>255,160,120</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄道路線</td> <td>255,255,255</td> <td>—</td> <td>破線</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	駅の状況	点	②	路線の状況	線	③	駅利用圏_500m メッシュ	面	路線名	駅名	運営会社	運行頻度(平日)	乗降客数				本/日	人						項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	面 パターン	鉄道駅	255,160,120			鉄道路線	255,255,255	—	破線
	データ項目	データ型																																						
①	駅の状況	点																																						
②	路線の状況	線																																						
③	駅利用圏_500m メッシュ	面																																						
路線名	駅名	運営会社	運行頻度(平日)	乗降客数																																				
			本/日	人																																				
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	面 パターン																																					
鉄道駅	255,160,120																																							
鉄道路線	255,255,255	—	破線																																					
集計方法	<p><メッシュデータ作成></p> <p>・H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。</p> <p>・駅利用圏はメッシュの端から一番近い鉄道駅までの直線距離を計測し、1km 圏内であるかを判定する。</p> <table border="1" data-bbox="408 1861 1453 1984"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>高さ</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>C0603_鉄道・路面電車等の状況_H28_駅利用圏</td> <td></td> <td>駅利用圏</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	高さ	色	①	C0603_鉄道・路面電車等の状況_H28_駅利用圏		駅利用圏																															
	データ項目	高さ	色																																					
①	C0603_鉄道・路面電車等の状況_H28_駅利用圏		駅利用圏																																					

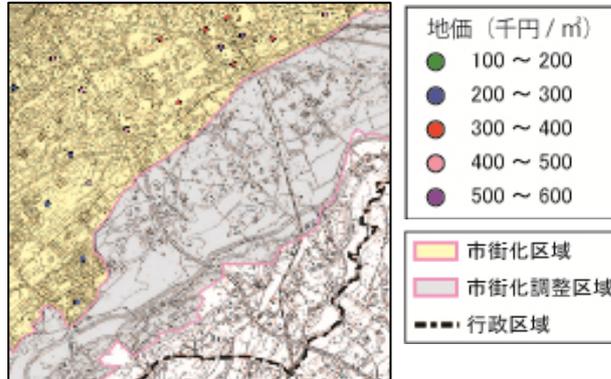
⑦地価

データ項目	C0701 地価の状況
収集方法	<p>【収集項目】 価格、用途</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 全地点</p> <p>【収集方法】 地価公示、都道府県地価調査から収集</p> <p>※国土数値情報ダウンロードサービス(国土政策局)の地価公示(点)、都道府県地価調査(点)の GIS データの活用が可能</p> <p>【調査基準日】 平成 19 年から 28 年の 10 年間、各年 1 月 1 日、7 月 1 日。</p> <p>【留意事項】</p>

データ作成方法	<p><ダウンロードデータ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>地価公示_平成 19 年度 ～地価公示_平成 28 年度</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>都道府県地価調査_平成 19 年度 ～都道府県地価調査_平成 28 年度</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p><GIS データ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>地価の状況_500m メッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>価格 (円/ m²)</th> <th>用途※1</th> <th>出典 (公示地価・ 都道府県 地価調査 の別)</th> <th>H18 価格 (円/ m²)</th> <th>...</th> <th>H27 価格 (円/ m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>※1 用途は住宅地、商業地、工業地、準工業地、住宅見込地、市街化調整区域内の現況住宅地、林地に区分する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公示地価・都道府県地価調査の用途区分</th> <th>都市計画上の用途地域との対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅地</td> <td>市街化調整区域を除く都市計画区域内の ・第一種低層住居専用地域 ・第二種低層住居専用地域 ・第一種中高層住居専用地域 ・第二種中高層住居専用地域 ・第一種住居地域 ・第二種住居地域 において、居住用の建物の敷地に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、居住用の建物の敷地の用に供されている土地</td> </tr> <tr> <td>宅地見込地</td> <td>市街化調整区域を除く都市計画区域内の第一種住居地域等のうち、現に大部分の土地が農地、採草放牧地、林地等として利用されており、かつ、将来において、市街化されることが、社会的にみて合理的とみられる地域内の宅地化されていない土地のこと</td> </tr> <tr> <td>商業地</td> <td>市街化調整区域を除く都市計画区域内の ・準住居地域 ・近隣商業地域 ・商業地域 において、商業用の建物の敷地の用に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、商業用の建物の敷地の用に供されている土地</td> </tr> <tr> <td>準工業地</td> <td>市街化調整区域を除く都市計画区域内の準工業地域内において、居住用若しくは商業用の建物又は工場等の敷地の用に供されている土地</td> </tr> <tr> <td>工業地</td> <td>市街化調整区域を除く都市計画区域内の工業地域及び工業専用地域において、工場等の敷地の用に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、工場等の敷地の用に供されている土地</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域内の現況住宅地</td> <td>市街化調整区域内において、居住用又は商業用の建物の敷地の用に供されている土地</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域内の現況林地(地価公示のみ)</td> <td>市街化調整区域にある現在林地となっている土地</td> </tr> <tr> <td>林地(地価調査のみ)</td> <td>市街化区域外における次に掲げる林地 ① 都市近郊林地/② 農村林地/③ 林業本場林地/</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	地価公示_平成 19 年度 ～地価公示_平成 28 年度	点	②	都道府県地価調査_平成 19 年度 ～都道府県地価調査_平成 28 年度	点		データ項目	データ型	①	地価の状況_500m メッシュ	面	地点	価格 (円/ m ²)	用途※1	出典 (公示地価・ 都道府県 地価調査 の別)	H18 価格 (円/ m ²)	...	H27 価格 (円/ m ²)																						公示地価・都道府県地価調査の用途区分	都市計画上の用途地域との対応	住宅地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の ・第一種低層住居専用地域 ・第二種低層住居専用地域 ・第一種中高層住居専用地域 ・第二種中高層住居専用地域 ・第一種住居地域 ・第二種住居地域 において、居住用の建物の敷地に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、居住用の建物の敷地の用に供されている土地	宅地見込地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の第一種住居地域等のうち、現に大部分の土地が農地、採草放牧地、林地等として利用されており、かつ、将来において、市街化されることが、社会的にみて合理的とみられる地域内の宅地化されていない土地のこと	商業地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の ・準住居地域 ・近隣商業地域 ・商業地域 において、商業用の建物の敷地の用に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、商業用の建物の敷地の用に供されている土地	準工業地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の準工業地域内において、居住用若しくは商業用の建物又は工場等の敷地の用に供されている土地	工業地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の工業地域及び工業専用地域において、工場等の敷地の用に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、工場等の敷地の用に供されている土地	市街化調整区域内の現況住宅地	市街化調整区域内において、居住用又は商業用の建物の敷地の用に供されている土地	市街化調整区域内の現況林地(地価公示のみ)	市街化調整区域にある現在林地となっている土地	林地(地価調査のみ)	市街化区域外における次に掲げる林地 ① 都市近郊林地/② 農村林地/③ 林業本場林地/
	データ項目	データ型																																																												
①	地価公示_平成 19 年度 ～地価公示_平成 28 年度	点																																																												
②	都道府県地価調査_平成 19 年度 ～都道府県地価調査_平成 28 年度	点																																																												
	データ項目	データ型																																																												
①	地価の状況_500m メッシュ	面																																																												
地点	価格 (円/ m ²)	用途※1	出典 (公示地価・ 都道府県 地価調査 の別)	H18 価格 (円/ m ²)	...	H27 価格 (円/ m ²)																																																								
公示地価・都道府県地価調査の用途区分	都市計画上の用途地域との対応																																																													
住宅地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の ・第一種低層住居専用地域 ・第二種低層住居専用地域 ・第一種中高層住居専用地域 ・第二種中高層住居専用地域 ・第一種住居地域 ・第二種住居地域 において、居住用の建物の敷地に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、居住用の建物の敷地の用に供されている土地																																																													
宅地見込地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の第一種住居地域等のうち、現に大部分の土地が農地、採草放牧地、林地等として利用されており、かつ、将来において、市街化されることが、社会的にみて合理的とみられる地域内の宅地化されていない土地のこと																																																													
商業地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の ・準住居地域 ・近隣商業地域 ・商業地域 において、商業用の建物の敷地の用に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、商業用の建物の敷地の用に供されている土地																																																													
準工業地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の準工業地域内において、居住用若しくは商業用の建物又は工場等の敷地の用に供されている土地																																																													
工業地	市街化調整区域を除く都市計画区域内の工業地域及び工業専用地域において、工場等の敷地の用に供されている土地並びに用途指定のされていない都市計画区域及び都市計画区域外において、工場等の敷地の用に供されている土地																																																													
市街化調整区域内の現況住宅地	市街化調整区域内において、居住用又は商業用の建物の敷地の用に供されている土地																																																													
市街化調整区域内の現況林地(地価公示のみ)	市街化調整区域にある現在林地となっている土地																																																													
林地(地価調査のみ)	市街化区域外における次に掲げる林地 ① 都市近郊林地/② 農村林地/③ 林業本場林地/																																																													

<位置図>

- ・用途別に地点毎の地価に応じて色を区分して作図する。
- ・市町村別に図面を作成する。



・地価の状況位置図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
地価(千円/m ²)		
100 ~ 200	70,140,60	○ 0,0,0
200 ~ 300	80,80,150	○ 0,0,0
300 ~ 400	230,70,50	○ 0,0,0
400 ~ 500	240,150,160	○ 0,0,0
500 ~ 600	140,70,140	○ 0,0,0
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230
行政区域	なし	□ 0,0,0

集計方法

<集計表>

- ・市町村別、市街化区域、市街化調整区域、都市計画区域外の用途区分別調査箇所の平均値を集計する。

円/m²

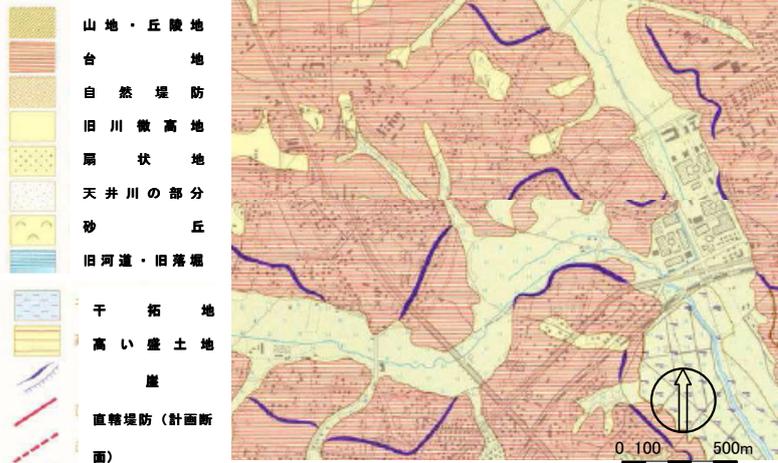
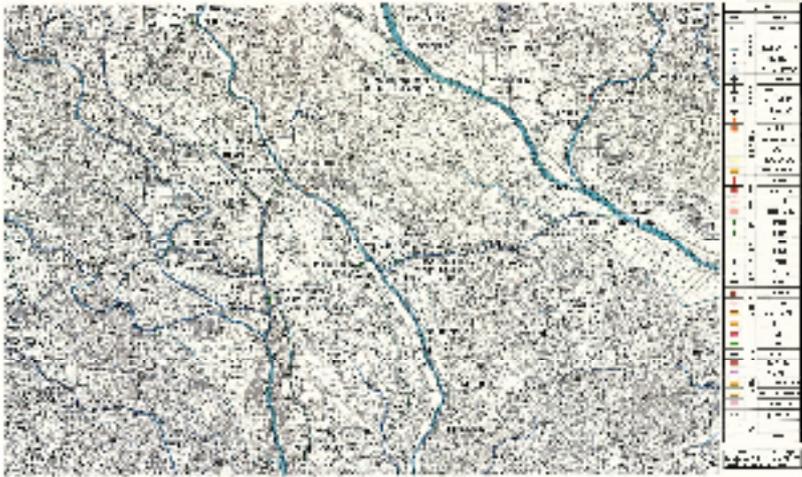
		住宅地	商業地	工業地	準工業地	宅地見込地	林地
都市計画区域	市街化区域						
	市街化調整区域		—	—	—	—	
都市計画区域外			—	—	—	—	

<メッシュデータ作成>

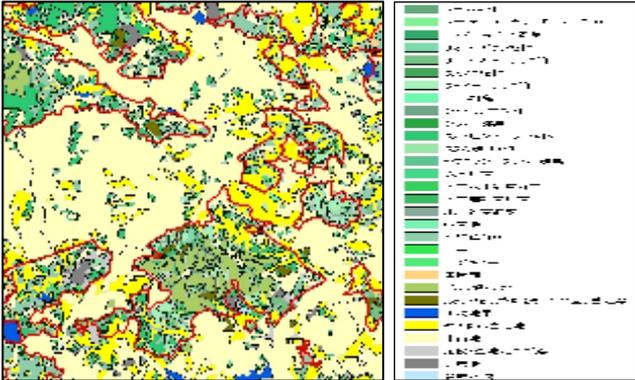
- ・H19-28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- ・地価の状況_500m メッシュの作成については、メッシュ毎に住宅地の平均値を集計する。
- ・データがないメッシュについては補間する。

	データ項目	高さ	色
①	C0701_地価の状況_H19-28_住宅地の価格(平均)_住宅地の価格区分	住宅地の価格(平均)	住宅地の価格区分

⑧自然的環境等

データ項目	C0801 地形・水系・地質条件
収集方法	<p>【収集項目】 位置、名称</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 水系、急傾斜地、活断層、地質毎</p> <p>【収集方法】 地形については、土地条件図（国土地理院のHPより入手可能）、治水地形分類図（国土地理院のHPより入手可能）、土地分類基本調査（国土政策局国土情報課のHPより入手可能）をもとに整理する。水系については、主要水系調査（一級水系）利水現況図（国土政策局国土情報課の主要水系調査成果閲覧システム）をもとに整理する。地質条件は土地分類基本調査（表層地質図、土壌分布図）（国土政策局国土情報課のHPより入手可能）をもとに整理する。</p> <p>【調査基準日】 土地条件図、治水地形分類図、土地分類基本調査について、最新の資料を用いる。</p> <p>【留意事項】 ・短期的に変化するデータでは無いことから、前回調査から大規模な地形改変のあった場合などに、必要に応じて更新を行う。</p>
データ作成方法	<p><位置図></p> <p>・市町村別に図面を作成する。</p> <p>【地形図】(治水地形分類図)</p>  <p> 山地・丘陵地 台地 自然堤防 旧川微高地 扇状地 天井川の部分 砂丘 旧河道・旧落堀 干拓地 高い盛土地 崖 直轄堤防(計画断面) </p> <p>【水系図】(主要水系調査(一級水系)利水現況図)</p> 
集計方法	—

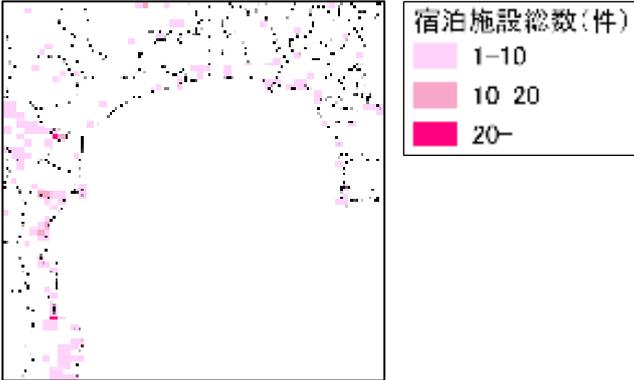
データ項目	C0802 気象状況																																														
収集方法	<p>【収集項目】 気温、風向、風速、降水量 等</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 観測点毎</p> <p>【収集方法】 気象庁の観測データ、大気汚染常時監視測定局の測定データ等から収集</p> <p>【調査基準日】 平成 23 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までの 5 年間。</p> <p>【留意事項】 ヒートアイランド現象や水害対策に関する検討など、検討の目的に応じて時間帯別などのデータを収集することも考えられる。</p>																																														
データ作成方法	<p><調書></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">降水量(mm)</th> <th colspan="3">気温(°C)</th> <th colspan="2">風向・風速(m/s)</th> </tr> <tr> <th>総量</th> <th>1時間最大</th> <th>平均</th> <th>最高</th> <th>最低</th> <th>平均風速</th> <th>最多風向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○年○月○日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									降水量(mm)		気温(°C)			風向・風速(m/s)		総量	1時間最大	平均	最高	最低	平均風速	最多風向	○年○月○日								:															
	降水量(mm)		気温(°C)			風向・風速(m/s)																																									
	総量	1時間最大	平均	最高	最低	平均風速	最多風向																																								
○年○月○日																																															
:																																															
集計表作成方法	—																																														

データ項目	C0805 動植物調査												
収集方法	<p>【収集項目】 植物の分布状況、動物の分布状況(任意)</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 種又は分類群毎</p> <p>【収集方法】 自然環境保全基礎調査結果〔環境省 HP〕の GIS データ(1/50,000、1/25,000 植生図)から収集。</p> <p>【調査基準日】 自然環境保全基礎調査結果の最新時点を用いる</p> <p>【留意事項】 ・動物の分布状況については、任意項目とし、自然環境保全基礎調査の動植物分布調査(生物多様性調査 種の多様性調査)の活用や、個々の地方公共団体の環境部局等で調査を実施している場合、その成果を引用する。</p>												
データ作成方法	<p><ダウンロードデータ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 60%;">データ項目</th> <th style="width: 30%;">データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td>自然環境保全基礎調査結果</td> <td style="text-align: center;">面</td> </tr> </tbody> </table> <p><植生図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全基礎調査(植生調査)を活用し、種類、群集、群落等別に図上に記載する。 <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>凡例</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 30%;">面 色指定(R,G,B)</th> <th style="width: 30%;">縁 色指定(R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街化区域</td> <td style="text-align: center;">なし</td> <td style="text-align: center;"> ■ 255, 0, 0 </td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>・凡例については、GIS データと合わせてダウンロードする lyr ファイルと同じ色を設定する。但し、以下の項目については、別途、色を設定する。</p> <p><動物分布図>(任意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の分布については、鳥類、哺乳類、昆虫等の情報等を収集し、可能であれば生息の分布範囲も整理する。 		データ項目	データ型	①	自然環境保全基礎調査結果	面	項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)	市街化区域	なし	■ 255, 0, 0
	データ項目	データ型											
①	自然環境保全基礎調査結果	面											
項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)											
市街化区域	なし	■ 255, 0, 0											
集計方法	—												

⑨公害及び災害

データ項目	C0901 災害の発生状況																											
収集方法	<p>【収集項目】 水害・震災・土砂災害等に関する災害リスク情報</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 災害の種別毎</p> <p>【収集方法】 既往災害:庁内資料から収集</p> <p>※がけ崩れ発生状況は、国土数値情報ダウンロードサービスの土砂災害・雪崩メッシュデータを活用し、発生回数に関し、5kmメッシュ単位の作図が可能。</p> <p>【調査基準日】国土数値情報の最新時点を用いる</p> <p>【留意事項】</p>																											
データ作成方法	<p><ダウンロードデータ></p> <table border="1" data-bbox="440 692 1378 777"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>土砂災害・雪崩メッシュデータ_平成23年度</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><がけ崩れ発生回数図></p> <ul style="list-style-type: none"> がけ崩れ発生状況は、国土数値情報の土砂災害・雪崩メッシュデータを活用し、発生回数に関し、5kmメッシュ単位の図面を作成する。 福岡県全域を1枚の図面に作成する。 <div data-bbox="459 981 1145 1373"> <p>がけ崩れ発生回数(H18-H21)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-3 3-5 5-10 10-15 15- </div> <p>・がけ崩れ発生回数図凡例</p> <table border="1" data-bbox="437 1453 1422 1688"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がけ崩れ発生回数(H18-H21)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 - 3</td> <td>255,240,230</td> <td>□ 150,150,150</td> </tr> <tr> <td>3 - 5</td> <td>255,220,190</td> <td>□ 150,150,150</td> </tr> <tr> <td>5 - 10</td> <td>255,160,130</td> <td>□ 150,150,150</td> </tr> <tr> <td>10 - 15</td> <td>230,50,40</td> <td>□ 150,150,150</td> </tr> <tr> <td>15 -</td> <td>100,0,10</td> <td>□ 150,150,150</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	土砂災害・雪崩メッシュデータ_平成23年度	面	項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	がけ崩れ発生回数(H18-H21)			1 - 3	255,240,230	□ 150,150,150	3 - 5	255,220,190	□ 150,150,150	5 - 10	255,160,130	□ 150,150,150	10 - 15	230,50,40	□ 150,150,150	15 -	100,0,10	□ 150,150,150
	データ項目	データ型																										
①	土砂災害・雪崩メッシュデータ_平成23年度	面																										
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																										
がけ崩れ発生回数(H18-H21)																												
1 - 3	255,240,230	□ 150,150,150																										
3 - 5	255,220,190	□ 150,150,150																										
5 - 10	255,160,130	□ 150,150,150																										
10 - 15	230,50,40	□ 150,150,150																										
15 -	100,0,10	□ 150,150,150																										
集計方法	—																											

⑩景観・歴史資源等

データ項目	C1001 観光の状況																					
収集方法	<p>【収集項目】 観光入込客数(目的別、居住地別、宿泊・日帰り別等) 観光消費額(目的別、居住地別、宿泊・日帰り別等) 宿泊施設総数、収容人数、客室数</p> <p>【収集範囲】 福岡県</p> <p>【収集単位】 市町村、観光地点毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料から収集</p> <p>【調査基準日】 平成23年1月1日から平成27年12月31日までの5年間</p> <p>【留意事項】 ・宿泊施設総数、収容人数、客室数については、国土数値情報ダウンロードサービスの宿泊容量メッシュデータの活用が可能。</p>																					
データ作成方法	<p><ダウンロードデータ></p> <table border="1" data-bbox="432 694 1370 779"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>宿泊容量メッシュデータ_平成22年度</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><宿泊施設総数メッシュ図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土数値情報の宿泊容量メッシュデータを活用し、宿泊施設総数、収容人数、客室数に関し、3次メッシュ単位の図面を作成する。 ・福岡県全域を1枚の図面に作成する。  <p>・宿泊施設総数メッシュ図凡例</p> <table border="1" data-bbox="432 1415 1216 1581"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色指定 (R,G,B)</th> <th>縁 色指定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊施設総数(件)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 - 10</td> <td>255,210,255</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>10 - 20</td> <td>250,170,200</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>20 -</td> <td>255,0,128</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	宿泊容量メッシュデータ_平成22年度	面	項目	面 色指定 (R,G,B)	縁 色指定 (R,G,B)	宿泊施設総数(件)			1 - 10	255,210,255	なし	10 - 20	250,170,200	なし	20 -	255,0,128	なし
	データ項目	データ型																				
①	宿泊容量メッシュデータ_平成22年度	面																				
項目	面 色指定 (R,G,B)	縁 色指定 (R,G,B)																				
宿泊施設総数(件)																						
1 - 10	255,210,255	なし																				
10 - 20	250,170,200	なし																				
20 -	255,0,128	なし																				

集計方法

<集計表>

【観光入込客数・消費額】

市町村別に、入込客数、消費額を集計する。

●観光目的

年次	入込客数		消費額	
	県内居住 (宿泊/日帰)	県外居住 (宿泊/日帰)	県内居住 (宿泊/日帰)	県外居住 (宿泊/日帰)
平成 23 年	人/ 人	人/ 人	円/ 円	円/ 円
平成 24 年				
平成 25 年				
平成 26 年				
平成 27 年				

●ビジネス目的

年次	入込客数		消費額	
	県内居住 (宿泊/日帰)	県外居住 (宿泊/日帰)	県内居住 (宿泊/日帰)	県外居住 (宿泊/日帰)
平成 23 年	人/ 人	人/ 人	円/ 円	円/ 円
平成 24 年				
平成 25 年				
平成 26 年				
平成 27 年				

【宿泊施設の状況】

年次	宿泊施設総数	収容人数	客室数
平成 23 年	人	人	室
平成 24 年			
平成 25 年			
平成 26 年			
平成 27 年			

<メッシュデータ作成>

- ・H22 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- ・宿泊容量メッシュデータ_平成 22 年度について、1kmメッシュで整理する。

	データ項目	高さ	色
①	C1001 観光の状況_H22_収容人数_収容人数	収容人数	収容人数

平成28年度都市計画基礎調査

実施要領

(市町調査)

福岡県

目次

1. 調査項目一覧.....	3-1-74
2. 作成要領.....	3-1-75
(1) 図書作成の共通仕様.....	3-1-75
(2) データ品質.....	3-1-84
(3) 提出形式.....	3-1-86
3. 実施要領.....	3-1-88

1. 調査項目一覧

平成 28 年度都市計画基礎調査 調査項目一覧表

調査項目		調査主体	
分野	調査名	県	市町
0 区域	行政区域		○
	都市計画区域		○
	区域区分(市街化区域、市街化調整区域)		○
	用途地域		○
1 人口	C0101 人口規模	○	○
	C0102 DID	○	
	C0103 将来人口	○	
	C0104 人口増減	○	○
	C0105 通勤・通学移動	○	
	C0106 昼間人口	○	
2 産業	C0201 産業・職業分類別就業者数	○	
	C0202 事業所数・従業者数・売上金額	○	
3 土地利用	C0301 区域区分の状況	○	
	C0302 土地利用現況		○
	C0303 国公有地の状況		○
	C0304 宅地開発状況	○	○
	C0305 農地転用状況	○	
	C0306 林地転用状況	○	
	C0307 新築動向	○	
	C0308 条例・協定	○	○
	C0309 農林漁業関係施策適用状況		○
4 建物	C0401 建物利用現況		○
	C0402 大規模小売店舗等の立地状況		○
	C0403 住宅の所有関係別・建て方別世帯数	○	
5 都市施設	C0501 都市施設の位置・内容等		○
	C0502 道路の状況		○
6 交通	C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	○	
	C0602 自動車流動量	○	
	C0603 鉄道・路面電車等の状況	○	
	C0604 バスの状況		○
7 地価	C0701 地価の状況	○	
8 自然環境等	C0801 地形・水系・地質条件	○	
	C0802 気象調査	○	
	C0804 レクリエーション施設の状況		○
	C0805 動植物調査	○	
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	○	○
	C0902 防災拠点・避難場所の位置		○
	C0903 公害の発生状況		○
10 景観・歴史資源等	C1001 観光の状況	○	
	C1002 景観・歴史資源等の状況		○
	C1003 市街地の形成		○

2. 作成要領

(1) 図書作成の共通仕様

1) 調書の作成

- ・別途配布する「平成 28 年度都市計画基礎調査 調書データ」のエクセルファイル (xls 形式) にて作成するものとします。(xlsx 形式は使用しない。)
- ・ファイル名は、市町村コード_市町村名基礎調査調書_H○○.xls とします。
(例 201_福岡市基礎調査調書_H28.xls) ※数字、記号は半角
- ・シート名は配布するエクセルのシート名を使用する。シートを追加する場合、シート名は調査項目_調書名とします。
- ・調書ファイルにおいて入力する行が不足する場合は、適宜挿入するものとします。
- ・列の追加及び削除、セルの結合は行わないものとします。
- ・特に記載がない場合は、㎡の表示は 1 ㎡未満を切り捨て、ha、%の表示は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示することとします。

調書一覧表

調査項目		調書名
分野	調査名	
1 人口	C0101 人口規模	C0101 人口規模 調書
		C0101 人口規模 集計表
	C0104 人口増減	C0104 人口増減 調書
		C0104 人口増減 集計表
3 土地利用	C0302 土地利用現況	C0302 用途別土地利用面積集計表
		C0302 緑の状況集計表
	C0303 国公有地の状況	C0303 国公有地の状況 調書
	C0304 宅地開発状況	C0304 宅地開発状況 調書
		C0304 宅地開発状況 集計表
C0308 条例・協定	C0308 条例・協定 調書	
C0309 農林漁業関係施策適用状況	C0309 農林漁業関係施策適用状況 調書	
4 建物	C0401 建物利用現況	C0401 建物利用現況 調書
		C0401 建物利用現況 集計表
	C0402 大規模小売店舗等の立地状況	C0402 集客施設調書(商業・娯楽施設 1)
		C0402 集客施設調書(商業・娯楽施設 2)
		C0402 集客施設調書(公共施設)
		C0402 集客施設調書(病院)
		C0402 集客施設調書(福祉施設)
C0402 集客施設調書(大学等)		
5 都市施設	C0501 都市施設の位置・内容等	C0501 都市施設の位置・内容等 調書
	C0502 道路の状況	C0502 道路の状況 集計表
6 交通	C0604 バスの状況	C0604 乗降客数 調書
		C0604 運行状況 調書
8 自然環境等	C0804 レクリエーション施設の状況	C0804 レクリエーション施設の状況 調書
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	C0901 災害の発生状況調書 水害(外水)
		C0901 災害の発生状況調書 水害(内水)
		C0901 災害の発生状況調書 土砂災害
	C0902 防災拠点・避難場所の位置	C0902 防災拠点・避難場所調書
C0903 公害の発生状況	C0903 公害の発生状況 調書	
10 景観・歴史資源等	C1002 景観・歴史資源等の状況	C1002 景観・歴史資源等の状況 調書

2) 図面の作成

- ・色彩の設定値については、都市計画基礎調査実施要領に示す値を用いることとします。
- ・表示方法で「塗りつぶし」とあるものについては、地形がわかるように透過色の着彩とします。
- ・都市計画区域や区域区分、地区界などの境界線の表示については、図上での視認性に配慮し、適当な線幅を設定することとします。
- ・図面タイトル及び凡例は、図面の表示内容が確認できるよう、すべての図面に配置することとします。
- ・図面对照番号など、図中に表示する文字は、原寸図面（A0判、A1判）において、適切なサイズにて表示することとします。

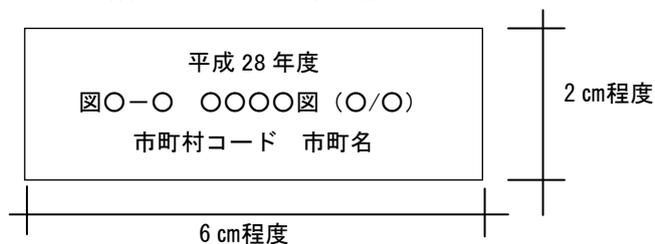
①図面（データ）の作成

- ・図面は、縮尺に応じた図面サイズ（A0判、A1判）のPDFファイルとします。
- ・ファイル名は、「図面一覧表」に示す名称の先頭に「市町村コード+市町名」を付すものとします。
（例 130 福岡市_C0302_土地利用現況図.pdf） ※数字、記号は半角
- ・建物用途現況図等、図面が複数枚になる場合であっても、1ファイルにまとめて作成します。

②図面（紙）の作成

- ・作成した図面データを、A3判用紙に縮小カラー印刷します。

図面タイトル作成イメージ（A3判図面でのサイズ）



図面一覧表

調査項目		図面名
分野	調査名	
1 人口	C0101 人口規模	C0101 人口分布図
	C0104 人口増減	C0104 人口増減分布図
3 土地利用	C0302 土地利用現況	C0302 土地利用現況図
		C0302 緑被分布図
	C0303 国公有地の状況	C0303 国公有地の状況 位置図
	C0304 宅地開発状況	C0304 宅地開発状況 位置図
	C0308 条例・協定	C0308 条例・協定 位置図
	C0309 農林漁業関係施策適用状況	C0309 農林漁業関係施策適用状況 位置図
4 建物	C0401 建物利用現況	C0401 建物利用現況 位置図
		C0401 建物利用現況図
		C0401 建物階数別現況図
		C0401 建物構造別現況図
		C0401 建築年別現況図
	C0402 大規模小売店舗等の立地状況	C0402 商業娯楽施設立地現況図 1
		C0402 商業娯楽施設立地現況図 2
		C0402 公共施設立地現況図
		C0402 病院立地現況図
		C0402 福祉施設立地現況図
5 都市施設	C0501 都市施設の位置・内容等	C0501 整備状況図
	C0502 道路の状況	C0502 道路幅員現況図
		C0502 道路管理者別現況図
6 交通	C0604 バスの状況	C0604 路線図
8 自然環境等	C0804 レクリエーション施設の状況	C0804 レクリエーション施設の状況 位置図
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	C0901 災害の発生状況 位置図
	C0902 防災拠点・避難場所の位置	C0902 防災拠点・避難場所の位置 位置図
	C0903 公害の発生状況	C0903 公害の発生状況 位置図
10 景観・歴史資源等	C1002 景観・歴史資源等の状況	C1002 景観・歴史資源等の状況 位置図
	C1003 市街地の形成	C1003 市街地変遷図

3) GISデータの作成

- ・世界測地系第2系で作成します。
- ・提出データは、GISデータ (*.shp、*.dbf、*.shx、*.prj、*.lyr の5ファイル) とする。
- ・*.lyr (レイヤファイル) はシンボルの形状や色・ラベルのフォントサイズ等の表示に関する情報を保存しているファイルである。相対パスで保存し、同じフォルダのshpファイルを読み込むように設定します。
- ・データ定義書等の作成についての詳細は、「福岡県都市計画基礎調査データベース製品仕様書」に基づき作成します。
- ・ファイル名は、「GISデータ及びメタデータ一覧表」に示す「GISデータ、メタデータ」とします。
(例 C03021_土地利用現況.shp) ※数字、記号は半角

4) メタデータの作成

- G I Sデータについてのメタデータ (*.xml) を JMP2.0 に準拠し作成します。
- メタデータの記載項目は、「福岡県都市計画基礎調査データベース製品仕様書」に示す「メタデータ記載項目一覧表」に則り作成します。
- ファイル名は、「G I Sデータ及びメタデータ一覧表」に示す「G I Sデータ、メタデータ」とします。

(例 C03021_土地利用現況.xml) ※数字、記号は半角

GIS データ、メタデータ一覧表

調査項目		GIS データ、メタデータ
分野	調査名	
0 区域		行政区域(面)
		都市計画区域(面)
		区域区分(面)
		用途地域(面)
1 人口	C0101 人口規模	C01001_住民基本台帳集計_H〇〇(面)
	C0104 人口増減	
3 土地利用	C0302 土地利用現況	C03021_土地利用現況(面)
	C0303 国公有地現況	C03031_国公有地現況(面)
	C0304 宅地開発状況	C03041_宅地開発状況(面)
		C03042_宅地開発状況(点)
		C03043_開発許可_点
	C0308 条例・協定	C03081_景観協定(面)
		C03082_緑地協定(面)
		C03083_建築協定(面)
	C0309 農林漁業関係施策適用状況	C03091_農林漁業関係施策(面)
C03092_農林漁業関係施策に関する施設(点)		
C03093_農林漁業関係施策に関する施設(線)		
4 建物	C0401 建物利用現況	C04011_建物用途(面)
	C0402 大規模小売店舗等の立地状況	C04021_集客施設立地現況_商業・娯楽施設(面)
		C04022_集客施設立地現況_商業・娯楽施設(面)
		C04023_集客施設立地現況_公共施設(面)
		C04024_集客施設立地現況_病院(面)
		C04025_集客施設立地現況_福祉施設(面)
		C04026_集客施設立地現況_大学等(面)
5 都市施設	C0501 都市施設の位置・内容等	C05011_都市施設の整備状況(面)
		C05012_都市施設の整備状況(線)
		C05013_都市施設の整備状況(点)
	C0502 道路の状況	C05021_道路網(線)
6 交通	C0604 バスの状況	C06041_バス路線
		C06042_バス停
		C06043_バス利用圏_500m メッシュ
8 自然環境等	C0804 レクリエーション施設の状況	C08041_レクリエーション施設(面)
		C08042_レクリエーション施設(線)
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	C09011_既往水害の被害区域(面)
		C09012_がけ崩れ・地滑りの発生地点(点)
	C0902 防災拠点・避難場所の位置	C09021_防災拠点・避難場所の位置(点)
	C0903 公害の発生状況	C09031_公害現況(点)
10 景観・歴史資源等	C1002 景観・歴史資源等の状況	C10021_景観・歴史資源等の状況(面)
		C10022_景観・歴史資源等の状況(線)
		C10023_景観・歴史資源等の状況(点)
	C1003 市街地の変遷	C10031_市街地の形成(面)

5) メッシュデータの作成

- ・調査結果について 500mメッシュ単位に集計したメッシュデータを作成します。
- ・メッシュデータ一覧表に示す全ての項目について、メッシュデータを作成するものとし、作成したメッシュデータは都市構造可視化サイト (<http://mieruka.city/>) 等を利用して調査結果を公開します。なお、調査結果の公開については、提出形式において後述します。
- ・メッシュデータのフォーマットは CSV 形式とし、各列には「メッシュデータフォーマット」に示す内容を記載し、1 行目には列名を記載するものとします。
- ・ファイル名は、「メッシュデータ一覧表」に示す「調査名」と年度、「高さ」、「色」をアンダーバーでつなぐものとします。

(例 C0101_人口規模_住民基本台帳人口総数_H28_住民基本台帳人口総数密度.csv) ※数字、記号は半角

- ・「メッシュデータ」の「色」における区域区分はメッシュ内の一番面積が広い区域区分の分類コードを入力するものとし、分類コードは「区域区分分類コード表」に示す値とします。
- ・1 つの GIS データが複数のメッシュに跨る場合に、特に記載がない場合は、件数については GIS データの幾何学的重心位置を基準に集計し、合計については GIS データと各メッシュが重なる面積で按分するものとします。

メッシュデータ一覧表

調査項目		メッシュデータ		公開区分
分野	調査名	高さ	色	
1 人口	C0101 人口規模	住民基本台帳人口総数	住民基本台帳人口総数密度	必須
		住民基本台帳人口総数	区域区分	必須
		住民基本台帳人口(5歳別)	住民基本台帳人口密度(5歳別)	必須
	C0104 人口増減	人口増減(5年間の合計)の絶対数	人口増減(5年間の合計)	必須
		自然増減(5年間の合計)の絶対数	自然増減(5年間の合計)	必須
		社会増減(5年間の合計)の絶対数	社会増減(5年間の合計)	必須
3 土地利用	C0302 土地利用現況	未利用宅地の図上計測面積(合計)	区域区分	必須
		緑被地面積(合計)	区域区分	必須
	C0304 宅地開発状況	宅地開発状況(件数)	区域区分	任意
		宅地開発状況の面積(合計)	区域区分	任意
		宅地開発状況における住宅用地の面積(合計)	区域区分	任意
		宅地開発状況における商業用地の面積(合計)	区域区分	任意
		宅地開発状況における工業用地の面積(合計)	区域区分	任意
		宅地開発状況における公益施設用地の面積(合計)	区域区分	任意
		開発許可(件数)	区域区分	任意
		開発許可の面積(合計)	区域区分	任意
		開発許可における住宅用地の面積(合計)	区域区分	任意
		開発許可における商業用地の面積(合計)	区域区分	任意
		開発許可における工業用地の面積(合計)	区域区分	任意
		開発許可における公益施設用地の面積(合計)	区域区分	任意
	C0308 条例・協定	景観協定の面積(合計)	区域区分	任意
		緑地協定の面積(合計)	区域区分	任意
		建築協定の面積(合計)	区域区分	任意
	4 建物	C0401 建物利用現況	商業施設の延べ床面積(合計)	区域区分
住宅系施設の延べ床面積(合計)			区域区分	任意
工場の延べ床面積(合計)			区域区分	任意
C0402 大規模小売店舗等の立地状況		商業・娯楽施設 1 の延べ床面積(合計)	区域区分	必須
		商業・娯楽施設 2(件数)	区域区分	必須
		公共施設の延べ床面積(合計)	区域区分	必須
		病院の病床数(合計)	区域区分	必須
		福祉施設の収容人数(合計)	区域区分	必須
大学の学生数(合計)	区域区分	必須		
5 都市施設	C0502 道路の状況	幅員 4m 未満の道路網の延長(合計)	区域区分	任意
6 交通	C0604 バスの状況	住民基本台帳人口総数	公共交通利用圏	必須
		住民基本台帳人口のうち、高齢者人口(合計)	公共交通利用圏	必須

8 自然環境等	C0804 レクリエーション施設の状況	利用者数(合計)	レクリエーション施設の分類(主要)	任意
9 公害及び災害	C0901 災害の発生状況	住民基本台帳人口総数	既往水害の被害区域の浸水面積(合計)	任意
		住民基本台帳人口総数	がけ崩れ・地滑りの発生地点の被害面積(合計)	任意
	C0902 防災拠点・避難場所の位置	緊急避難場所の収容人数(合計)	緊急避難場所(件数)	任意
		避難所の収容人数(合計)	避難所(件数)	任意
		住民基本台帳人口総数	人口に対する緊急避難場所の収容人数	任意
	C0903 公害の発生状況	住民基本台帳人口総数	人口に対する避難所の収容人数	任意
被害面積(合計)		公害分類(主要)	任意	

メッシュデータフォーマット

列	列名	内容	入力例
1 列目	MESH1_ID	当該メッシュが所属する 1 次メッシュのメッシュコード	4930
2 列目	MESH2_ID	当該メッシュが所属する 2 次メッシュのコード	43
3 列目	MESH3_ID	当該メッシュが所属する 3 次メッシュのコード	1
4 列目	MESH4_ID	当該メッシュが所属する 4 次メッシュのコード	2
5 列目	CITY_CD	40 から始まる 5 桁の市町村コード 区は使用せず、北九州市は 40100、福岡市は 40130 を使用する	40130
6 列目	※高さの表題	高さの値を記載し、列名には「住民基本台帳人口総数」等の高さの項目を記載する	10
7 列目	※色の表題	色の値を記載し、列名には「住民基本台帳人口総数密度」等の色の項目を記載する	2.5

メッシュデータにおける区域区分分類コード表

分類コード	区域区分
1	非線引き白地地域
2	市街化区域
3	市街化調整区域
4	非線引き用途地域
0	都市計画区域外

(2) データ品質

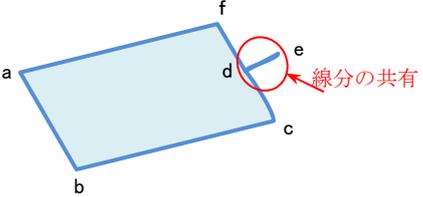
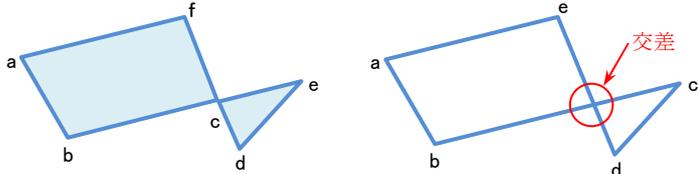
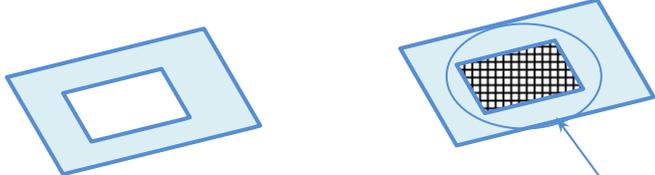
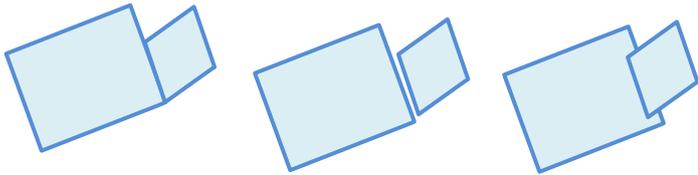
1) 品質要求

- ・GISデータは、以下に示す品質要求を満たすよう作成します。
- ・作成したデータごとに、「福岡県都市計画基礎調査データベース製品仕様書」にある「品質評価書」に記載された項目に則り品質評価を行ない、県が実施する検査に合格するものとします。
- ・品質評価の報告については「品質評価書」に「評価日」「評価者」を記入し、品質評価報告書として提出します。

品質要素	品質副要素	適用範囲	品質評価基準	品質評価手法
完全性	過剰・漏れ	全ての図形データ	箇所数把握可 ・データの数を集計して比較を行い、過剰・漏れがないか	●コンピュータによる検査 ・図面及び調書に記載されている調査結果が全て図形データに反映されていることを確認
			箇所数把握不可 ・図形データの出力図を作成し、図面との比較を行い、過剰・漏れがないか	●目視による検査 ・図面に記載されている調査結果が全て図形データに反映されていることを確認
論理一貫性	定義域一貫性	全ての図形データ	・属性値の定義域に対して、実際に入力された値は正しいか	●コンピュータによる検査 ・属性の定義及び関連するコード表の値が反映されていることを確認
		全ての図形データ	・指定された「参照系」データとして作成されているか	●目視による検査 ・空間参照情報ファイル(prj)を確認
	書式一貫性	全ての図形データ	・Shape ファイルフォーマット形式で作成されているか	●目視による検査 ・shp,shx,dbf,prj 拡張子のファイルが揃っていることを確認
			・図形データファイル名	●目視による検査 ・「図形データ定義書」に示すファイル名で正しく作成されていることを確認
			・図形データの型	●目視による検査 ・「図形データ定義書」のデータ形式で正しく作成されていることを確認
	位相一貫性	Polygon 型の図形データ	・「2) 図形データ作成の注意点」で示した図形データが存在していないか	●コンピュータによる検査 ・図形データが正しく作成されていることを確認
Line 型の図形データ		・図形データが対象の中心線に沿って作成されているか	●目視による検査 ・図形データが正しく作成されていることを確認	
Point 型の図形データ		・図形データが対象の中心点付近に作成されているか	●目視による検査 ・図形データが正しく作成されていることを確認	
位置正確度	絶対正確度又は外部正確度	全ての図形データ	・「平成28年度都市計画基礎調査実施要領」に示された地形図縮尺相当の位置正確性があるか	●目視による検査 ・使用地形図と図形データを重ね、ずれを確認
時間正確度	時間妥当性	全ての図形データ	・地形図データは最新のものを利用しているか	●目視による検査 ・地形図データを確認
主題正確度	分類の正しさ	全ての図形データ	・図形データが正しいデータ管理単位で作成されているか	●目視による検査 ・図形データの出力図を作成し、図面との比較により、図形データに正しく反映されていることを確認
	非定量的属性の正しさ	非定量的属性を持つ図形データ	・入力した属性値に誤りがないか	●コンピュータによる検査 ・原典資料との比較により妥当性を確認
	定量的属性の正確度	定量的属性を持つ図形データ	・入力した属性値に誤りがないか	●コンピュータによる検査 ・原典資料との比較により妥当性を確認

2) 図形データ作成の注意点

G I Sの図形データが正確に作成されていない場合、システム上で図形が正確に表示・解析されない可能性があるため、以下に注意してデータを作成することとします。

作図イメージ	注意点
 <p>○閉じている ×閉じていない</p>	<p>各図形は、起終点座標が一致した閉じた図形として作成。</p>
 <p>×線分を共有している図形 (a→b→c→d→e→d→f→aの順番で入力)</p>	<p>線分を共有しない図形とする。</p>
 <p>○線分が交差していない2つの図形 (a→b→c→f, c→d→eの順番で入力)</p> <p>×線分が交差している1つの図形 (a→b→c→d→e→aの順番で入力)</p>	<p>線分が交差していない図形とする。</p>
 <p>中抜き穴のある図形</p>	<p>図形に中抜き穴がある場合は、穴と同じ形状の図形を別途作成。</p>
 <p>○ ×(隙間がある) ×(重なっている)</p>	<p>隣り合う図形は、隙間ができたり、重なり合ったりしないよう作成する。</p>

- ・都市構造可視化サイト (<http://mieruka.city/>) 及び同等のサイトを使用して、調査結果を公開する。
- ・公開する調査項目は、メッシュ化した調査項目全てとする。

(3) 提出形式

1) 提出資料

- ・ 県への提出部数は1部とします。

調書	A 4 紙出力調書、エクセルファイル
図面	A 3 紙出力図面、PDF ファイル
GIS データ	シェイプファイル、メタデータファイル、レイヤファイル
品質評価報告書	A 4 紙出力報告書、PDF ファイル
メッシュデータ	CSV ファイル
電子媒体	上記データを格納した電子媒体

2) ファイリング（綴り方、表紙、背表紙）

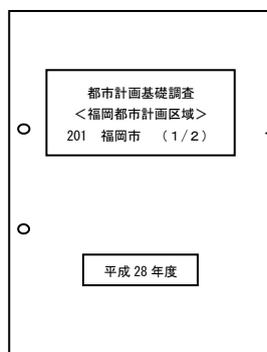
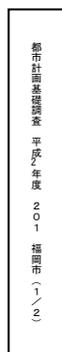
- ・ 提出図書はA 4 縦のファイル（パイプ式）にて作成します。
- ・ 厚さは8 cmまでとし、これを超える場合には分冊とします。
- ・ 分冊となる場合は、冊番号を付します。
- ・ 背表紙、表紙を以下のように作成し、貼付します。
- ・ 調書、品質評価報告書はA 4 両面モノクロ印刷、図面はA 3 片面カラー印刷とします。
- ・ 図面は、図面タイトルが見えるよう、A 4 サイズに折り込みます。
- ・ 調書及び図面には、調査の大項目ごとにインデックスを作成します。
- ・ 品質評価報告書は、押印したものをスキャニングしPDF ファイルを作成します。
- ・ 調査データ入り CD (DVD) は、専用ケースに入れ、巻末に綴じます。
- ・ 製本の順序は、①調査項目順に全ての調書、②A 4 に折り込んだ全ての図面、③品質評価書報告書、④CD ケースとします。

作成例 （2分冊の1冊目の場合）

A 3 図面の折り方

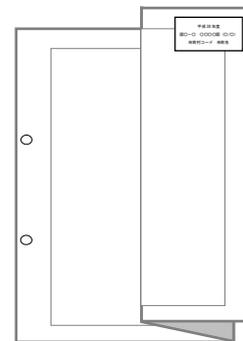
<背表紙>

<表紙>



製本の順序

1. 調書
2. 縮小版図面
3. 品質評価報告書
4. CD(DVD)ケース



3) 電子ファイル

- ・作成した電子データについては、電子媒体（CD、DVD）にて提出します。
- ・ラベルは、以下のように作成します。
- ・作成データは、以下のように調書（エクセル）、図面（PDF）、GIS データ（シェイプ）、メタデータ（xml）、メッシュデータのフォルダを作成し電子媒体に格納します。
- ・各フォルダ内には、調査の大項目名のフォルダを作成し、該当するデータを格納します。
- ・各ファイルの名称は、命名規則に従うものとします。
- ・提出時点ごとに、提出資料リストを作成し電子媒体に格納します。（調書や図面と同じ階層へ）

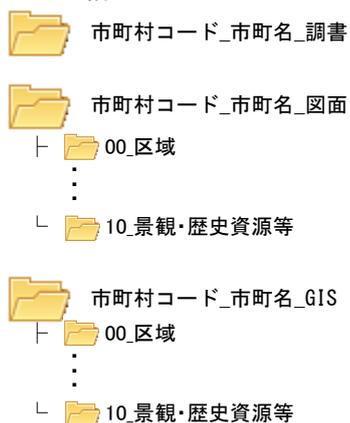
電子媒体の作成イメージ



作成例



フォルダ構成



4) 都市構造可視化計画サイト等へのアップロード

- ・都市構造可視化サイト（<http://mieruka.city/>）、または同等のサイトを使用して、調査結果を公開します。
- ・公開する調査項目は、メッシュデータ一覧表に記載している項目とし、公開区分が必須である項目の公開は必須とします。

3. 実施要領

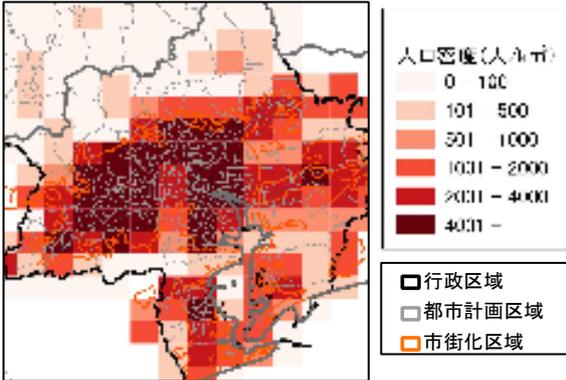
□収集データ項目一覧

分類	データ項目		頁
① 人口	C0101	人口規模	14
	C0104	人口増減	16
③ 土地利用	C0302	土地利用現況	18
	C0303	国公有地の状況	21
	C0304	宅地開発状況	22
	C0308	条例・協定	27
	C0309	農林漁業関係施策適用状況	30
④ 建物	C0401	建物利用現況	31
	C0402	大規模小売店舗等の立地状況	37
⑤ 都市施設	C0501	都市施設の位置・内容等	42
	C0502	道路の状況	45
⑥ 交通	C0604	バスの状況	47
⑧ 自然的環境等	C0804	レクリエーション施設の状況	49
⑨ 公害及び災害	C0901	災害の発生状況	51
	C0902	防災拠点・避難場所	53
	C0903	公害の発生状況	55
⑩ 景観・歴史資源等	C1002	景観・歴史資源等の状況	57
	C1003	市街地の形成	59

□留意事項

- ・非線引き都市計画区域については、市街化区域を用途地域指定区域、市街化調整区域を用途地域指定外地域として読み替えるものとする。
- ・小地域やメッシュのデータと集計範囲が一致しない場合については、面積等により按分し集計する。
- ・収集単位については、必要に応じて区分や地域を統合／細分化する。
- ・特別区については、市町村として読み替えるものとする。
- ・市町村単位での収集データに関し、合併のあった市町村で合併前の市町村単位のデータが取得可能なものは、合併前の市町村単位のデータを併せて収集する。

①人口

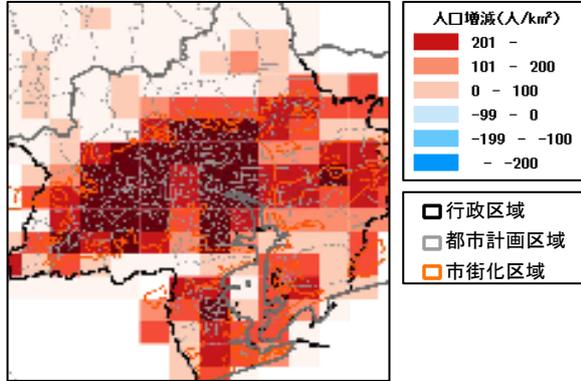
データ項目	C0101 人口規模																																																																																											
収集方法	<p>【収集項目】 年齢階級別(5歳)、性別人口</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 500m メッシュ単位</p> <p>【収集方法】 住民基本台帳から収集</p> <p>【調査基準日】 平成 24 年から 28 年の 5 年間、各年 4 月 1 日</p> <p>【留意事項】 ・住民基本台帳が町丁目単位で集計されている場合は、町丁目単位の住民基本台帳データを 500m メッシュに面積案分する方法が考えられる。</p>																																																																																											
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>住民基本台帳集計_H〇〇</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッシュコード別に男女別・年齢階級(5歳階級)別にとりまとめる。 ・H24 から H28 を調査対象とし、4 月 1 日を基準日とする。年度毎に調書を作成する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">メッシュコード</th> <th colspan="4">男</th> <th colspan="4">女</th> <th rowspan="2">総計</th> <th rowspan="2">世帯数</th> </tr> <tr> <th>0-4 歳</th> <th>5-9 歳</th> <th>...</th> <th>合計</th> <th>0-4 歳</th> <th>5-9 歳</th> <th>...</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>123456789</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>...</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>...</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>123456790</td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><人口分布図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・500mメッシュ単位のデータから、人口密度の区分に応じて色分けするとともに、都市計画区域や市街化区域、行政区域等をあわせて表示して図面を作成する。 ・1メッシュの面積は緯度によって変わるが、0.25k m²として人口密度を算出する。  <p>人口密度(人/k m²)</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - 100 101 - 500 501 - 1000 1001 - 2000 2001 - 4000 4001 - <ul style="list-style-type: none"> □ 行政区域 □ 都市計画区域 □ 市街化区域 <p>・人口分布図凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口密度(人/k m²)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0 - 100</td> <td>250,240,230</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>101 - 500</td> <td>250,200,180</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>501 - 1000</td> <td>250,140,110</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>1001 - 2000</td> <td>250,80,60</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>2001 - 4000</td> <td>200,20,20</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>4001 -</td> <td>100,0,0</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>都市計画区域</td> <td>なし</td> <td>□ 150,150,150</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>なし</td> <td>□ 255,130,40</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	住民基本台帳集計_H〇〇	面	メッシュコード	男				女				総計	世帯数	0-4 歳	5-9 歳	...	合計	0-4 歳	5-9 歳	...	合計	123456789	人	人	...	人	人	人	...	人	人	世帯	123456790											:											項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	人口密度(人/k m ²)			0 - 100	250,240,230	なし	101 - 500	250,200,180	なし	501 - 1000	250,140,110	なし	1001 - 2000	250,80,60	なし	2001 - 4000	200,20,20	なし	4001 -	100,0,0	なし	行政区域	なし	□ 0,0,0	都市計画区域	なし	□ 150,150,150	市街化区域	なし	□ 255,130,40
	データ項目	データ型																																																																																										
①	住民基本台帳集計_H〇〇	面																																																																																										
メッシュコード	男				女				総計	世帯数																																																																																		
	0-4 歳	5-9 歳	...	合計	0-4 歳	5-9 歳	...	合計																																																																																				
123456789	人	人	...	人	人	人	...	人	人	世帯																																																																																		
123456790																																																																																												
:																																																																																												
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																																																																										
人口密度(人/k m ²)																																																																																												
0 - 100	250,240,230	なし																																																																																										
101 - 500	250,200,180	なし																																																																																										
501 - 1000	250,140,110	なし																																																																																										
1001 - 2000	250,80,60	なし																																																																																										
2001 - 4000	200,20,20	なし																																																																																										
4001 -	100,0,0	なし																																																																																										
行政区域	なし	□ 0,0,0																																																																																										
都市計画区域	なし	□ 150,150,150																																																																																										
市街化区域	なし	□ 255,130,40																																																																																										

集計方法	<p><集計表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の区分別に男女別・年齢階級(5歳階級)別にとりまとめる。 ・集計は、500mメッシュデータの活用を基本とし、境界が区域区分の境界と合致しない場合については、面積、可住地、建物数、世帯数等により按分する方法により適宜分割し集計する。 																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">男</th> <th colspan="4">女</th> <th rowspan="2">総計</th> <th rowspan="2">世帯数</th> </tr> <tr> <th>0-4歳</th> <th>5-9歳</th> <th>...</th> <th>合計</th> <th>0-4歳</th> <th>5-9歳</th> <th>...</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>行政区域</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>...</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>...</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>都市計画区域</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 市街化区域</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 市街化調整区域</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 非線引き用途地域</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 非線引き用途白地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市計画区域外</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											男				女				総計	世帯数	0-4歳	5-9歳	...	合計	0-4歳	5-9歳	...	合計	行政区域	人	人	...	人	人	人	...	人	人	世帯	都市計画区域											市街化区域											市街化調整区域											非線引き用途地域											非線引き用途白地											都市計画区域外									
	男				女				総計	世帯数																																																																																															
	0-4歳	5-9歳	...	合計	0-4歳	5-9歳	...	合計																																																																																																	
行政区域	人	人	...	人	人	人	...	人	人	世帯																																																																																															
都市計画区域																																																																																																									
市街化区域																																																																																																									
市街化調整区域																																																																																																									
非線引き用途地域																																																																																																									
非線引き用途白地																																																																																																									
都市計画区域外																																																																																																									
	<p><メッシュデータ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24からH28の5年間を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計した、各年度のメッシュデータを作成する。 ・下表のH〇〇については、H24からH28にそれぞれ置き換える。 ・下表の(0-4歳)については、調書項目と合わせて(100歳以上)まで作成し、ファイル名についてはそれぞれ置き換える。 ・区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。 ・1つのメッシュコードに対するサンプル数が少ない等の理由により、個人の情報が特定されるおそれがある場合は、該当するメッシュコードをメッシュデータから除外する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>高さ</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口総数_住民基本台帳人口総数密度</td> <td>住民基本台帳人口総数</td> <td>住民基本台帳人口総数密度</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口総数_区域区分</td> <td>住民基本台帳人口総数</td> <td>区域区分</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口(0-4歳)_住民基本台帳人口総数密度</td> <td>住民基本台帳人口(0-4歳)</td> <td>住民基本台帳人口密度(0-4歳)</td> </tr> </tbody> </table>											データ項目	高さ	色	①	C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口総数_住民基本台帳人口総数密度	住民基本台帳人口総数	住民基本台帳人口総数密度	②	C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口総数_区域区分	住民基本台帳人口総数	区域区分	③	C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口(0-4歳)_住民基本台帳人口総数密度	住民基本台帳人口(0-4歳)	住民基本台帳人口密度(0-4歳)																																																																															
	データ項目	高さ	色																																																																																																						
①	C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口総数_住民基本台帳人口総数密度	住民基本台帳人口総数	住民基本台帳人口総数密度																																																																																																						
②	C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口総数_区域区分	住民基本台帳人口総数	区域区分																																																																																																						
③	C0101_人口規模_H〇〇_住民基本台帳人口(0-4歳)_住民基本台帳人口総数密度	住民基本台帳人口(0-4歳)	住民基本台帳人口密度(0-4歳)																																																																																																						

データ項目	C0104 人口増減																																										
収集方法	<p>【収集項目】 自然増減(出生数、死亡者数)、社会増減(転入者数、転出者数、その他増減)</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 500m メッシュ</p> <p>【収集方法】 住民基本台帳データを用い、500m メッシュ単位での人口動態の把握を行う。</p> <p>【調査基準日】 平成 24 年から 28 年の 5 年間、各年 4 月 1 日</p> <p>【留意事項】 住民基本台帳が町丁目単位で集計されている場合は、町丁目単位の住民基本台帳データを 500m メッシュに面積案分する方法が考えられる。</p>																																										
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" data-bbox="400 689 1337 770"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>住民基本台帳集計_H〇〇</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メッシュコード別に人口増減の要因別にとりまとめる。 ・H24 から H28 を調査対象とし、4 月 1 日を基準日とする。年度毎に調書を作成する。 <table border="1" data-bbox="395 936 1422 1167"> <thead> <tr> <th>メッシュコード</th> <th>自然増減</th> <th>出生数</th> <th>死亡者数</th> <th>社会増減</th> <th>転入者数</th> <th>転出者数</th> <th>増減 (その他)</th> <th>人口増減 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>123456789</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>123456790</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他増減は、職権による消除・修正や国籍取得・帰化等。</p>		データ項目	データ型	①	住民基本台帳集計_H〇〇	面	メッシュコード	自然増減	出生数	死亡者数	社会増減	転入者数	転出者数	増減 (その他)	人口増減 計	123456789	人	人	人	人	人	人	人	人	123456790									:								
	データ項目	データ型																																									
①	住民基本台帳集計_H〇〇	面																																									
メッシュコード	自然増減	出生数	死亡者数	社会増減	転入者数	転出者数	増減 (その他)	人口増減 計																																			
123456789	人	人	人	人	人	人	人	人																																			
123456790																																											
:																																											

<人口増減分布図>

- 500mメッシュ単位のデータから、1k m²当たりの人口増減の区分に応じて色分けするとともに、都市計画区域や市街化区域、行政区域等をあわせて表示して図面を作成する。
- 1メッシュの面積は緯度によって変わるが、0.25k m²として密度を算出する。

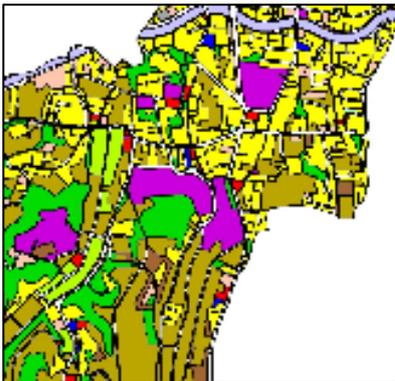


•人口増減分布図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
人口増減(人/k m ²)		
1001 -	200,20,20	なし
101 - 1000	250,140,110	なし
0 - 100	250,200,180	なし
-99 - 0	200,230,250	なし
-999 - -100	100,200,250	なし
- -1000	0,150,250	なし
行政区域	なし	<input type="checkbox"/> 0,0,0
都市計画区域	なし	<input type="checkbox"/> 150,150,150
市街化区域	なし	<input type="checkbox"/> 255,130,40

集計方法	<p><集計表></p> <p>・人口増減の要因別にとりまとめる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>●年</th> <th>●年</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然増減</td> <td>人</td> <td>人</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 出生数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 死亡者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会増減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 転入者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 転出者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> (その他増減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人口増減計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				●年	●年	...	自然増減	人	人		出生数				死亡者数				社会増減				転入者数				転出者数				(その他増減)				人口増減計			
		●年	●年	...																																			
	自然増減	人	人																																				
	出生数																																						
	死亡者数																																						
	社会増減																																						
	転入者数																																						
	転出者数																																						
	(その他増減)																																						
	人口増減計																																						
<p>※その他増減は、職権による消除・修正や国籍取得・帰化等。</p>																																							
<p><メッシュデータ></p> <p>・H24 から H28 の 5 年間を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。</p> <p>・人口増減、自然増減、社会増減は 5 年間の値を合計し、H24 から H28 を 1 期間として作成する。</p> <p>・1 つのメッシュコードに対するサンプル数が少ない等の理由により、個人の情報が特定されるおそれがある場合は、該当するメッシュコードをメッシュデータから除外する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>高さ</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>C0104_人口増減_H24-H28_人口増減の絶対数_人口増減</td> <td>人口増減(5年間の合計)の絶対数</td> <td>人口増減(5年間の合計)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>C0104_人口増減_H24-H28_自然増減の絶対数_自然増減</td> <td>自然増減(5年間の合計)の絶対数</td> <td>自然増減(5年間の合計)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C0104_人口増減_H24-H28_社会増減の絶対数_社会増減</td> <td>社会増減(5年間の合計)の絶対数</td> <td>社会増減(5年間の合計)</td> </tr> </tbody> </table>				データ項目	高さ	色	①	C0104_人口増減_H24-H28_人口増減の絶対数_人口増減	人口増減(5年間の合計)の絶対数	人口増減(5年間の合計)	②	C0104_人口増減_H24-H28_自然増減の絶対数_自然増減	自然増減(5年間の合計)の絶対数	自然増減(5年間の合計)	③	C0104_人口増減_H24-H28_社会増減の絶対数_社会増減	社会増減(5年間の合計)の絶対数	社会増減(5年間の合計)																					
	データ項目	高さ	色																																				
①	C0104_人口増減_H24-H28_人口増減の絶対数_人口増減	人口増減(5年間の合計)の絶対数	人口増減(5年間の合計)																																				
②	C0104_人口増減_H24-H28_自然増減の絶対数_自然増減	自然増減(5年間の合計)の絶対数	自然増減(5年間の合計)																																				
③	C0104_人口増減_H24-H28_社会増減の絶対数_社会増減	社会増減(5年間の合計)の絶対数	社会増減(5年間の合計)																																				

③土地利用

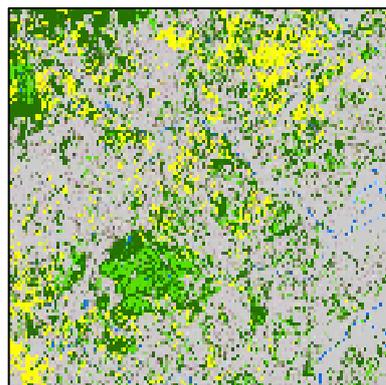
データ項目	C0302 土地利用現況																																														
収集方法	<p>【収集項目】 位置、用途、面積</p> <p>【収集範囲】 都市計画区域</p> <p>【収集単位】 敷地毎</p> <p>【収集方法】 現地調査、空中写真、登記簿(固定資産課税台帳)、住宅地図等より収集</p> <p>【調査基準日】 平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】</p>																																														
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 70%;">データ項目</th> <th style="width: 20%;">データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td>土地利用現況</td> <td style="text-align: center;">面</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 土地利用現況図 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地毎に土地の用途を区分する。用途の区分は下表による。 ・敷地内に複数用途の建築物が存在する場合は主たる用途で代表させる。 ・道路は、道路法の道路以外についても、道路として一般の通行の用に供しているものは全て道路として分類し、一般の通行の用に供していないものは、沿道用途に含まれるものとする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">用途区分</th> <th style="width: 50%;">細分用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>田</td><td>水田</td></tr> <tr><td>畑</td><td>畑、樹園地、採草地、養鶏(牛、豚)場、ビニールハウス</td></tr> <tr><td>山林</td><td>樹林地</td></tr> <tr><td>水面</td><td>河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面</td></tr> <tr><td>その他の自然地1</td><td>原野・牧野、荒地^{※1}、低湿地</td></tr> <tr><td>その他の自然地2</td><td>河川敷・河原、海浜、湖岸</td></tr> <tr><td>住宅用地</td><td>建物用途別現況図の 5～9</td></tr> <tr><td>商業用地(小売業)</td><td>小売業</td></tr> <tr><td>商業用地(その他)</td><td>同 1～4 の中の同 2 のうち小売業を除くもの</td></tr> <tr><td>工業用地</td><td>同 12～13、危険物貯蔵・処理施設、倉庫、荷とき場</td></tr> <tr><td>公益施設用地</td><td>同 10～11、処理場、浄水場、火葬場、発電所、変電所</td></tr> <tr><td>道路用地</td><td>道路、駅前広場</td></tr> <tr><td>交通施設用地</td><td>自動車ターミナル、立体駐車場、駅舎、鉄道用地、空港、港湾</td></tr> <tr><td>公共空地 1</td><td>公園・緑地</td></tr> <tr><td>公共空地 2</td><td>広場、運動場、墓園</td></tr> <tr><td>その他の公的施設用地</td><td>防衛施設用地</td></tr> <tr><td>その他の空地</td><td>資材置き場、住宅展示場、ゴルフ場</td></tr> <tr><td>未利用宅地</td><td>未利用地^{※2}、平面駐車場</td></tr> <tr><td>農林漁業施設用地</td><td>農業用納屋、船小屋、農林漁業用作業場</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 耕作放棄地等自然的状況のもの。</p> <p>※2 建物跡地など都市的状況の未利用地</p> 		データ項目	データ型	①	土地利用現況	面	用途区分	細分用途	田	水田	畑	畑、樹園地、採草地、養鶏(牛、豚)場、ビニールハウス	山林	樹林地	水面	河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面	その他の自然地1	原野・牧野、荒地 ^{※1} 、低湿地	その他の自然地2	河川敷・河原、海浜、湖岸	住宅用地	建物用途別現況図の 5～9	商業用地(小売業)	小売業	商業用地(その他)	同 1～4 の中の同 2 のうち小売業を除くもの	工業用地	同 12～13、危険物貯蔵・処理施設、倉庫、荷とき場	公益施設用地	同 10～11、処理場、浄水場、火葬場、発電所、変電所	道路用地	道路、駅前広場	交通施設用地	自動車ターミナル、立体駐車場、駅舎、鉄道用地、空港、港湾	公共空地 1	公園・緑地	公共空地 2	広場、運動場、墓園	その他の公的施設用地	防衛施設用地	その他の空地	資材置き場、住宅展示場、ゴルフ場	未利用宅地	未利用地 ^{※2} 、平面駐車場	農林漁業施設用地	農業用納屋、船小屋、農林漁業用作業場
	データ項目	データ型																																													
①	土地利用現況	面																																													
用途区分	細分用途																																														
田	水田																																														
畑	畑、樹園地、採草地、養鶏(牛、豚)場、ビニールハウス																																														
山林	樹林地																																														
水面	河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面																																														
その他の自然地1	原野・牧野、荒地 ^{※1} 、低湿地																																														
その他の自然地2	河川敷・河原、海浜、湖岸																																														
住宅用地	建物用途別現況図の 5～9																																														
商業用地(小売業)	小売業																																														
商業用地(その他)	同 1～4 の中の同 2 のうち小売業を除くもの																																														
工業用地	同 12～13、危険物貯蔵・処理施設、倉庫、荷とき場																																														
公益施設用地	同 10～11、処理場、浄水場、火葬場、発電所、変電所																																														
道路用地	道路、駅前広場																																														
交通施設用地	自動車ターミナル、立体駐車場、駅舎、鉄道用地、空港、港湾																																														
公共空地 1	公園・緑地																																														
公共空地 2	広場、運動場、墓園																																														
その他の公的施設用地	防衛施設用地																																														
その他の空地	資材置き場、住宅展示場、ゴルフ場																																														
未利用宅地	未利用地 ^{※2} 、平面駐車場																																														
農林漁業施設用地	農業用納屋、船小屋、農林漁業用作業場																																														

・土地利用現況図凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	緑 色指定(R,G,B)	面 パターン
用途区分			
田	180,255,0	なし	
畑	200,200,80	なし	
山林	0,220,0	なし	
水面	120,220,255	なし	
その他の自然地1	160,100,50	なし	
その他の自然地2	80,100,160	なし	
住宅用地	255,255,0	なし	
商業用地(小売業)	255,160,230	なし	
商業用地(その他)	230,80,80	なし	
工業用地	30,70,255	なし	
公益施設用地	200,0,220	なし	
道路用地	255,255,255	なし	
交通施設用地	160,160,160	なし	
公共空地1	200,255,200	なし	
公共空地2	80,200,200	なし	
その他の公的施設用地	150,70,70	なし	
その他の空地	255,200,170	なし	
未利用宅地	255,0,0	なし	左下がり斜線
農林漁業施設用地	255,200,80	なし	
用途地域指定区域界	なし	□	0,0,0

<緑被分布図>

- ・樹林地や農地等の自然的土地利用を土地利用現況調査等から把握する。
- ・緑被地(主に樹林地)は、用途区分が山林である敷地とする。
- ・緑被地(主に草地)は、用途区分がその他の自然地1、その他の自然地2、公共空地1、公共空地2である敷地とする。
- ・農地は、用途区分が田、畑である敷地とする。
- ・主に水面は、用途区分が水面である敷地とする。



緑被地(主に樹林地)
緑被地(主に草地)
農地
主に水面

出典：横浜市第9次緑地環境診断調査（平成21年度）、横浜市

・緑被分布図凡例

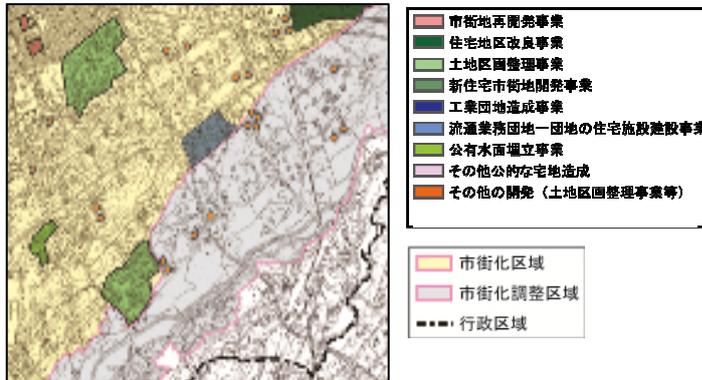
項目	面 色指定(R,G,B)	緑 色指定(R,G,B)
緑被地(主に樹林地)	0,140,60	なし
緑被地(主に草地)	80,180,50	なし
農地	250,240,0	なし
主に水面	0,120,200	なし

データ項目	C0303 国公有地の状況																																																									
収集方法	<p>【収集項目】 位置、所有者、地目、面積、利用状況</p> <p>【収集範囲】 都市計画区域</p> <p>【収集単位】 国公有地(国、都道府県、市町村、公社等の所有地)毎</p> <p>【収集方法】 登記簿、庁内資料から収集</p> <p style="padding-left: 20px;">※国有地は、国有財産情報公開システム(財務省理財局管理課国有財産情報室 HP)を活用し、住所情報の把握が可能。</p> <p>【調査基準日】 平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】 国や都道府県、市町村が有する土地(普通財産)のうち5ha 以上のものを対象とする。</p>																																																									
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 60%;">データ項目</th> <th style="width: 30%;">データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>国有地現況</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">位置</th> <th style="width: 20%;">所有者</th> <th style="width: 20%;">地目</th> <th style="width: 15%;">面積</th> <th style="width: 15%;">利用状況</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><位置図></p> <p>・国公有地の状況位置図</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 30%;">面 色指定(R,G,B)</th> <th style="width: 40%;">縁 色指定(R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公有地</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 国有地</td> <td>200,220,180</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td> 都道府県有地</td> <td>200,230,250</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td> 市町村有地</td> <td>190,200,230</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td> 公社等有地</td> <td>255,220,170</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	国有地現況	面	位置	所有者	地目	面積	利用状況	備考	1			ha			2						:						項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)	国公有地			国有地	200,220,180	□ 0,0,0	都道府県有地	200,230,250	□ 0,0,0	市町村有地	190,200,230	□ 0,0,0	公社等有地	255,220,170	□ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																																								
①	国有地現況	面																																																								
位置	所有者	地目	面積	利用状況	備考																																																					
1			ha																																																							
2																																																										
:																																																										
項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)																																																								
国公有地																																																										
国有地	200,220,180	□ 0,0,0																																																								
都道府県有地	200,230,250	□ 0,0,0																																																								
市町村有地	190,200,230	□ 0,0,0																																																								
公社等有地	255,220,170	□ 0,0,0																																																								
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																																								
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																																								
行政区域	なし	□ 0,0,0																																																								
集計方法	—																																																									

データ項目	C0304 宅地開発状況																																					
収集方法	<p>【収集項目】 位置、事業方法、面積、用途等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象は、次に列挙したものを基本とする。 市街地再開発事業、住宅地区改良事業、土地区画整理事業、新住宅市街地開発事業、工業団地造成事業、流通業務団地造成事業、一団地の住宅施設建設事業、公有水面埋立事業、新都市基盤整備事業、住宅街区整備事業、防災街区整備事業、その他公的な宅地造成 <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 事業毎</p> <p>【収集方法】 都市計画図書、都市計画総括図(市街地開発事業)、庁内資料から収集</p> <p>【調査基準日】 調査期間は前回調査から平成 28 年 3 月までとする。集計の単位(1 年間)は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを基準とする。</p> <p>【留意事項】 福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市は、開発許可による開発についても調査を実施する。</p>																																					
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" data-bbox="395 853 1334 978"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>宅地開発状況</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>宅地開発状況</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <p>【市街地開発事業等】</p> <table border="1" data-bbox="395 1099 1442 1294"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決定年月日※1</th> <th rowspan="2">市街地開発事業名称</th> <th colspan="4">進捗状況</th> <th rowspan="2">事業期間※3</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>事業中</th> <th>事業費※2</th> <th>整備済</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>〇〇土地区画整理事業</td> <td>ha</td> <td>ha</td> <td>百万円 / 百万円</td> <td>ha</td> <td>~</td> <td></td> </tr> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当初決定より、変更を含め古い順に記入する。</p> <p>※2 過年度末までの事業費、総事業費を記入する。</p> <p>※3 左側に事業開始年月日、右側に事業完了年月日を記入。現在事業中のものは認可を受けた事業期間を記入する。事業に着手されていないものは記入しない。なお、土地区画整理事業については、仮換地指定時も記す。</p>		データ項目	データ型	①	宅地開発状況	面	②	宅地開発状況	点	決定年月日※1	市街地開発事業名称	進捗状況				事業期間※3	備考	計画	事業中	事業費※2	整備済		〇〇土地区画整理事業	ha	ha	百万円 / 百万円	ha	~		...							
	データ項目	データ型																																				
①	宅地開発状況	面																																				
②	宅地開発状況	点																																				
決定年月日※1	市街地開発事業名称	進捗状況				事業期間※3	備考																															
		計画	事業中	事業費※2	整備済																																	
	〇〇土地区画整理事業	ha	ha	百万円 / 百万円	ha	~																																
...																																						

<位置図>

・土地区画整理事業等については、区域データでの作成を基本とする。



・市街地開発事業等位置図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
市街地開発事業	240,150,150	□ 0,0,0
住宅地区改良事業	20,100,50	□ 0,0,0
土地区画整理事業	160,210,140	□ 0,0,0
新住宅市街地開発事業	100,150,100	□ 0,0,0
工業団地造成事業	40,50,140	□ 0,0,0
流通業務団地一団地の住宅施設建設事業	100,140,200	□ 0,0,0
公有水面埋立事業	150,200,60	□ 0,0,0
その他公的な宅地造成	240,200,230	□ 0,0,0
その他の開発(土地区画整理事業等)	240,100,20	□ 0,0,0
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230
行政区域	なし	□ 0,0,0

集計方法

<集計表>

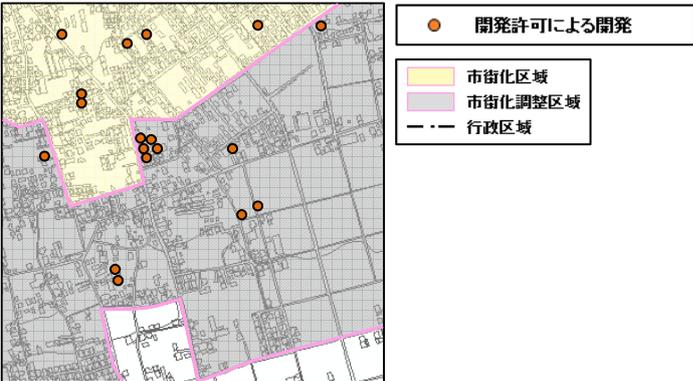
・市街化区域、市街化調整区域の別に件数、面積をとりまとめる。

		住宅用地		商業用地		工業用地		公益施設用地		その他	
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
市街化区域	平成 23 年	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市街化調整区域	平成 23 年										
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	平成 23 年										
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<メッシュデータ>

- H24 から H28 の 5 年間を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- 宅地開発状況の件数、面積は 5 年間の値を合計し、H24 から H28 を 1 期間として作成する。
- 区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。

	データ項目	高さ	色
①	C0304_宅地開発状況_H24-H28_宅地開発状況(件数)_区域区分	宅地開発状況(件数)	区域区分
②	C0304_宅地開発状況_H24-H28_宅地開発状況の面積(合計)_区域区分	宅地開発状況の面積(合計)	区域区分
③	C0304_宅地開発状況_H24-H28_宅地開発状況における住宅用地の面積(合計)_区域区分	宅地開発状況における住宅用地の面積(合計)	区域区分
④	C0304_宅地開発状況_H24-H28_宅地開発状況における商業用地の面積(合計)_区域区分	宅地開発状況における商業用地の面積(合計)	区域区分
⑤	C0304_宅地開発状況_H24-H28_宅地開発状況における工業用地の面積(合計)_区域区分	宅地開発状況における工業用地の面積(合計)	区域区分
⑥	C0304_宅地開発状況_H24-H28_宅地開発状況における公益施設用地の面積(合計)_区域区分	宅地開発状況における公益施設用地の面積(合計)	区域区分

データ項目	C0304 宅地開発状況【福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市】																																														
収集方法	<p>【収集項目】 位置、事業方法、面積、用途等 ・開発許可による開発を対象とする。</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 事業毎</p> <p>【収集方法】 開発登録簿(開発許可申請)から収集</p> <p>【調査基準日】 調査期間は前回調査から平成 28 年 3 月までとする。集計の単位(1 年間)は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを基準とする。</p> <p>【留意事項】</p>																																														
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 60%;">データ項目</th> <th style="width: 30%;">データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>開発許可</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <p>【開発許可による開発】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">位置</th> <th style="width: 15%;">事業面積</th> <th style="width: 15%;">事業期間</th> <th style="width: 15%;">主な用途</th> <th style="width: 15%;">進捗状況※1</th> <th style="width: 10%;">備考※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>...</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 以下の分類に沿って記載する。 a: 調査実施時点で完了しているもの b: 現在施行中のもの、又は開発審査会による開発許可を受けたもの</p> <p>※2 市街化調整区域内の開発については、その旨を記す。</p> <p>< 位置図 ></p> <p>・開発許可による開発についてはポイントデータでの作成を基本とする。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>● 開発許可による開発</p> <p>■ 市街化区域</p> <p>■ 市街化調整区域</p> <p>--- 行政区域</p> </div> </div> <p>・開発許可による開発位置図凡例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 30%;">面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%;">縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開発許可による開発</td> <td>240,150,0</td> <td>○</td> <td>0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□</td> <td>255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□</td> <td>255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□</td> <td>0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>				データ項目	データ型	①	開発許可	点	位置	事業面積	事業期間	主な用途	進捗状況※1	備考※2	1	m ²					...						項目	面 色 指 定 (R,G,B)		縁 色 指 定 (R,G,B)	開発許可による開発	240,150,0	○	0,0,0	市街化区域	255,250,190	□	255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□	255,160,230	行政区域	なし	□	0,0,0
	データ項目	データ型																																													
①	開発許可	点																																													
位置	事業面積	事業期間	主な用途	進捗状況※1	備考※2																																										
1	m ²																																														
...																																															
項目	面 色 指 定 (R,G,B)		縁 色 指 定 (R,G,B)																																												
開発許可による開発	240,150,0	○	0,0,0																																												
市街化区域	255,250,190	□	255,160,230																																												
市街化調整区域	220,220,220	□	255,160,230																																												
行政区域	なし	□	0,0,0																																												

集計方法

<集計表>

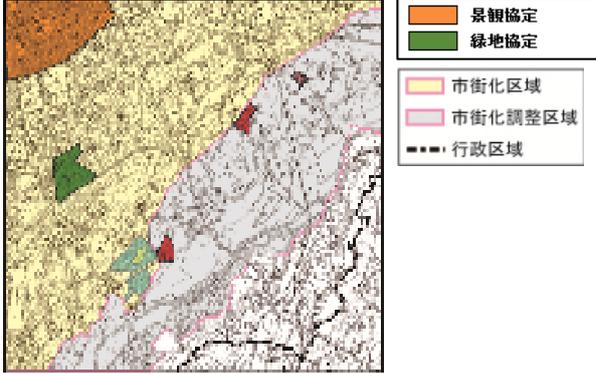
・市街化区域、市街化調整区域の別に件数、面積をとりまとめる。

		住宅用地		商業用地		工業用地		公益施設用地		その他	
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
市街化区域	平成 23 年	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²	件	m ²
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市街化調整区域	平成 23 年										
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	平成 23 年										
	平成 24 年										
	平成 25 年										
	平成 26 年										
	平成 27 年										
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

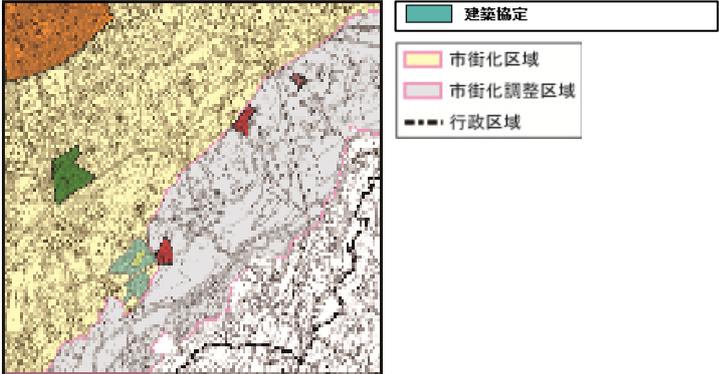
<メッシュデータ>

- ・H24 から H28 の 5 年間を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- ・開発許可の件数、面積は 5 年間の値を合計し、H24 から H28 を 1 期間として作成する。
- ・区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。

	データ項目	高さ	色
①	C0304_宅地開発状況_H24-H28_開発許可(件数)_区域区分	開発許可(件数)	区域区分
②	C0304_宅地開発状況_H24-H28_開発許可の面積(合計)_区域区分	開発許可の面積(合計)	区域区分
③	C0304_宅地開発状況_H24-H28_開発許可における住宅用地の面積(合計)_区域区分	開発許可における住宅用地の面積(合計)	区域区分
④	C0304_宅地開発状況_H24-H28_開発許可における商業用地の面積(合計)_区域区分	開発許可における商業用地の面積(合計)	区域区分
⑤	C0304_宅地開発状況_H24-H28_開発許可における工業用地の面積(合計)_区域区分	開発許可における工業用地の面積(合計)	区域区分
⑥	C0304_宅地開発状況_H24-H28_開発許可における公益施設用地の面積(合計)_区域区分	開発許可における公益施設用地の面積(合計)	区域区分

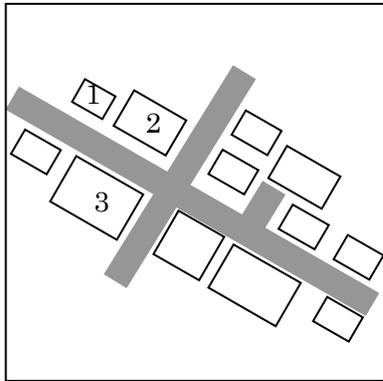
データ項目	C0308 条例・協定																																															
収集方法	<p>【収集項目】 名称、公示・決定年月日、位置、面積、決定主体、概要、期限 ・自治体が定めた都市計画法及び関連する条例・要綱、住民の発意に基づく協定等の決定状況を調べる。 ・調査内容については、景観協定、緑地協定を基本とする。</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 適用区域毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】 ・基礎調査実施時点で効力を有するもの全てを対象とする。 ・福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市は、建築協定についても調査を実施する。</p>																																															
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" data-bbox="395 772 1337 900"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>景観協定</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>緑地協定</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <table border="1" data-bbox="395 981 1401 1079"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">公示・決定年月日</th> <th rowspan="2">面積</th> <th rowspan="2">決定主体 ※1</th> <th rowspan="2">面積 ※2</th> <th rowspan="2">概要</th> <th rowspan="2">期限 ※3</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初</th> <th>最終</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 都道府県による決定か市町村による決定かを区別する。 ※2 条例や協定が適用される区域を示す。 ※3 期限を限って定められたものである場合、その期限を記載する。</p> <p>< 位置図 ></p>  <p>・条例・協定位置図凡例</p> <table border="1" data-bbox="395 1720 1173 1915"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>緑 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>景観協定</td> <td>250,140,60</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>緑地協定</td> <td>90,140,60</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	景観協定	面	②	緑地協定	面	名称	公示・決定年月日		面積	決定主体 ※1	面積 ※2	概要	期限 ※3	備考	当初	最終				ha						項目	面 色 指 定 (R,G,B)	緑 色 指 定 (R,G,B)	景観協定	250,140,60	□ 0,0,0	緑地協定	90,140,60	□ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																														
①	景観協定	面																																														
②	緑地協定	面																																														
名称	公示・決定年月日		面積	決定主体 ※1	面積 ※2	概要	期限 ※3	備考																																								
	当初	最終																																														
			ha																																													
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	緑 色 指 定 (R,G,B)																																														
景観協定	250,140,60	□ 0,0,0																																														
緑地協定	90,140,60	□ 0,0,0																																														
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																														
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																														
行政区域	なし	□ 0,0,0																																														

集計方法	<p><メッシュデータ></p> <ul style="list-style-type: none"> •H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。 •区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。 			
		データ項目	高さ	色
	①	C0308_条例・協定_H28_景観協定の面積 (合計)_区域区分	景観協定の面積 (合計)	区域区分
②	C0308_条例・協定_H28_緑地協定の面積 (合計)_区域区分	緑地協定の面積 (合計)	区域区分	

データ項目	C0308 条例・協定【福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市】																																											
収集方法	<p>【収集項目】 名称、公示・決定年月日、位置、面積、決定主体、概要、期限 ・調査内容は、建築協定とする。</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 適用区域毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】・基礎調査実施時点で効力を有するもの全てを対象とする。</p>																																											
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>建築協定</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">公示・決定年月日</th> <th rowspan="2">面積</th> <th rowspan="2">決定主体 ※1</th> <th rowspan="2">面積 ※2</th> <th rowspan="2">概要</th> <th rowspan="2">期限 ※3</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初</th> <th>最終</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ha</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 都道府県による決定か市町村による決定かを区別する。 ※2 法規制が適用される区域を示す。 ※3 期限を限って定められたものである場合、その期限を記載する。</p> <p><位置図></p>  <p>・条例・協定位置図凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築協定</td> <td>90,180,170</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>				データ項目	データ型	①	建築協定	面	名称	公示・決定年月日		面積	決定主体 ※1	面積 ※2	概要	期限 ※3	備考	当初	最終				ha						項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	建築協定	90,180,170	□ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																										
①	建築協定	面																																										
名称	公示・決定年月日		面積	決定主体 ※1	面積 ※2	概要	期限 ※3	備考																																				
	当初	最終																																										
			ha																																									
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																										
建築協定	90,180,170	□ 0,0,0																																										
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																										
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																										
行政区域	なし	□ 0,0,0																																										
集計方法	<p><メッシュデータ></p> <p>・H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。</p> <p>・区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>高さ</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>C0308_条例・協定_H28_建築協定の面積 (合計)_区域区分</td> <td>建築協定の面積 (合計)</td> <td>区域区分</td> </tr> </tbody> </table>				データ項目	高さ	色	①	C0308_条例・協定_H28_建築協定の面積 (合計)_区域区分	建築協定の面積 (合計)	区域区分																																	
	データ項目	高さ	色																																									
①	C0308_条例・協定_H28_建築協定の面積 (合計)_区域区分	建築協定の面積 (合計)	区域区分																																									

データ項目	C0309 農林漁業関係施策適用状況																																																																			
収集方法	<p>【収集項目】 位置、地区名、事業種別・主体、受益面積・期間、着工年度・事業状態 等 ・調査内容については、次に列挙したものを基本とする。 かんがい排水事業・ほ場整備事業・その他事業(構造改善事業、農業近代化事業等)</p> <p>【収集範囲】 都市計画区域</p> <p>【収集単位】 適用区域毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料により調査</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】 事業が完了したもの、事業中のもの、計画中のものについて調査する。</p>																																																																			
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>農林漁業関連施策</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>農林漁業関連施策に関する施設</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>農林漁業関連施策に関する施設</td> <td>線</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>地区名</th> <th>事業種別 ※1</th> <th>事業主体</th> <th>受益面積等 (うち市街化区域内受益面積)</th> <th>着工年度</th> <th>事業状態</th> <th>施策種別 ※2</th> <th>受益期間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ha (ha)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 かんがい排水事業・ほ場整備事業・その他事業(構造改善事業、農業近代化事業等)の順にまとめて記載する。</p> <p>※2 直轄・補助・融資等を記載する。</p> <p>< 位置図 ></p> <p>・農林漁業関係施策適用状況位置図凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業区域</td> <td>なし</td> <td>■ 170,230,230</td> </tr> <tr> <td>事業受益区域</td> <td>なし</td> <td>■ 40,40,140</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>■ 255,250,190</td> <td>■ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>■ 220,220,220</td> <td>■ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	農林漁業関連施策	面	②	農林漁業関連施策に関する施設	点	③	農林漁業関連施策に関する施設	線	位置	地区名	事業種別 ※1	事業主体	受益面積等 (うち市街化区域内受益面積)	着工年度	事業状態	施策種別 ※2	受益期間	備考	1				ha (ha)						2										:										項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	事業区域	なし	■ 170,230,230	事業受益区域	なし	■ 40,40,140	市街化区域	■ 255,250,190	■ 0,0,0	市街化調整区域	■ 220,220,220	■ 0,0,0
	データ項目	データ型																																																																		
①	農林漁業関連施策	面																																																																		
②	農林漁業関連施策に関する施設	点																																																																		
③	農林漁業関連施策に関する施設	線																																																																		
位置	地区名	事業種別 ※1	事業主体	受益面積等 (うち市街化区域内受益面積)	着工年度	事業状態	施策種別 ※2	受益期間	備考																																																											
1				ha (ha)																																																																
2																																																																				
:																																																																				
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																																																		
事業区域	なし	■ 170,230,230																																																																		
事業受益区域	なし	■ 40,40,140																																																																		
市街化区域	■ 255,250,190	■ 0,0,0																																																																		
市街化調整区域	■ 220,220,220	■ 0,0,0																																																																		
集計方法	—																																																																			

④建物

データ項目	C0401 建物利用現況																																																										
収集方法	<p>【収集項目】 用途、階数、構造、建築面積、延床面積、耐火構造種別</p> <p>【収集範囲】 都市計画区域</p> <p>【収集単位】 建物毎(主たる建物に付属する建物(車庫等)は、主たる建物と一体のものとして扱う。)</p> <p>【収集方法】 現地調査、空中写真、登記簿(固定資産台帳)、建築確認申請、住宅地図等から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】</p>																																																										
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 70%;">データ項目</th> <th style="width: 25%;">データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>建物利用現況</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ID</th> <th rowspan="2">用途※1</th> <th colspan="2">階数</th> <th rowspan="2">構造※2</th> <th rowspan="2">建築面積※3</th> <th rowspan="2">延床面積※4</th> <th rowspan="2">建築年</th> <th rowspan="2">耐火構造種別※5</th> <th rowspan="2">建築確認申請番号※6</th> </tr> <tr> <th>地上</th> <th>地下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>階</td> <td>階</td> <td></td> <td>m²</td> <td>m²</td> <td>年</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>< 位置図 ></p>  <p>※1 用途の分類は、次の表による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の建物で一体の施設を構成しているものについては、一体としての用途とする。 ・店舗等併用住宅、同共同住宅、作業所併用住宅は、1/3 以上が住宅のものとする。 ・複合用途の建物(商業系複合施設及び併用住宅を除く)については、主たる用途により分類する。 ・調書等の用途の欄は、下表の用途分類から選択して記載する。 		データ項目	データ型	①	建物利用現況	面	ID	用途※1	階数		構造※2	建築面積※3	延床面積※4	建築年	耐火構造種別※5	建築確認申請番号※6	地上	地下	1		階	階		m ²	m ²	年			2										3										:									
	データ項目	データ型																																																									
①	建物利用現況	面																																																									
ID	用途※1	階数		構造※2	建築面積※3	延床面積※4	建築年	耐火構造種別※5	建築確認申請番号※6																																																		
		地上	地下																																																								
1		階	階		m ²	m ²	年																																																				
2																																																											
3																																																											
:																																																											

用途分類	細分類
1.業務施設	事務所、銀行、会議場・展示場、郵便局、電話局、民間研究所、研修所 等
2.商業施設	(1)百貨店、小売店、卸売店 等 (2)ガソリンスタンド 等 (3)食堂、喫茶店、弁当屋・宅配 等 (4)理容店、美容院、レンタル業、宴会場、結婚式場、習い事教室、予備校、自動車教習所、住宅展示場、その他のサービス施設 (5)料理店、キャバレー、クラブ、バー、飲み屋 等 (6)劇場、映画館 等 (7)ボーリング場、バッティングセンター、ゴルフ練習場、フィットネス、カラオケボックス、インターネットカフェ 等 (8)マージャン屋、パチンコ屋、馬券・車券発売所 等
3.宿泊施設	ホテル、旅館、民宿、ラブホテル 等
4.商業系用途複合施設	商業系用途(上の 1～3)の複合施設で、主たる用途の床面積が全床面積の3/4に満たないもの
5.住宅	専用住宅(住宅に付随する物置、車庫を含む)
6.共同住宅	アパート、マンション、長屋、寮 等
7.店舗等併用住宅	住宅(上の 5)と商業施設等(上の 1～4,10,11)の併用
8.店舗等併用共同住宅	住宅(上の 6)と商業施設等(上の 1～4,10,11)の併用
9.作業所併用住宅	住宅(上の 5,6)と工業系用途(下の 13)の併用
10.官公庁施設	国県市町村庁舎、裁判所、税務署、警察署、消防署、駐在所 等
11.文教厚生施設	(1)大学、高等専門学校、各種学校、公的研究所 等 (2)小・中・高等学校 等 (3)幼稚園、保育所、認定こども園 等 (4)図書館、博物館、公会堂、集会場、動物園 等 (5)体育館、水泳場、野球場、陸上競技場その他のスポーツ施設(主に公共施設) (6)病院 (7)診療所(内科、外科) (8)診療所(内科、外科以外) (9)老人福祉センター、老人居宅生活支援事業施設(老人居宅介護、老人デイサービス、小規模多機能型居宅介護事業等の事業所) (10)上記以外の老人福祉施設(老人ホーム、特別養護老人ホーム、老人保健施設など) (11)公衆浴場、公衆便所 等 (12)神社、寺院、教会 等
12.運輸倉庫施設	(1)駅舎、電車車庫、バスターミナル、港湾・空港施設 等 (2)卸売市場、倉庫、トラックターミナル 等 (3)立体駐車場、駐輪施設 等
13.工場	(1)危険物の製造、液化ガスの製造、塩素・臭素等の製造、肥料の製造、製紙、製革、アスファルトの精製、セメントの製造、金属の溶融 等(準工業地域において立地不可) (2)原動機を使用する 150 m ² を超える工場、引火性溶剤を用いるドライクリーニング、原動機を使用する岩石の粉碎、レディミクストコンクリートの製造、陶磁器・ガラスの製造 等(商業地域において立地不可) (3)原動機を使用する 50 m ² を超える工場、原動機を使用する魚肉の練製品の製造・セメント製品の製造・金属の加工・印刷、木工所、めっき 等(住居地域において立地不可) (4)50 m ² 以内のパン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋その他これらに類する食品製造業を営む工場 等 (5)自動車修理工場
14.農林漁業用施設	農業用納屋、畜舎、温室、船小屋、農林漁業用作業場 等
15.供給処理施設	処理場、浄水場、ポンプ場、火葬場、発電所、変電所、ガス・熱供給施設 等
16.防衛施設	防衛施設
17.その他	仮設建築物その他 1～16 に分類できない施設

※2 構造の分類は、下表による。複合構造の場合は、主たる構造の分類とする。

分類
木造
非木造
鉄筋コンクリート造

※3 登記簿等により、1階部分の床面積を建築面積とする。登記簿等の活用ができない場合は、1/2,500 基図上で建物毎の建築面積を計測する。

※4 登記簿等により、建物の床面積の合計を算出する。登記簿等の活用ができない場合は、次のような方法で簡易に算出する。

①建築物の形状を考慮する方法

- 1階と上層階で床面積が同一でない場合を考慮するため、1/2,500 基図上で計測した建築面積に地上階数を掛け、さらに床面積換算係数(建物形状による係数)を掛けて算出する。床面積換算係数については、現地調査等により建物形状を確認の上決定する。
- 一定の類型化により、各階の換算係数を算出することも考えられる(参考参照)。

②建築物の形状を考慮しない方法

- 1階から上層階まで同一の床面積とみなして、建物利用現況図上で計測した建築面積に階数を乗算して求める。

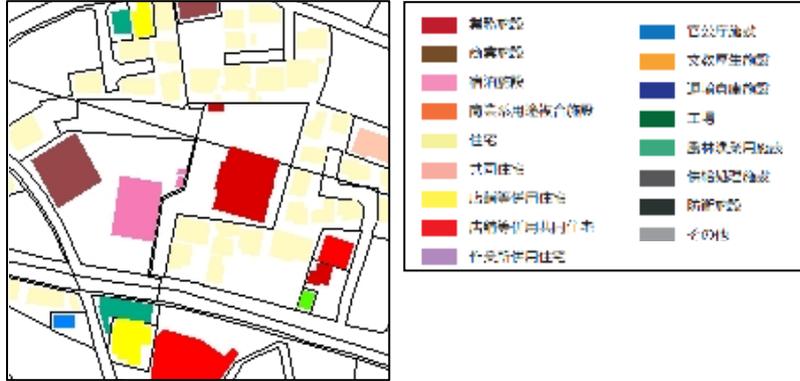
※5 建築確認申請に基づいて建物を特定し、耐火、準耐火造、その他の別を区分する。

※6 建築確認申請に基づいて建物を特定し、建築確認申請番号を付与する。

< 建物利用現況図 >

【建物用途別現況図】

・各建物について、用途別に着色した図面を作成

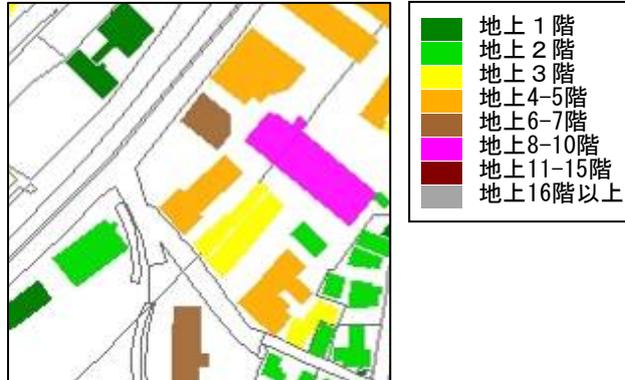


・建物用途別現況図凡例

項目	面 色指定 (R,G,B)	縁 色指定 (R,G,B)
業務施設	190,30,50	なし
商業施設	120,80,40	なし
宿泊施設	240,140,190	なし
商業系用途複合施設	240,110,60	なし
住宅	240,240,160	なし
共同住宅	250,170,160	なし
店舗等併用住宅	255,140,80	なし
店舗等併用共同住宅	240,30,40	なし
作業所併用住宅	180,140,190	なし
官公庁施設	10,120,190	なし
文教厚生施設	250,160,50	なし
運輸倉庫施設	40,60,140	なし
工場	0,100,60	なし
農林漁業用施設	60,170,130	なし
供給処理施設	90,90,90	なし
防衛施設	40,50,50	なし
その他	160,160,160	なし

【建物階数別現況図】

・各建物について、階数別に着色した図面を作成

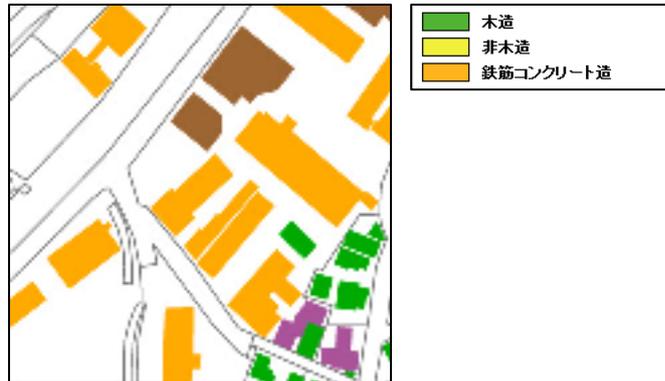


・建物階数別現況図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
地上1階	0,130,0	なし
地上2階	0,220,0	なし
地上3階	255,255,0	なし
地上 4-5 階	255,170,0	なし
地上 6-7 階	160,100,50	なし
地上 8-10 階	255,0,255	なし
地上 11-15 階	130,0,0	なし
地上 16 階以上	160,160,160	なし

【建物構造別現況図】

・各建物について、木造・非木造の別に着色した図面を作成



・建物構造別現況図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
木造	80,180,50	なし
非木造	240,240,60	なし
鉄筋コンクリート造	255,180,30	なし

【建築年別現況図】

- 各建物について、建築年別に着色した図面を作成
- 建築年の区分については、下記の条件を設定する。

昭和 56 年以前:昭和 56 年に施行された耐震基準に適合しない建物を確認するための区分

昭和 57 年以降:昭和 56 年に施行された耐震基準に適合する建物を確認するための区分

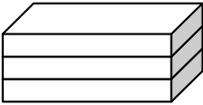
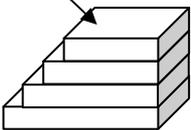
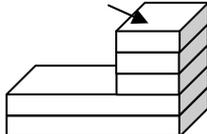


•建築年別現況図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
昭和 46 年以前	240,0,0	なし
昭和 47 年～56 年	250,120,0	なし
昭和 57 年～平成 1 年	250,200,0	なし
平成 2 年～平成 11 年	210,250,0	なし
平成 12 年～平成 21 年	130,250,0	なし
平成 22 年～	10,250,0	なし

集計方法	<p><集計表></p> <ul style="list-style-type: none"> 市街化区域、市街化調整区域の別に用途毎の棟数、建築面積、延床面積をとりまとめる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">1.業務施設</th> <th colspan="6">2.商業施設</th> <th>...</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">棟数</th> <th rowspan="2">建築面積</th> <th rowspan="2">延床面積</th> <th colspan="3">(1)</th> <th colspan="3">(2)</th> <th>...</th> </tr> <tr> <th>棟数</th> <th>建築面積</th> <th>延床面積</th> <th>棟数</th> <th>建築面積</th> <th>延床面積</th> <th>...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街化区域</td> <td>棟</td> <td>m²</td> <td>m²</td> <td>棟</td> <td>m²</td> <td>m²</td> <td>棟</td> <td>m²</td> <td>m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都市計画区域計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><メッシュデータ></p> <ul style="list-style-type: none"> H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。 商業施設の延べ床面積は、用途分類が 2.商業施設である建物を対象に延べ床面積を合計する。 住宅系施設の延べ床面積は用途分類が 5.住宅、または 6.共同住宅である建物を対象に延べ床面積を合計する。 工場の延べ床面積は用途分類が 13.工場である建物を対象に延べ床面積を合計する。 区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>高さ</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>C0401_建物利用状況_H28_商業施設の延べ床面積(合計)_区域区分</td> <td>商業施設の延べ床面積(合計)</td> <td>区域区分</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>C0401_建物利用状況_H28_住宅系施設の延べ床面積(合計)_区域区分</td> <td>住宅系施設の延べ床面積(合計)</td> <td>区域区分</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C0401_建物利用状況_H28_工場の延べ床面積(合計)_区域区分</td> <td>工場の延べ床面積(合計)</td> <td>区域区分</td> </tr> </tbody> </table>											1.業務施設			2.商業施設						...	棟数	建築面積	延床面積	(1)			(2)			...	棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	...	市街化区域	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²		市街化調整区域											都市計画区域計												データ項目	高さ	色	①	C0401_建物利用状況_H28_商業施設の延べ床面積(合計)_区域区分	商業施設の延べ床面積(合計)	区域区分	②	C0401_建物利用状況_H28_住宅系施設の延べ床面積(合計)_区域区分	住宅系施設の延べ床面積(合計)	区域区分	③	C0401_建物利用状況_H28_工場の延べ床面積(合計)_区域区分	工場の延べ床面積(合計)	区域区分
		1.業務施設			2.商業施設							...																																																																											
		棟数	建築面積	延床面積	(1)			(2)				...																																																																											
					棟数	建築面積	延床面積	棟数	建築面積	延床面積	...																																																																												
市街化区域	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²	棟	m ²	m ²																																																																														
市街化調整区域																																																																																							
都市計画区域計																																																																																							
	データ項目	高さ	色																																																																																				
①	C0401_建物利用状況_H28_商業施設の延べ床面積(合計)_区域区分	商業施設の延べ床面積(合計)	区域区分																																																																																				
②	C0401_建物利用状況_H28_住宅系施設の延べ床面積(合計)_区域区分	住宅系施設の延べ床面積(合計)	区域区分																																																																																				
③	C0401_建物利用状況_H28_工場の延べ床面積(合計)_区域区分	工場の延べ床面積(合計)	区域区分																																																																																				

[参考]延床面積の算出方法の例

種別	ア)全階層とも同一形状の建物	イ)上層部が下層部の 50%以上 100%未満の建物	ウ)上層部が下層部の 50%未満の建物
建物例	・3 階建て建物の例 	・4 階建て建物の例 <small>最上階が 1 階部の 60%程度</small> 	・5 階建て建物の例 <small>最上階が 1 階部の 30%程度</small> 
床面積換算係数	全ての階:1.00	2 階:0.90 3 階:0.85 4 階以上:0.80	2 階:0.65 3 階:0.55 4~11 階:0.45 12 階以上:0.40
延床面積の計算例	・建築面積 100 m ² 、5 階建 $100 \times 1.00 \times 5 = 500 \text{ m}^2$	・建築面積 100 m ² 、5 階建 $100 \times 1.00 + 100 \times 0.90$ $+ 100 \times 0.85 + 100 \times 0.80 \times 2$ $= 435 \text{ m}^2$	・建築面積 100 m ² 、5 階建 $100 \times 1.00 + 100 \times 0.65$ $+ 100 \times 0.55 + 100 \times 0.45 \times 2$ $= 300 \text{ m}^2$

[出典] 東京都土地利用現況調査 (区部) 実施要領を参考に作成

データ項目	C0402 大規模小売店舗等の立地状況																																																														
収集方法	<p>【収集項目】 位置、大規模小売店舗/大規模集客施設への該当、開設/廃止年、延床面積、施設名称、施設用途</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 施設毎</p> <p>【収集方法】 大規模小売店舗立地法及び大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律に基づく届出資料等から収集、C0401 建物利用現況を使用</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】 新施設及び変更(廃止含む)の届出に基づくこととし、調査時点で計画中/建設中の施設についても対象とする。</p>																																																														
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="395 734 1334 1025"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>集客施設_商業・娯楽施設 1</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>集客施設_商業・娯楽施設 2</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>集客施設_公共施設</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>集客施設_病院</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>集客施設_福祉施設</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>集客施設_大学等</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><集客施設調書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客施設の立地現況について、調書にまとめる。 <p>①集客施設調書(商業・娯楽施設 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ床面積3,000㎡以上(福岡市、北九州市においては10,000㎡以上)の商業・娯楽施設を調書に整理し、施設毎に番号を付す。 <table border="1" data-bbox="395 1263 1366 1464"> <thead> <tr> <th>図面対象番号</th> <th>施設名</th> <th>用途地域</th> <th>延床面積(m²)</th> <th>店舗面積(m²)</th> <th>開店日</th> <th>核テナント</th> <th>業態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②集客施設調書(商業・娯楽施設 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ床面積 1,000㎡以上の商業・娯楽施設を調書に整理し、施設毎に番号を付す。 <table border="1" data-bbox="395 1635 759 1769"> <thead> <tr> <th>図面対象番号</th> <th>施設名</th> <th>業態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	集客施設_商業・娯楽施設 1	面	②	集客施設_商業・娯楽施設 2	面	③	集客施設_公共施設	面	④	集客施設_病院	面	⑤	集客施設_福祉施設	面	⑥	集客施設_大学等	面	図面対象番号	施設名	用途地域	延床面積(m ²)	店舗面積(m ²)	開店日	核テナント	業態	1								2								:								図面対象番号	施設名	業態	1			:		
	データ項目	データ型																																																													
①	集客施設_商業・娯楽施設 1	面																																																													
②	集客施設_商業・娯楽施設 2	面																																																													
③	集客施設_公共施設	面																																																													
④	集客施設_病院	面																																																													
⑤	集客施設_福祉施設	面																																																													
⑥	集客施設_大学等	面																																																													
図面対象番号	施設名	用途地域	延床面積(m ²)	店舗面積(m ²)	開店日	核テナント	業態																																																								
1																																																															
2																																																															
:																																																															
図面対象番号	施設名	業態																																																													
1																																																															
:																																																															

③集客施設調書(公共施設)

・国や地方公共団体の庁舎や基幹図書館などの公共施設を調書に整理し、施設毎に番号を付す。

図面対象 番号	施設名	用途地域	延床 面積 (m ²)	開業 日	施設主
1					
2					
:					

④集客施設調書(病院)

・病床数200床以上の病院を調書に整理し、施設毎に番号を付す。

定義:「医療法第1条の5第1項に規定する病院」※療養病床及び精神病床主体の病院は除く

図面対象 番号	施設名	用途地域	病床数	開業 日	施設主	3次医療圏 規模の有 無
1						
2						
:						

⑤集客施設調書(福祉施設)

・収容人数200人以上の福祉施設を調書に整理し、施設毎に番号を付す。

定義:「社会福祉法による社会福祉事業、厚生保護事業の用に供する施設である建築物及び老人福祉法29条による有料老人ホーム」

図面対象 番号	施設名	施設区分	用途地域	収容 人数	開業日	施設主
1						
2						
:						

⑥集客施設調書(大学等)

・学生数500人以上の大学等を調書に整理し、施設毎に番号を付す。

定義:「学校教育法第1条に規定する高等専門学校、大学、同法108条に規定する短期大学、同法第124条に規定する専修学校、の用に供する施設である建築物」

図面対象 番号	施設名	用途地域	学生数	開校日	施設主
1					
2					
:					

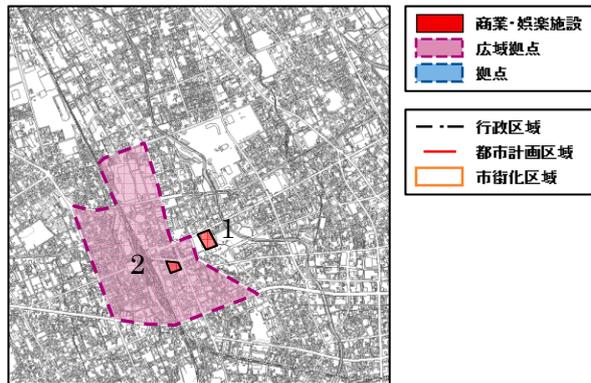
<集客施設現況図>

・調書に整理した集客施設の敷地を着彩し、施設毎に番号を付す。番号は調書の図面対象番号と一致させる。

・区域マスに記載してある拠点及び広域拠点の図示を行う。(拠点明示をしていない場合は大まかな位置を図示)

【商業・娯楽施設立地現況図 1】

・調書に整理した商業・娯楽施設の敷地を着彩し、施設毎に番号を付す。

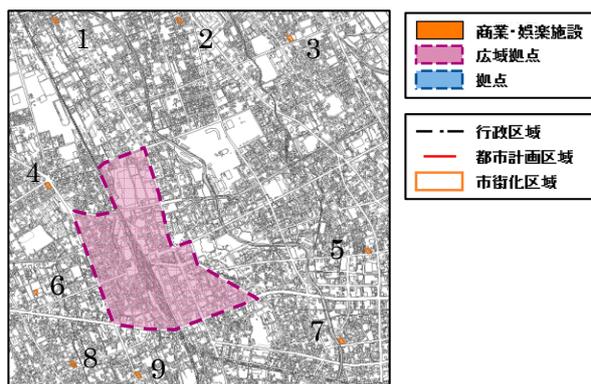


・商業・娯楽施設立地現況図 1 凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)	縁 パターン
商業・娯楽施設	255,0,0	なし	
広域拠点	220,140,180	170,0,120	破線
拠点	120,180,230	0,80,150	破線
行政区域	なし	0,0,0	
都市計画区域	なし	255,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

【商業・娯楽施設立地現況図 2】

・調書に整理した商業・娯楽施設の敷地を着彩し、施設毎に番号を付す。

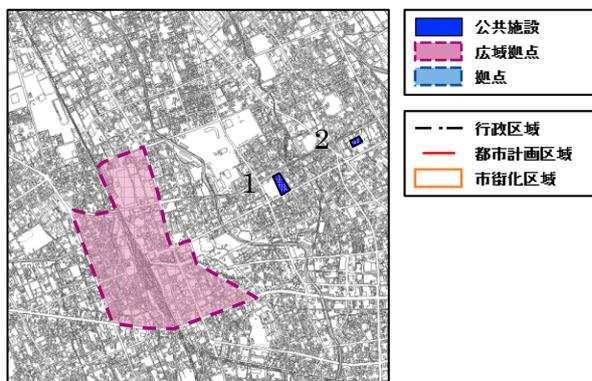


・商業・娯楽施設立地現況図 2 凡例

項目	面 色指定(R,G,B)	縁 色指定(R,G,B)	縁 パターン
商業・娯楽施設	255,120,0	なし	
広域拠点	220,140,180	170,0,120	破線
拠点	120,180,230	0,80,150	破線
行政区域	なし	0,0,0	
都市計画区域	なし	255,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

【公共施設立地現況図】

・調書に整理した公共施設の敷地を着色し、施設毎に番号を付す。

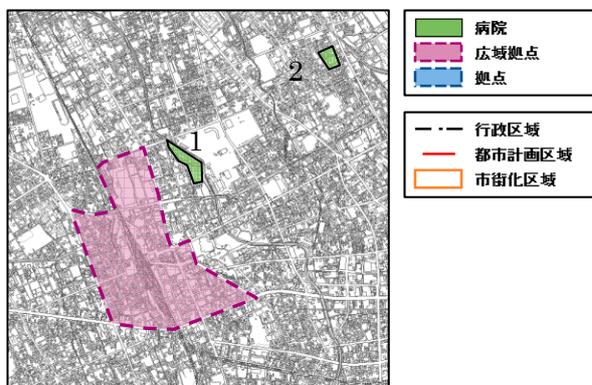


・公共施設立地現況図位置図

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	縁 パターン
公共施設	0,50,255	なし	
広域拠点	220,140,180	170,0,120	破線
拠点	120,180,230	0,80,150	破線
行政区域	なし	0,0,0	
都市計画区域	なし	255,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

【病院立地現況図】

・調書に整理した病院の敷地を着色し、施設毎に番号を付す。

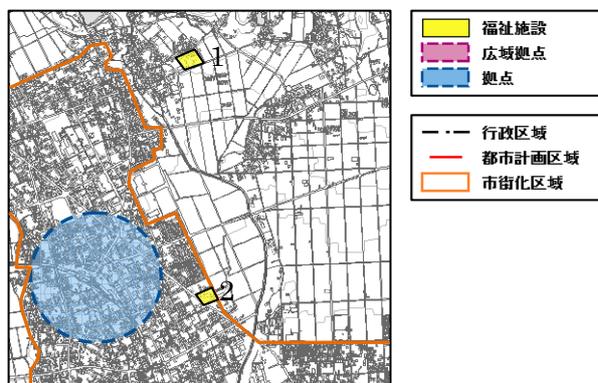


・病院立地現況図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	縁 パターン
病院	120,190,90	なし	
広域拠点	220,140,180	170,0,120	破線
拠点	120,180,230	0,80,150	破線
行政区域	なし	0,0,0	
都市計画区域	なし	255,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

【福祉施設立地現況図】

・調書に整理した福祉施設の敷地を着彩し、施設毎に番号を付す。



・福祉施設立地現況図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	縁 パターン
福祉施設	250,250,40	なし	
広域拠点	220,140,180	170,0,120	破線
拠点	120,180,230	0,80,150	破線
行政区域	なし	0,0,0	
都市計画区域	なし	255,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

【大学等施設立地現況図】

・調書に整理した大学等の敷地を着彩し、施設毎に番号を付す。



・大学等施設立地現況図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	縁 パターン
大学等	190,130,90	なし	
広域拠点	220,140,180	170,0,120	破線
拠点	120,180,230	0,80,150	破線
行政区域	なし	0,0,0	
都市計画区域	なし	255,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

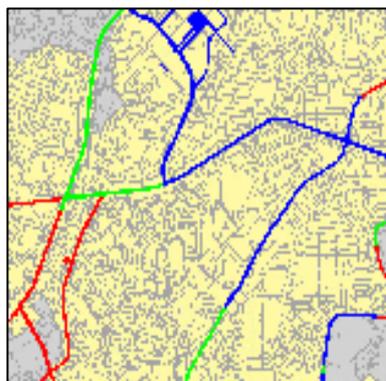
集計方法	<p><メッシュデータ></p> <ul style="list-style-type: none"> •H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。 •1 つのメッシュに複数の施設が該当する場合は、複数の施設の値を合計する。 •1 つの施設が複数のメッシュに跨る場合は、1 つの施設の値について各メッシュに重なる面積で按分する。 •商業・娯楽施設2(件数)については、施設の幾何学的重心位置を基準に集計する。 •区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。 			
		データ項目	高さ	色
	①	C0402_大規模小売店舗等の立地状況_H28_商業・娯楽施設 1 の延べ床面積(合計)_区域区分	商業・娯楽施設 1 の延べ床面積(合計)	区域区分
	②	C0402_大規模小売店舗等の立地状況_H28_商業・娯楽施設 2(件数)_区域区分	商業・娯楽施設 2(件数)	区域区分
	③	C0402_大規模小売店舗等の立地状況_H28_公共施設の延べ床面積(合計)_区域区分	公共施設の延べ床面積(合計)	区域区分
	④	C0402_大規模小売店舗等の立地状況_H28_病院の病床数(合計)_区域区分	病院の病床数(合計)	区域区分
	⑤	C0402_大規模小売店舗等の立地状況_H28_福祉施設の収容人数(合計)_区域区分	福祉施設の収容人数(合計)	区域区分
	⑥	C0402_大規模小売店舗等の立地状況_H28_大学の学生数(合計)_区域区分	大学の学生数(合計)	区域区分

⑤都市施設

データ項目	C0501 都市施設の位置、内容等																														
収集方法	<p>【収集項目】 都市計画決定年月日、都市施設名称、進捗状況、事業期間 ・調査内容については、次に列挙したものなどを対象とする。 都市高速道路、道路、水道、下水、公園、河川、その他の施設</p> <p>【収集範囲】 都市計画区域</p> <p>【収集単位】 都市計画施設毎</p> <p>【収集方法】 都市計画図書、都市計画総括図(都市施設)、庁内資料等から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】 都市計画法第11条第1項第1号～11号に定めるものを対象とする。</p>																														
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="419 663 1358 831"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>都市施設の整備状況</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>都市施設の整備状況</td> <td>線</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>都市施設の整備状況</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <p>・区間・区域別に事業化されているものは、区間、区域別の事業期間を記入し、備考欄に区間区域を記入する。</p> <table border="1" data-bbox="416 1012 1442 1184"> <thead> <tr> <th>図面对象番号</th> <th>決定年月日※1</th> <th>都市施設名称</th> <th>都市計画決定事項</th> <th>事業期間※2</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>～</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当初の決定年月日、都市計画の変更を行った場合は変更した年月日について、古い順に記入する。都市計画の変更を行った場合、その目的について備考欄に記入する。</p> <p>※2 左側に事業開始年月日、右側に事業完了年月日を記入。現在事業中のものは事業期間を記入する。事業に着手されていないものは記入しない。また、計画決定時にすでに完成しているものについては事業期間に記入せずその旨を備考欄に記入する。また、認可を受けていないものについてはその旨を備考欄に記入する。</p>		データ項目	データ型	①	都市施設の整備状況	面	②	都市施設の整備状況	線	③	都市施設の整備状況	点	図面对象番号	決定年月日※1	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間※2	備考					～							
	データ項目	データ型																													
①	都市施設の整備状況	面																													
②	都市施設の整備状況	線																													
③	都市施設の整備状況	点																													
図面对象番号	決定年月日※1	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間※2	備考																										
				～																											

<整備状況図>

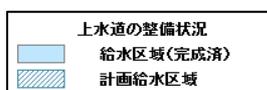
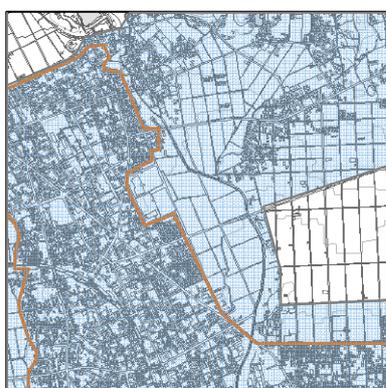
【都市計画道路の例】



・整備状況図(都市計画道路)凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
都市計画道路の整備状況		
整備済区間	0,0,255	なし
事業中区間	0,255,0	なし
計画中区間	255,0,0	なし
都市計画区域	なし	□ 0,0,0
市街化区域	なし	□ 255,130,40

【上水道の例】

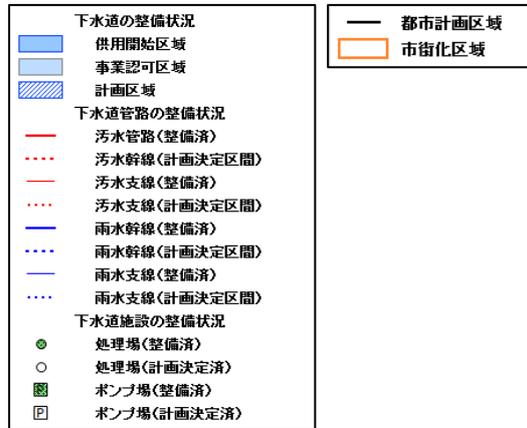
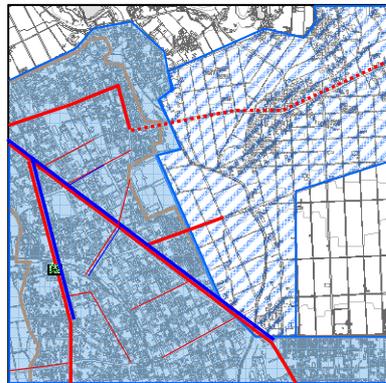


・整備状況図(上水道)凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
上水道の整備状況		
給水区域(完成済)	190,230,255	□ 128,128,128
計画給水区域	70,140,170	□ 70,140,170
都市計画区域	なし	□ 0,0,0
市街化区域	なし	□ 255,130,40

【下水道の例】

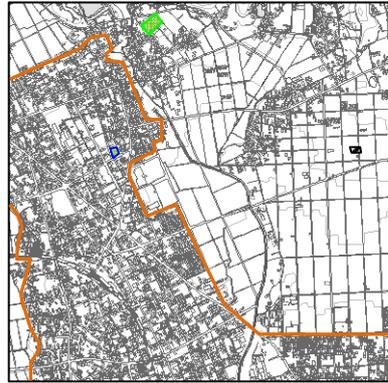
・管路の幹線、処理場については、傍に名称を記入する。



・整備状況図(下水道)凡例

項目	面	色指定(R,G,B)	縁	色指定(R,G,B)	パターン
下水道の整備状況					(縁 パターン)
供用開始区域		150,200,255	□	0,60,255	
事業認可区域		190,220,255	□	128,128,128	
計画区域		0,60,255	□	0,60,255	左下がり斜線
下水道管路の整備状況					
汚水幹線(整備済)		なし	—	255,0,0	太線
汚水幹線(計画決定区間)		なし	—	255,0,0	太線、点線
汚水支線(整備済)		なし	—	255,0,0	
汚水支線(計画決定区間)		なし	—	255,0,0	点線
雨水幹線(整備済)		なし	—	0,0,255	太線
雨水幹線(計画決定区間)		なし	—	0,0,255	太線、点線
雨水支線(整備済)		なし	—	0,0,255	
雨水支線(計画決定区間)		なし	—	0,0,255	点線
下水道施設の整備状況					(面 パターン)
処理場(整備済)		0,128,0	○	0,0,0	左下がり格子
処理場(計画決定済)		なし	○	0,0,0	
ポンプ場(整備済)		0,128,0	□	0,0,0	左下がり格子
ポンプ場(計画決定済)		なし	□	0,0,0	
都市計画区域		なし	□	0,0,0	
市街化区域		なし	□	255,130,40	

【その他の施設の例】



- 凡例
- 都市計画公園(計画中)
 - 都市計画公園(事業中)
 - 都市計画公園(整備済)
 - 一団地の住宅施設
 - 汚物処理施設
 - ごみ処理場
 - 火葬場
 - その他
 - 市街化区域
 - 都市計画区域

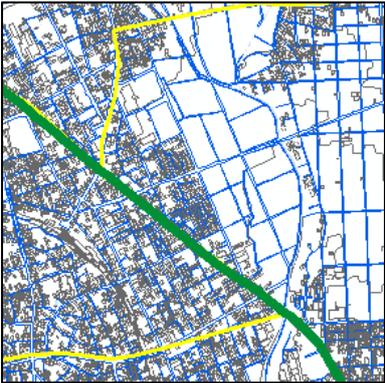
- 都市計画区域
- 市街化区域

・整備状況図(その他の施設)凡例

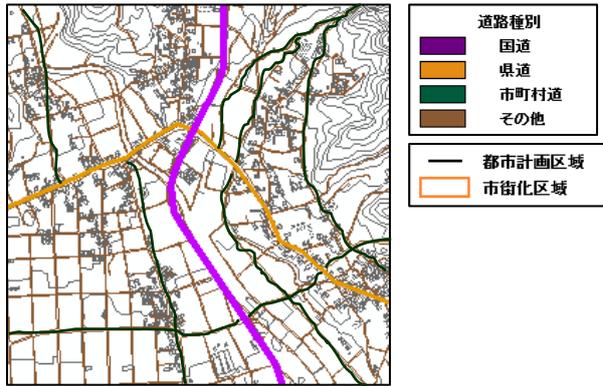
項目	面 色指定 (R,G,B)	縁 色指定 (R,G,B)	面 パターン
その他の施設の整備状況			
都市計画公園(整備済)	100,200,20	0,0,255	
都市計画公園(事業中)	100,200,20	0,255,0	
都市計画公園(計画中)	100,200,20	255,0,0	
一団地の住宅施設	190,0,0	0,0,0	左下がりが格子
汚物処理施設	0,0,255	0,0,0	左下がりが格子
ごみ処理場	0,180,80	0,0,0	左下がりが格子
火葬場	255,0,0	0,0,0	左下がりが格子
その他	0,0,0	0,0,0	左下がりが格子
都市計画区域	なし	0,0,0	
市街化区域	なし	255,130,40	

集計方法

—

データ項目	C0502 道路の状況																																						
収集方法	<p>【収集項目】 位置、幅員</p> <p>【収集範囲】 都市計画区域</p> <p>【収集単位】 道路毎</p> <p>【収集方法】 国や都道府県、市町村の道路台帳から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】</p>																																						
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 70%;">データ項目</th> <th style="width: 25%;">データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>道路網</td> <td>線</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 道路幅員現況図 ></p> <p>・幅員の区分については、下表により設定する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">幅員区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12m以上</td> </tr> <tr> <td>4m以上 12m未満</td> </tr> <tr> <td>4m未満</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>道路幅員</p> <ul style="list-style-type: none"> 12m以上 4m以上12m未満 4m未満 <p>都市計画区域 — 都市計画区域 — 市街化区域</p> </div> </div> <p>・道路幅員現況図凡例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 30%;">面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路幅員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12m 以上</td> <td style="text-align: center;">0,120,0</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>4m 以上 12m 未満</td> <td style="text-align: center;">255,255,0</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>4m 未満</td> <td style="text-align: center;">0,0,255</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>都市計画区域</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td>0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td>255,130,40</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	道路網	線	幅員区分	12m以上	4m以上 12m未満	4m未満	項目	面 色 指 定 (R,G,B)		縁 色 指 定 (R,G,B)	道路幅員				12m 以上	0,120,0	■	なし	4m 以上 12m 未満	255,255,0	■	なし	4m 未満	0,0,255	■	なし	都市計画区域	なし	□	0,0,0	市街化区域	なし	□	255,130,40
	データ項目	データ型																																					
①	道路網	線																																					
幅員区分																																							
12m以上																																							
4m以上 12m未満																																							
4m未満																																							
項目	面 色 指 定 (R,G,B)		縁 色 指 定 (R,G,B)																																				
道路幅員																																							
12m 以上	0,120,0	■	なし																																				
4m 以上 12m 未満	255,255,0	■	なし																																				
4m 未満	0,0,255	■	なし																																				
都市計画区域	なし	□	0,0,0																																				
市街化区域	なし	□	255,130,40																																				

<道路管理者別現況図>



・道路管理者別現況図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
道路種別		
国道	110,0,130	なし
県道	230,140,20	なし
市町村道	0,90,60	なし
その他	140,90,50	なし
都市計画区域	なし	□ 0,0,0
市街化区域	なし	□ 255,130,40

集計方法

<集計表>

・市街化区域・市街化調整区域毎に、幅員区分別延長を集計する。

	12m以上	4m以上 12m未満	4m未満
市街化区域	m	m	m
市街化調整区域			

<メッシュデータ>

- ・H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- ・区域区分は、メッシュ内で一番面積が広い区域区分の分類コードを設定する。

	データ項目	高さ	色
①	C0502_道路の状況_H28_幅員 4m 未満の道路網の延長(合計)_区域区分	幅員 4m 未満の道路網の延長(合計)	区域区分

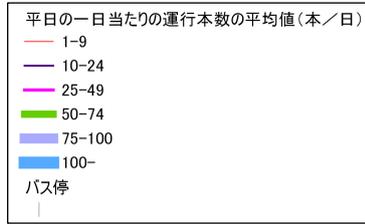
⑥交通

データ項目	C0604 バスの状況																																
収集方法	<p>【収集項目】乗降客数(日平均)、運行路線/停留所位置、運行頻度(本/日)</p> <p>【収集範囲】行政区域</p> <p>【収集単位】路線毎</p> <p>【収集方法】乗降客数は、各交通事業者から一般乗合旅客自動車運送事業輸送実績報告書(運行系統別)等の資料を収集 運行状況は、「路線バス(民間)」「路線バス(公営)」「コミュニティバス」「デマンドバス」「その他」の区分、事業者名、系統名、運行頻度は、国土数値情報ダウンロードサービス(国土政策局)のバスルート、停留所の位置は、バス停留所(点)のGISデータが活用可能。 メッシュデータの公共交通利用圏に使用する駅利用圏については、県から関連資料を収集</p> <p>【調査基準日】国土数値情報、各交通事業者による資料の時点</p> <p>【留意事項】</p>																																
データ作成方法	<p><GISデータ></p> <p>・ダウンロードしたデータをもとにGISデータを整備する。</p> <table border="1" data-bbox="400 896 1337 1061"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>バス路線</td> <td>線</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>バス停</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>バス利用圏_500mメッシュ</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><乗降客数調書></p> <table border="1" data-bbox="395 1137 900 1272"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>総数(日平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><運行状況調書></p> <table border="1" data-bbox="395 1352 1401 1487"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業者名</th> <th>系統</th> <th>運行頻度(平日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>本/日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	バス路線	線	②	バス停	点	③	バス利用圏_500mメッシュ	面	路線名	総数(日平均)		人					区分	事業者名	系統	運行頻度(平日)				本/日				
	データ項目	データ型																															
①	バス路線	線																															
②	バス停	点																															
③	バス利用圏_500mメッシュ	面																															
路線名	総数(日平均)																																
	人																																
区分	事業者名	系統	運行頻度(平日)																														
			本/日																														

<路線図>

【路線図】

- 路線分布、運行本数に応じ、運行状況図を作成する。
- バス路線はバス停間ごとに分割し、運行本数(運行頻度)を集約する。
- バス停をラベル表示する。



(線の太さで運行本数を表現)

• 路線図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
平日の一日当たりの運行本数の平均値(本/日)		
1 - 9	なし	255,100,100
10 - 24	なし	90,10,130
25 - 49	なし	255,0,255
50 - 74	なし	100,200,0
75 - 100	なし	170,170,255
100 -	なし	80,170,255

集計方法

<メッシュデータ>

- H28を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- 住民基本台帳に関する値は C0101 の調査結果を用いる。
- 公共交通利用圏コードは、バス利用圏のとき 1、駅利用圏のとき 2、駅・バス利用圏のとき 3、交通利用圏外のとき 0 とする。
- バス利用圏はメッシュの端から一番近いバス停までの直線距離を計測し、300m 圏内であるかを判定する。
- 駅利用圏はメッシュの端から一番近い鉄道駅までの直線距離を計測し、1km 圏内であるかを判定する。
- 1 つのメッシュコードに対するサンプル数が少ない等の理由により、個人の情報が特定されるおそれがある場合は、該当するメッシュコードをメッシュデータから除外する。

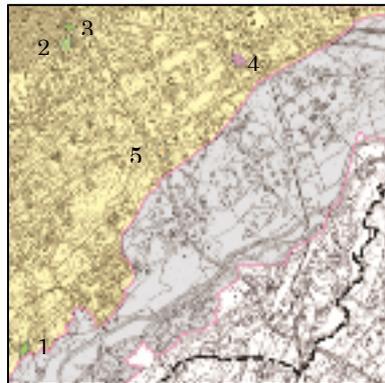
	データ項目	高さ	色
①	C0604_バスの状況_H28_住民基本台帳人口総数_公共交通利用圏	住民基本台帳人口総数	公共交通利用圏コード
②	C0604_バスの状況_H28_住民基本台帳人口のうち、高齢者人口(合計)_公共交通利用圏	住民基本台帳人口のうち、高齢者人口(合計)	公共交通利用圏コード

⑧自然的環境等

データ項目	C0804 レクリエーション施設の状況																													
収集方法	<p>【収集項目】 施設名、設置主体、施設規模、利用者数 ※対象施設：野球場、陸上競技場、サッカー場・ラグビー場、テニスコート、ゴルフ場、水泳プール、その他スポーツ施設、ボート場、ヨットハーバー、海水浴場・潮干狩、遊園地、動物園、植物園、競輪・競馬場、観光有料道路、サイクリングコース、ハイキング・登山コース、自然歩道、キャンプ場等</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 施設毎</p> <p>【収集方法】 ・市内資料、河川水辺の国勢調査結果、公園管理者・河川管理者による既存調査から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】</p>																													
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1" data-bbox="395 824 1337 949"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>レクリエーション施設</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>レクリエーション施設</td> <td>線</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <table border="1" data-bbox="395 1048 1401 1191"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>施設名</th> <th>設置主体</th> <th>施設規模(m²、km)</th> <th>利用者数(人/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>m²</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	レクリエーション施設	面	②	レクリエーション施設	線	位置	施設名	設置主体	施設規模(m ² 、km)	利用者数(人/年)	1			m ²	人	2					:				
	データ項目	データ型																												
①	レクリエーション施設	面																												
②	レクリエーション施設	線																												
位置	施設名	設置主体	施設規模(m ² 、km)	利用者数(人/年)																										
1			m ²	人																										
2																														
:																														

<位置図>

・施設分類毎に地図に表示する。



野球場	陸上競技場	サッカー場	ゴルフ場	水泳プール	その他スポーツ施設	ボート場	ヨットハーバー	海水浴場・潮干狩	遊園地	動物園	植物園	競輪・競馬場	観光有料道路	サイクリングコース	ハイキング・登山コース	自然歩道	キャンプ場	その他	市街化区域	市街化調整区域
-----	-------	-------	------	-------	-----------	------	---------	----------	-----	-----	-----	--------	--------	-----------	-------------	------	-------	-----	-------	---------

・レクリエーション施設の状況位置図凡例

項目	面色指定 (R,G,B)	縁色指定 (R,G,B)
レクリエーション施設		
野球場	220,230,130	□ 150,150,150
陸上競技場	80,140,80	□ 150,150,150
サッカー場・ラグビー場	80,140,140	□ 150,150,150
テニスコート	150,170,60	□ 150,150,150
ゴルフ場	240,230,80	□ 150,150,150
水泳プール	150,140,140	□ 150,150,150
その他スポーツ施設	250,210,170	□ 150,150,150
ボート場	190,190,210	□ 150,150,150
ヨットハーバー	70,80,130	□ 150,150,150
海水浴場・潮干狩	90,110,150	□ 150,150,150
遊園地	240,120,60	□ 150,150,150
動物園	150,200,130	□ 150,150,150
植物園	190,210,90	□ 150,150,150
競輪・競馬場	240,240,140	□ 150,150,150
観光有料道路	30,20,20	なし
サイクリングコース	230,60,50	なし
ハイキング・登山コース	80,140,80	なし
自然歩道	150,140,140	なし
キャンプ場	230,60,50	□ 150,150,150
その他	なし	□ 150,150,150
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230

集計方法

<メッシュデータ>

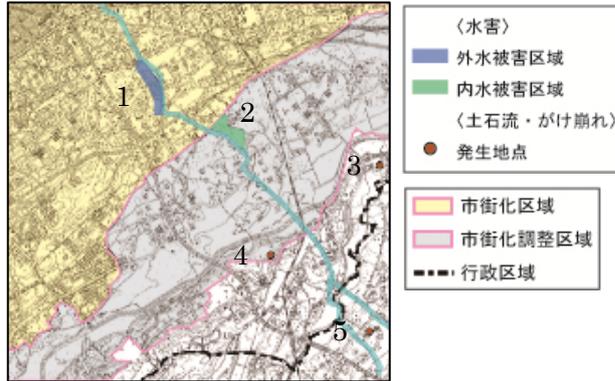
- ・H28を対象として、500mメッシュ単位の調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- ・レクリエーション施設の分類はメッシュ内で一番面積が広い施設の分類コードを設定し、分類コードはデータベース製品仕様書のレクリエーション施設区分コード表からコードを選択する。

	データ項目	高さ	色
①	C0804_レクリエーション施設の状況_H28_利用者数(合計)_レクリエーション施設の分類(主要)	利用者数(合計)	レクリエーション施設の分類(主要)

⑨公害及び災害

データ項目	C0901 災害の発生状況																																																																											
収集方法	<p>【収集項目】 既往災害(水害及び土砂災害)の位置、名称・地区名、発生年月日、被害状況 水害・震災・土砂災害等に関する災害リスク情報</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 災害の種別毎</p> <p>【収集方法】 既往災害:庁内資料から収集 災害リスク情報:国や都道府県・市町村によりハザードマップ等が作成済みの場合に収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】 前回調査結果にそれ以降に発生した災害を追加し、可能な限り長期間のデータを収集する。</p>																																																																											
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 70%;">データ項目</th> <th style="width: 25%;">データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td>既往水害の被害区域</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>がけ崩れ・地滑りの発生地点</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <p>【水害(外水(洪水、高潮、津波))】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">位置</th> <th style="width: 20%;">名称・地区名</th> <th style="width: 10%;">発生年月日</th> <th style="width: 10%;">浸水面積</th> <th style="width: 10%;">床上浸水</th> <th style="width: 10%;">床下浸水</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td style="text-align: center;">戸</td> <td style="text-align: center;">戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【水害(内水)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">位置</th> <th style="width: 20%;">名称・地区名</th> <th style="width: 10%;">発生年月日</th> <th style="width: 10%;">浸水面積</th> <th style="width: 10%;">床上浸水</th> <th style="width: 10%;">床下浸水</th> <th style="width: 10%;">最大時間雨量</th> <th style="width: 10%;">総雨量</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td style="text-align: center;">戸</td> <td style="text-align: center;">戸</td> <td style="text-align: center;">mm/h</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【土砂災害(土石流・がけ崩れ等)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">位置</th> <th style="width: 20%;">名称・地区名</th> <th style="width: 20%;">発生年月日</th> <th style="width: 15%;">被害面積</th> <th style="width: 15%;">被害建物棟数</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td style="text-align: center;">戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	既往水害の被害区域	面	②	がけ崩れ・地滑りの発生地点	点	位置	名称・地区名	発生年月日	浸水面積	床上浸水	床下浸水	備考	1			ha	戸	戸		:							位置	名称・地区名	発生年月日	浸水面積	床上浸水	床下浸水	最大時間雨量	総雨量	備考	2			ha	戸	戸	mm/h	mm		:									位置	名称・地区名	発生年月日	被害面積	被害建物棟数	備考	3			ha	戸		:					
	データ項目	データ型																																																																										
①	既往水害の被害区域	面																																																																										
②	がけ崩れ・地滑りの発生地点	点																																																																										
位置	名称・地区名	発生年月日	浸水面積	床上浸水	床下浸水	備考																																																																						
1			ha	戸	戸																																																																							
:																																																																												
位置	名称・地区名	発生年月日	浸水面積	床上浸水	床下浸水	最大時間雨量	総雨量	備考																																																																				
2			ha	戸	戸	mm/h	mm																																																																					
:																																																																												
位置	名称・地区名	発生年月日	被害面積	被害建物棟数	備考																																																																							
3			ha	戸																																																																								
:																																																																												

<位置図>



外水被害区域: 河川の氾濫や堤防の決壊等により堤内地に生じた被害区域

内水被害区域: 中小河川、下水道等の排水不良のため堤内地に生じた湛水による被害区域

・災害の発生状況位置図凡例

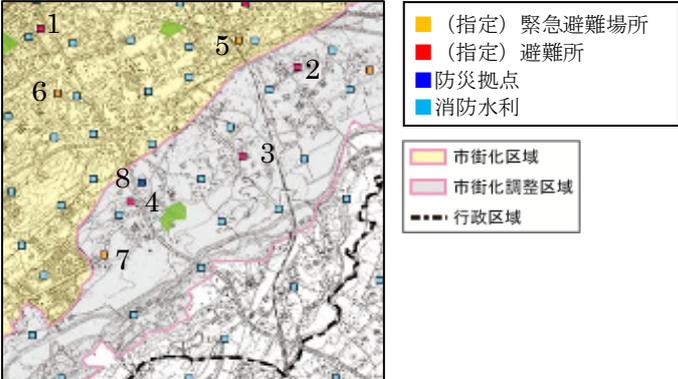
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
水害		
外水被害区域	130,150,190	なし
内水被害区域	140,200,150	なし
土石流・がけ崩れ		
発生地点	170,90,50	○ 0,0,0
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230
行政区域	なし	□ 0,0,0

集計方法

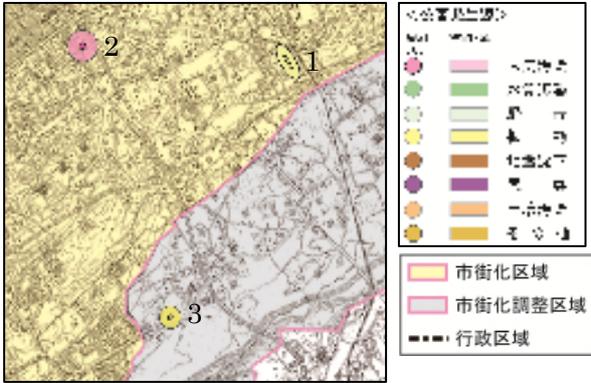
<メッシュデータ>

- ・H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。
- ・住民基本台帳人口総数は C0101 の調査結果を用いる。
- ・1 つのメッシュコードに対するサンプル数が少ない等の理由により、個人の情報が特定されるおそれがある場合は、該当するメッシュコードをメッシュデータから除外する。

	データ項目	高さ	色
①	C0901_災害の発生状況_H28_住民基本台帳人口総数_既往水害の被害区域の浸水面積(合計)	住民基本台帳人口総数	既往水害の被害区域の浸水面積(合計)
②	C0901_災害の発生状況_H28_住民基本台帳人口総数_がけ崩れ・地滑りの発生地点の被害面積(合計)	住民基本台帳人口総数	がけ崩れ・地滑りの発生地点の被害面積(合計)

データ項目	C0902 防災拠点・避難場所																																																						
収集方法	<p>【収集項目】 防災拠点・避難場所の位置、名称、種別、収容可能人数 消防水利の位置</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 防災拠点・避難場所毎</p> <p>【収集方法】 地域防災計画、消防関係資料等の庁内資料から作成</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】</p>																																																						
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="424 613 1362 698"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>防災拠点・避難場所の位置</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p><防災拠点・避難場所調書></p> <table border="1" data-bbox="424 779 1434 992"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>名称</th> <th>種別※1</th> <th>収容可能人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>〇〇小学校</td> <td>指定避難所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>△△運動公園</td> <td>指定緊急避難場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>◇◇公民館</td> <td>指定避難所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>市役所</td> <td>防災拠点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1(指定)緊急避難場所、(指定)避難所、防災拠点、消防水利の別を記入。</p> <p><位置図></p>  <p>・防災拠点・避難場所位置図凡例</p> <table border="1" data-bbox="424 1550 1198 1809"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(指定)緊急避難場所</td> <td>255,190,0</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>(指定)避難所</td> <td>255,0,0</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>防災拠点</td> <td>0,0,255</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>消防水利</td> <td>0,180,240</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table> <p>〜</p>		データ項目	データ型	①	防災拠点・避難場所の位置	点	位置	名称	種別※1	収容可能人数	1	〇〇小学校	指定避難所		2	△△運動公園	指定緊急避難場所		3	◇◇公民館	指定避難所		4	市役所	防災拠点		:				項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	(指定)緊急避難場所	255,190,0	□ 0,0,0	(指定)避難所	255,0,0	□ 0,0,0	防災拠点	0,0,255	□ 0,0,0	消防水利	0,180,240	□ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																																					
①	防災拠点・避難場所の位置	点																																																					
位置	名称	種別※1	収容可能人数																																																				
1	〇〇小学校	指定避難所																																																					
2	△△運動公園	指定緊急避難場所																																																					
3	◇◇公民館	指定避難所																																																					
4	市役所	防災拠点																																																					
:																																																							
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																																					
(指定)緊急避難場所	255,190,0	□ 0,0,0																																																					
(指定)避難所	255,0,0	□ 0,0,0																																																					
防災拠点	0,0,255	□ 0,0,0																																																					
消防水利	0,180,240	□ 0,0,0																																																					
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																																					
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																																					
行政区域	なし	□ 0,0,0																																																					

集計方法	<p><メッシュデータ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。 ・住民基本台帳人口総数は C0101 の調査結果を用いる。 ・人口に対する緊急避難場所の収容人数は、緊急避難場所の収容人数を住民基本台帳人口総数で除して算出する。 ・人口に対する避難所の収容人数は、避難所の収容人数を住民基本台帳人口総数で除して算出する。 ・1 つのメッシュコードに対するサンプル数が少ない等の理由により、個人の情報が特定されるおそれがある場合は、該当するメッシュコードをメッシュデータから除外する。 			
		データ項目	高さ	色
	①	C0902_防災拠点・避難場所の位置_H28_緊急避難場所の収容人数(合計)_緊急避難場所(件数)	緊急避難場所の収容人数(合計)	緊急避難場所(件数)
	②	C0902_防災拠点・避難場所の位置_H28_避難所の収容人数(合計)_避難所(件数)	避難所の収容人数(合計)	避難所(件数)
	③	C0902_防災拠点・避難場所の位置_H28_住民基本台帳人口総数_人口に対する緊急避難場所の収容人数	住民基本台帳人口総数	人口に対する緊急避難場所の収容人数
④	C0902_防災拠点・避難場所の位置_H28_住民基本台帳人口総数_人口に対する避難所の収容人数	住民基本台帳人口総数	人口に対する避難所の収容人数	

データ項目	C0903 公害の発生状況																																																															
収集方法	<p>【収集項目】 位置、種類、発生年、発生源、被害面積、被害の概要</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 公害毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】</p>																																																															
データ作成方法	<p>< GIS データ ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>公害現況</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 調書 ></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>位置</th> <th>種類※1</th> <th>発生年</th> <th>発生源※2</th> <th>被害面積※3</th> <th>被害の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 公害の種類については、次の通りとする。(大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、地盤沈下、悪臭、土壌汚染、その他)</p> <p>※2 主たる発生原因と考えられる施設等を記載。</p> <p>※3 被害面積が明らかな場合に記載。</p> <p>< 位置図 ></p> <p>・位置図上には、観測地点、被害区域を記載する。</p>  <p>・公害の発生状況位置図凡例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公害発生源</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大気汚染</td> <td>240,150,190</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>水質汚濁</td> <td>160,200,150</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>騒音</td> <td>230,240,220</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>振動</td> <td>255,250,150</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>地盤沈下</td> <td>190,130,80</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>悪臭</td> <td>160,100,150</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>土壌汚染</td> <td>250,190,130</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>230,190,80</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>255,250,190</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>220,220,220</td> <td>□ 255,160,230</td> </tr> <tr> <td>行政区域</td> <td>なし</td> <td>□ 0,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	公害現況	点	位置	種類※1	発生年	発生源※2	被害面積※3	被害の概要	1				ha		:						項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	公害発生源			大気汚染	240,150,190	□ 0,0,0	水質汚濁	160,200,150	□ 0,0,0	騒音	230,240,220	□ 0,0,0	振動	255,250,150	□ 0,0,0	地盤沈下	190,130,80	□ 0,0,0	悪臭	160,100,150	□ 0,0,0	土壌汚染	250,190,130	□ 0,0,0	その他	230,190,80	□ 0,0,0	市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230	市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230	行政区域	なし	□ 0,0,0
	データ項目	データ型																																																														
①	公害現況	点																																																														
位置	種類※1	発生年	発生源※2	被害面積※3	被害の概要																																																											
1				ha																																																												
:																																																																
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																																														
公害発生源																																																																
大気汚染	240,150,190	□ 0,0,0																																																														
水質汚濁	160,200,150	□ 0,0,0																																																														
騒音	230,240,220	□ 0,0,0																																																														
振動	255,250,150	□ 0,0,0																																																														
地盤沈下	190,130,80	□ 0,0,0																																																														
悪臭	160,100,150	□ 0,0,0																																																														
土壌汚染	250,190,130	□ 0,0,0																																																														
その他	230,190,80	□ 0,0,0																																																														
市街化区域	255,250,190	□ 255,160,230																																																														
市街化調整区域	220,220,220	□ 255,160,230																																																														
行政区域	なし	□ 0,0,0																																																														

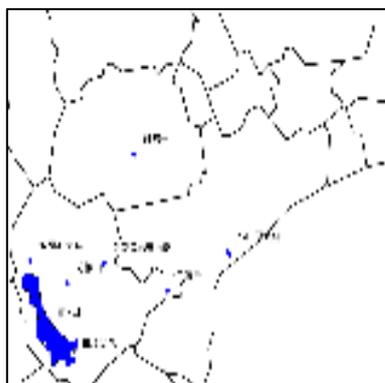
集計方法	<メッシュデータ> ・H28 を対象として、500mメッシュ単位に調査結果を集計したメッシュデータを作成する。 ・公害分類は、メッシュ内で一番面積が広い公害分類の分類コードを設定し、分類コードはデータベース製品仕様書の公害分類コード表からコードを選択する。			
		データ項目	高さ	色
	①	C0903_公害の発生状況_H28_被害面積(合計)_公害分類(主要)	被害面積(合計)	公害分類(主要)

⑩ 景観・歴史資源等

データ項目	C1002 景観・歴史資源等の状況																																						
収集方法	<p>【収集項目】 次に示す景観・歴史資源等の場所等 景観地区、風致地区、歴史的風致形成建造物、 国宝・重要文化財(建造物)、重要有形民俗文化財、史跡、名勝、 重要伝統的建造物群保存地区、伝統的建造物群保存地区、 国登録有形文化財(建造物)、埋蔵文化財包蔵地、景観重要建造物、 景観重要樹木、その他都道府県や市町村が選定した資源</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 資源毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料から収集</p> <p>【調査基準日】平成 28 年 3 月</p> <p>【留意事項】 ・国、都道府県、市区町村、学会、その他民間団体等から指定されている資源を幅広く収集する。 ・国土数値情報ダウンロードサービスにおいて、(財)日本交通公社が事務局として設置した「観光資源評価委員会」が検討・選定し作成した「観光資源台帳」に掲載されている観光資源のうち評価ランクが B 級以上の観光資源データが活用可能。</p>																																						
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="443 1014 1377 1182"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>景観・歴史資源等の状況</td> <td>面</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>景観・歴史資源等の状況</td> <td>線</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>景観・歴史資源等の状況</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p><調書></p> <table border="1" data-bbox="437 1261 1098 1384"> <thead> <tr> <th>観光名称</th> <th>資源の種類^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 下表の例を参考に、自然系、歴史文化系、生活・産業系、眺望系の別を記入。</p> <table border="1" data-bbox="437 1440 1441 1787"> <thead> <tr> <th></th> <th>点</th> <th>線</th> <th>面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然系</td> <td>・山頂 ・池、島 ・天然記念物 等</td> <td>・稜線 ・河川、海岸線 ・山裾の樹林地境界</td> <td>・平地、大地 ・大きな湖沼、海 ・広がりを持つ樹林地</td> </tr> <tr> <td>歴史・文化系</td> <td>・主な寺社、歴史的建造物 ・遺跡、史跡 等</td> <td>・歴史的町並み(街道沿い等) ・街道 ・掘割り、運河</td> <td>・歴史的町並み(城下町等、面積な広がりを持つもの)</td> </tr> <tr> <td>生活・産業系</td> <td>・主な公共施設 ・交通ターミナル ・主な橋梁 ・主な公園 ・特長ある大規模施設 等</td> <td>・幹線道路 ・通りに沿った商店街 ・鉄道</td> <td>・市街地開発事業区域 ・中心商業地 ・工業地</td> </tr> <tr> <td>眺望系</td> <td>・視点場(展望台等) ・ランドマーク ・アイストップ</td> <td>・ピスタ ・シークエンス</td> <td>・パノラマ</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	景観・歴史資源等の状況	面	②	景観・歴史資源等の状況	線	③	景観・歴史資源等の状況	点	観光名称	資源の種類 ^{※1}						点	線	面	自然系	・山頂 ・池、島 ・天然記念物 等	・稜線 ・河川、海岸線 ・山裾の樹林地境界	・平地、大地 ・大きな湖沼、海 ・広がりを持つ樹林地	歴史・文化系	・主な寺社、歴史的建造物 ・遺跡、史跡 等	・歴史的町並み(街道沿い等) ・街道 ・掘割り、運河	・歴史的町並み(城下町等、面積な広がりを持つもの)	生活・産業系	・主な公共施設 ・交通ターミナル ・主な橋梁 ・主な公園 ・特長ある大規模施設 等	・幹線道路 ・通りに沿った商店街 ・鉄道	・市街地開発事業区域 ・中心商業地 ・工業地	眺望系	・視点場(展望台等) ・ランドマーク ・アイストップ	・ピスタ ・シークエンス	・パノラマ
	データ項目	データ型																																					
①	景観・歴史資源等の状況	面																																					
②	景観・歴史資源等の状況	線																																					
③	景観・歴史資源等の状況	点																																					
観光名称	資源の種類 ^{※1}																																						
	点	線	面																																				
自然系	・山頂 ・池、島 ・天然記念物 等	・稜線 ・河川、海岸線 ・山裾の樹林地境界	・平地、大地 ・大きな湖沼、海 ・広がりを持つ樹林地																																				
歴史・文化系	・主な寺社、歴史的建造物 ・遺跡、史跡 等	・歴史的町並み(街道沿い等) ・街道 ・掘割り、運河	・歴史的町並み(城下町等、面積な広がりを持つもの)																																				
生活・産業系	・主な公共施設 ・交通ターミナル ・主な橋梁 ・主な公園 ・特長ある大規模施設 等	・幹線道路 ・通りに沿った商店街 ・鉄道	・市街地開発事業区域 ・中心商業地 ・工業地																																				
眺望系	・視点場(展望台等) ・ランドマーク ・アイストップ	・ピスタ ・シークエンス	・パノラマ																																				

<位置図>

・資源の名称・位置がわかるように地図上に図示する。

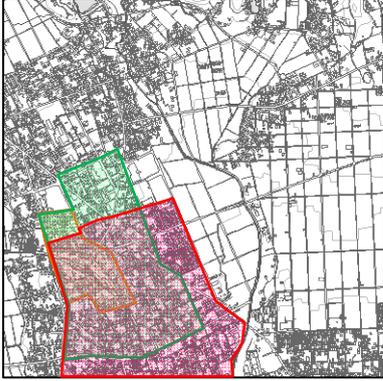


・景観・歴史資源等の状況位置図凡例

項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)
景観・歴史資源等	■ 0,0,255	なし

集計方法

—

データ項目	C1003 市街地の形成																																	
収集方法	<p>【収集項目】 明治期以降の地形図</p> <p>【収集範囲】 行政区域</p> <p>【収集単位】 時点毎</p> <p>【収集方法】 庁内資料から収集</p> <p>明治時代の参謀本部陸軍部測量局による地形図をはじめ、国土地理院の地形図、各市町村発行の地形図等を取りまとめることにより、概ね調査基準日の時点における地形図(1/2,500～1/10,000 程度のもの)を揃える。</p> <p>【調査基準日】①明治中期、②大正初期、③昭和初期、④第二次大戦直前期、⑤第二次大戦直後期、⑥昭和30年代</p> <p>【留意事項】</p>																																	
データ作成方法	<p><GIS データ></p> <table border="1" data-bbox="440 779 1377 857"> <thead> <tr> <th></th> <th>データ項目</th> <th>データ型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>市街地の形成</td> <td>面</td> </tr> </tbody> </table> <p><市街地変遷図></p> <p>・収集した地形図に基づき住宅等が連担し、概ね市街地を形成していると判断される区域を時点ごとに現在の地形図に図示し、時点ごとの区分が解かるように透過色にて彩色する。</p>  <p>市街地変遷図凡例</p> <table border="1" data-bbox="847 1066 1043 1200"> <tbody> <tr> <td>明治中期</td> <td>大正初期</td> <td>昭和初期</td> <td>第二次大戦直前期</td> <td>第二次大戦直後期</td> <td>昭和30年代</td> </tr> </tbody> </table> <p>・市街地変遷図凡例</p> <table border="1" data-bbox="440 1496 1206 1727"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>面 色 指 定 (R,G,B)</th> <th>縁 色 指 定 (R,G,B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明治中期</td> <td>255,255,200</td> <td>255,100,0</td> </tr> <tr> <td>大正初期</td> <td>200,255,200</td> <td>0,200,100</td> </tr> <tr> <td>昭和初期</td> <td>200,255,255</td> <td>0,200,200</td> </tr> <tr> <td>第二次大戦直前期</td> <td>120,255,255</td> <td>0,100,200</td> </tr> <tr> <td>第二次大戦直後期</td> <td>255,120,255</td> <td>255,0,255</td> </tr> <tr> <td>昭和30年代</td> <td>255,0,120</td> <td>255,0,0</td> </tr> </tbody> </table>		データ項目	データ型	①	市街地の形成	面	明治中期	大正初期	昭和初期	第二次大戦直前期	第二次大戦直後期	昭和30年代	項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)	明治中期	255,255,200	255,100,0	大正初期	200,255,200	0,200,100	昭和初期	200,255,255	0,200,200	第二次大戦直前期	120,255,255	0,100,200	第二次大戦直後期	255,120,255	255,0,255	昭和30年代	255,0,120	255,0,0
	データ項目	データ型																																
①	市街地の形成	面																																
明治中期	大正初期	昭和初期	第二次大戦直前期	第二次大戦直後期	昭和30年代																													
項目	面 色 指 定 (R,G,B)	縁 色 指 定 (R,G,B)																																
明治中期	255,255,200	255,100,0																																
大正初期	200,255,200	0,200,100																																
昭和初期	200,255,255	0,200,200																																
第二次大戦直前期	120,255,255	0,100,200																																
第二次大戦直後期	255,120,255	255,0,255																																
昭和30年代	255,0,120	255,0,0																																
集計方法	—																																	

3-2 都市構造可視化について

福岡県都市計画基本方針で示す集約型の都市づくりの実現に向けて、県や市町村における施策の効果検証や新たな施策立案がより具体的、効率的に行えるように、福岡県では「都市構造可視化計画ウェブサイト」を公開しています。

福岡県では、都市構造可視化計画ウェブサイトを活用しながら集約型の都市づくりの検討をおこなっていくことを推奨します。なお、都市構造可視化計画ウェブサイトのデータは、定期的に行う都市計画基礎調査のデータを更新していくこととします。

以下に、都市構造可視化計画ウェブサイトの事業概要を示します。

(1) 都市構造可視化計画ウェブサイトについて

1) サイトの目的

少子化・人口減少の対応と準備を進めるため、現状把握という観点から、人口、産業構造、就業構造、商業販売額といった個々の分野の統計データの経年変化、通勤通学、買い物等における公共交通の利用状況などを地図上で可視化できるウェブサイトを公開しました。

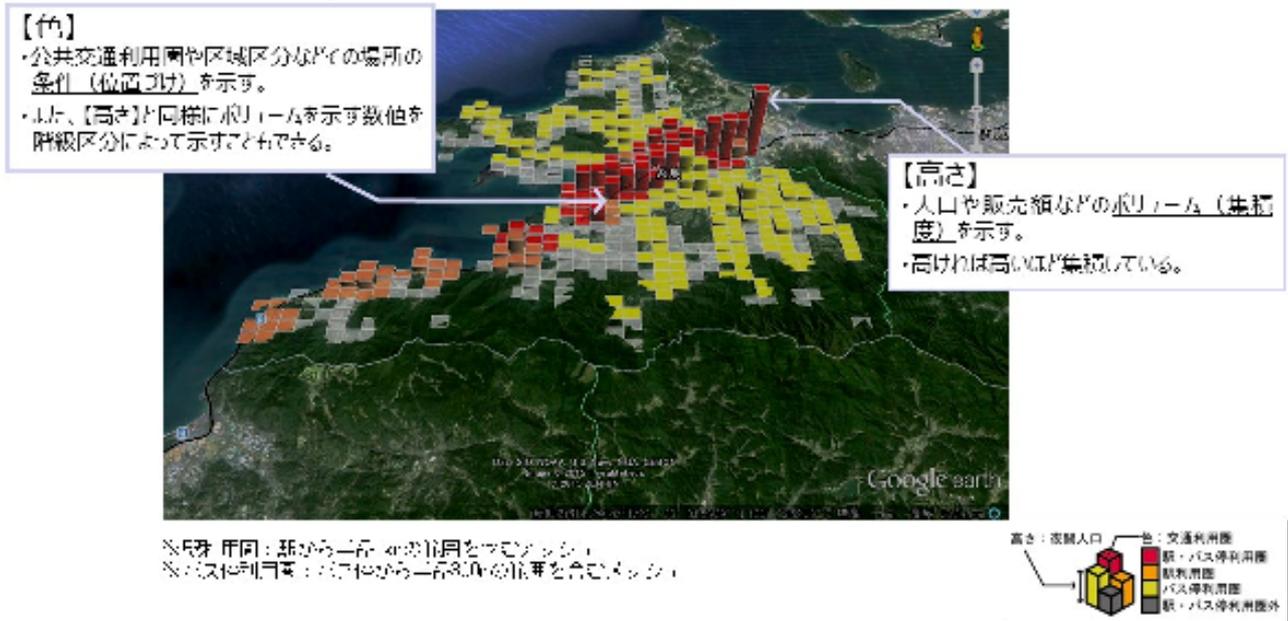


2) サイトの特徴

①統計データは3次元で表示

統計データは3次元で表示するため、高さで表示項目を使い分けることにより、都市構造を直感的に把握することが可能となります。

なお、統計データは全国で整備されており、市区町村単位だけでなく都市圏や都道府県などの単位での設定も可能です。

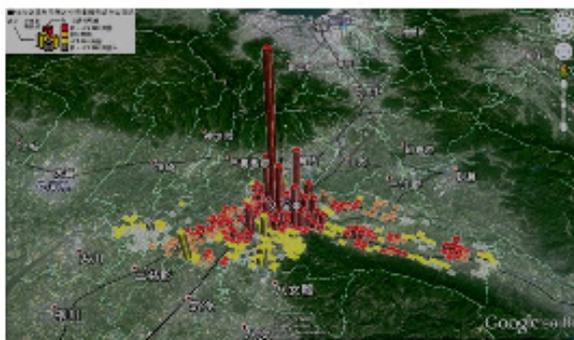


②メッシュにより様々なデータのクロス表示が可能

統計データをメッシュにすることで、様々な分野の統計データをクロス表示することができ、関連性を把握することができます。

【事例1 商業統計×公共交通】

色で公共交通利用圏、高さで小売業販売額を表示し、公共交通を利用した買い物のしやすさを把握



【事例2 公共交通利用割合×利用人口】

色で通勤通学時の公共交通利用割合、高さで通勤通学時の利用人口を表示し、公共交通の利用状況を把握



③時間の経過に伴う変化を見ることが可能

各種統計調査は、定期的に行なわれているため、各調査年次のデータを経年変化として見ることが可能です。

【平例3 商業統計の経年変化】

1979年から2010年までの商業統計データにより、小売業販売額の経年変化を把握



1979年小売業販売額



2010年小売業販売額

3) 操作手順

① テーマから探す

「テーマから探す」をクリック。
5つのテーマが表示される。
「都市の概況」、「都市の密度」、「都市の軸」、
「人の動き」、「道路状況」

テーマを選択するとコンテンツが表示される。
(例)
「都市の概況」の「人口分布」を選択



■ テーマの選択方法

「人口減少」について都道府県一覧が表示される
(例)
「福岡県」を選択

全域、圏域、市町村の一覧が表示される
(例)
「糸島市」を選択



■ 地域・圏域の選択方法

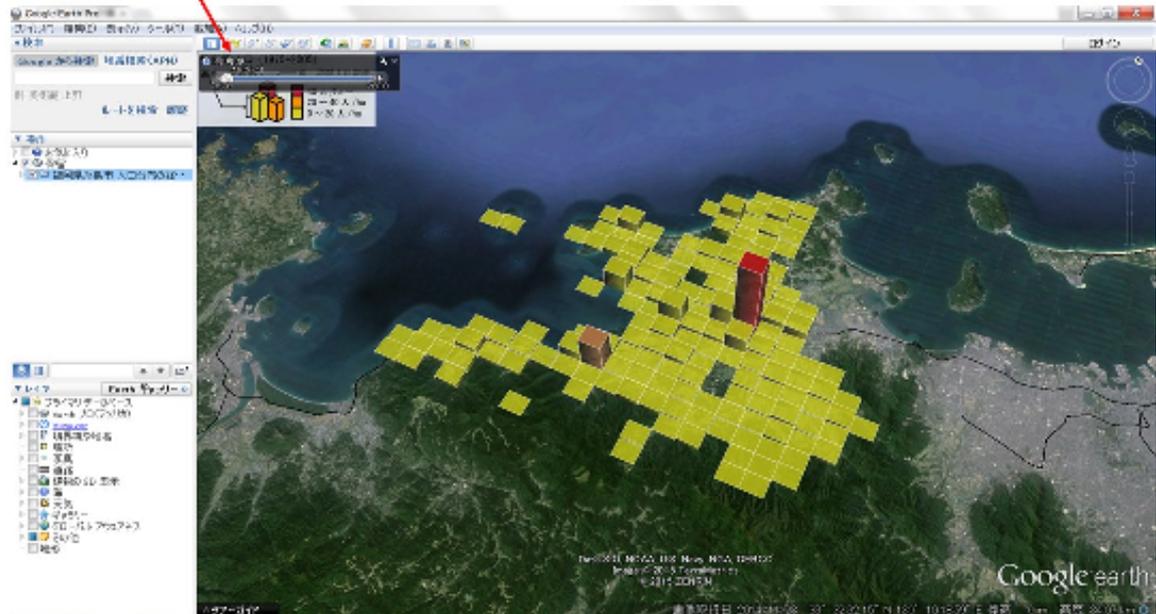


■Google Earth の起動方法



■テーマの表示方法

経年変化を可視化したコンテンツは
タイムバーが表示される

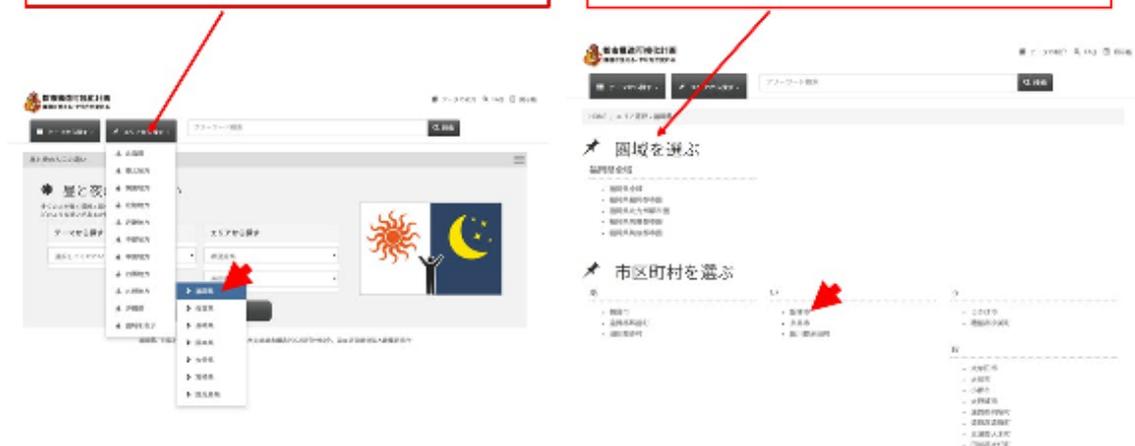


■経年変化の使い方

②エリアから探す

「エリアから探す」で圏域か都道府県を選択
(例)
「福岡県」を選択

全域、圏域、市町村の一覧が表示される
(例)
「飯塚市」を選択



■エリアの選択方法

3-3 データの入手方法について

福岡県建築都市部都市計画課

データ貸与基準

平成27年8月

福岡県建築都市部都市計画課データ貸与基準

(目的)

第1条 この基準は、都市計画課が管理する都市計画基礎調査及び建築確認申請データ緯度経度付与業務によって得られた電子データについて、市町村の都市計画行政における施策の検討及び大学又は研究機関等のまちづくりに関する調査研究等に活用できるよう、貸与に関して必要な事項を定めることにより、当該電子データの一層の有効活用と適切な管理を図ることを目的とする。

(用語の定義)

第2条 この基準で定める貸与の対象とする電子データは、次の各号に掲げるものをいう。

一 都市計画基礎調査データ

都市計画基礎調査の成果物で、調書 (Excel) 及び図面 (GIS データ) から成るもの

二 建築確認申請メッシュデータ

建築指導課及び特定行政庁から貸与を受けた建築確認申請データをメッシュ統計にしたもの (GIS データ)

(電子データの借用の許可)

第3条 電子データを借用しようとする者は、都市計画課長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けようとする者は、電子データ借用許可申請書 (様式1) を都市計画課長に提出しなければならない。

(電子データの借用の許可基準)

第4条 都市計画課長は、前条第2項の規定による申請の目的が次の各号のいずれかに適合していると認めるときは、同条第1項の許可を行い、借用許可通知書 (様式2) により申請者に通知するものとする。

一 市町村が、都市計画行政の施策検討を行うために必要があること。

二 大学又は研究機関等が、まちづくりに関する調査研究を行うために必要があること。

三 公共の目的のために特に必要があること。

(電子データに関する責任)

第5条 電子データは、福岡県の内部資料であり、県は電子データに含まれる正確性及び完全性を保障するものではない。

2 電子データの誤りにより、第3条第1項の許可を受けた者 (以下「借用者」という。) 又は第三者に損害が発生した場合、借用者が、自己の責任と費用負担において対処するものとし、県は何らの責任も負わない。

3 県は、電子データを修正する義務を負わない。

(電子データの借用条件)

第6条 借用を許可された電子データ（以下「借用データ」という。）の管理に関する条件は、次のとおりとする。

- 一 借用者は、借用データを電子データ借用許可申請書に記載した目的以外に使用し、又は第三者に譲渡し、若しくは貸与してはならないこと。ただし、借用の許可と併せて転貸の許可を受けた場合に限り、当該許可の範囲内において転貸することができること。
 - 二 借用者は、善良なる管理者の注意をもって借用データを管理すること。
 - 三 借用者は、借用期間終了後、返却証（様式3）を添付し、借用データ等を速やかに返却するとともに、借用データを複製していた場合は、当該複製データを安全かつ確実に廃棄すること。
 - 四 借用データの借用に伴い生じる費用については、借用者において負担すること。
- 2 借用者は、借用データの使用に起因して第三者に損害を与えた場合又は第三者との紛争が起きた場合においては、損害を賠償し、又は紛争を解決しなければならない。
- 3 借用データの使用により得られた成果物の取扱いは、次のとおりとする。
- 一 借用者は、得られた成果物に出典を明記すること。この場合において、借用データを加工処理しているときは、その旨を併せて明記すること。
 - 二 借用者は、得られた成果等を公表する場合においては、その内容について事前に都市計画課長と協議すること。
 - 三 借用者は、都市計画課長が求めたときは、当該成果物を提出し、及び説明すること。
- 4 借用者は、都市計画課長が借用データの返却を求めたときは、速やかに返却しなければならない。

※手続フロー

